

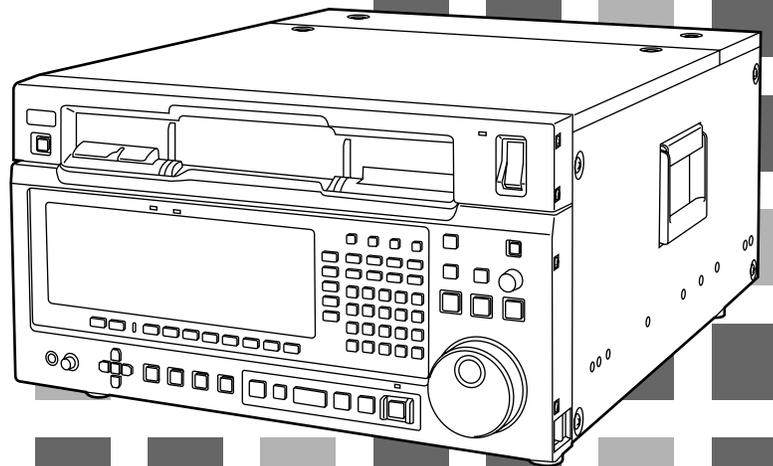
# Panasonic



Digital Video Cassette Recorder

AJ-**HD3700H**

**取扱説明書**  
(ソフトウェア)



# 目 次

---

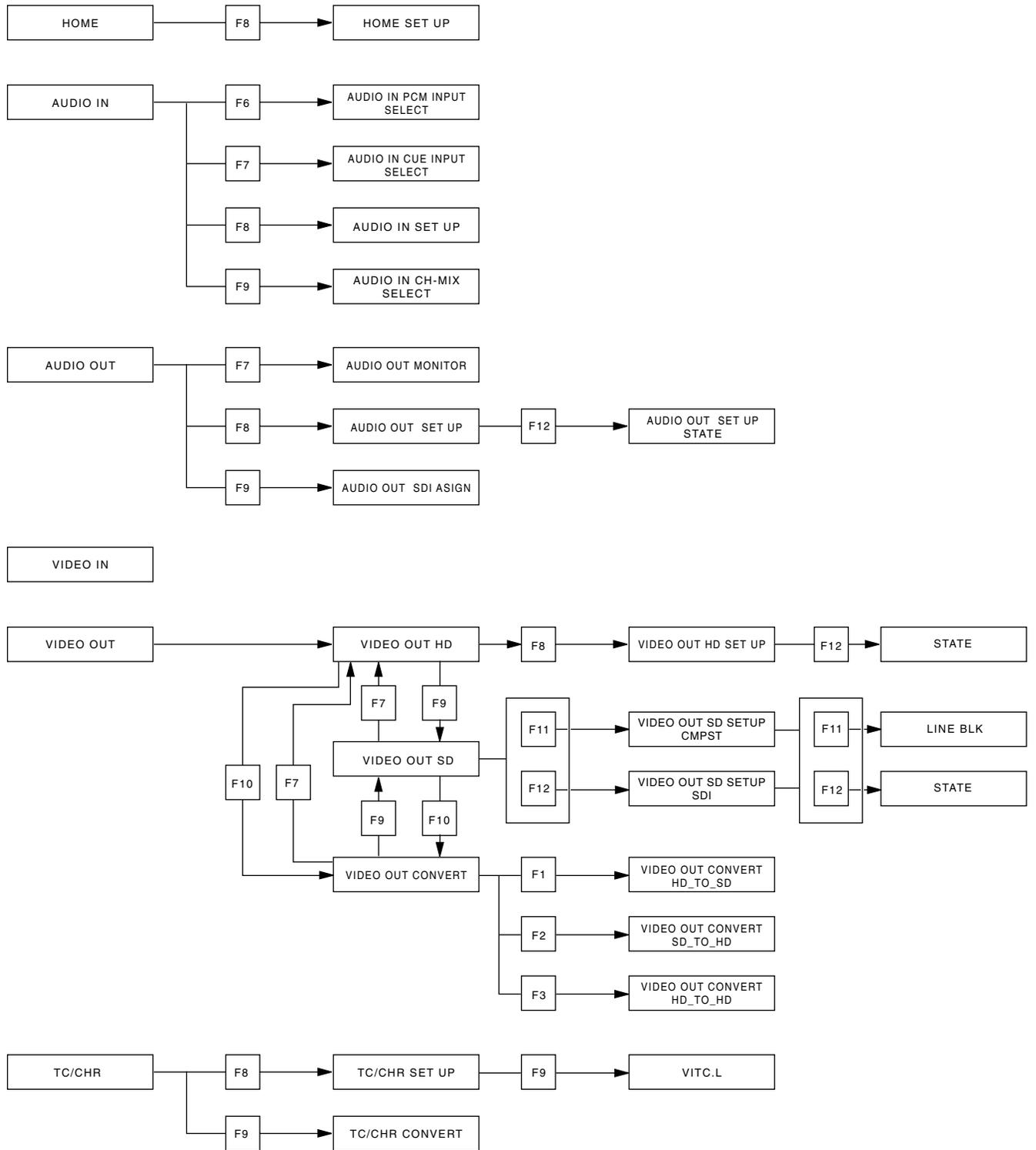
メニュー画面の移行一覧表	4	AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー	51
電源を入れる	7	AUDIO IN SET UP メニュー	53
HOME メニューの表示	8	AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー	55
		AUDIO OUT メニュー	58
HOME		AUDIO OUT MONITOR メニュー	60
HOME メニュー	13	AUDIO OUT SET UP メニュー	62
HOME SET UP メニュー	17	AUDIO OUT SET UP STATE メニュー	66
		AUDIO OUT SDI ASIGN メニュー	68
VIDEO		TC/CHR	
VIDEO IN メニュー	22	TC/CHR メニュー	70
VIDEO OUT HD メニュー	24	TC/CHR SET UP メニュー	76
VIDEO OUT HD SET UP メニュー	26	TC/CHR SET UP VITC.L メニュー	79
VIDEO OUT HD SET UP STATE メニュー	28	TC/CHR CONVERT メニュー	81
VIDEO OUT SD メニュー	30		
VIDEO OUT SD SET UP		MULTI CUE	
COMPOSITE メニュー	32	MULTI CUE メニュー	82
VIDEO OUT SD SET UP CMPST		MULTI CUE SET UP メニュー	86
STATE メニュー	34		
VIDEO OUT SD SET UP SDI メニュー	36	EDIT	
VIDEO OUT SET UP LINE BLK		INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT メニュー	88
(ビデオ出力ラインブランキング) メニュー	38	INSERT/MANUAL EDIT CH	
VIDEO OUT SD SET UP SDI		SELECT メニュー	89
STATE メニュー	40	INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT	
VIDEO OUT CONVERT メニュー	42	SET UP メニュー	91
VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD メニュー	43	INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー	99
VIDEO OUT CONVERT SD_TO_HD メニュー	44	INSERT AUTO EDIT CH SELECT メニュー	106
VIDEO OUT CONVERT HD_TO_HD メニュー	45	INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー	108
		INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT	
AUDIO		SET UP メニュー	112
AUDIO IN メニュー	46		
AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー	48		

# 目 次

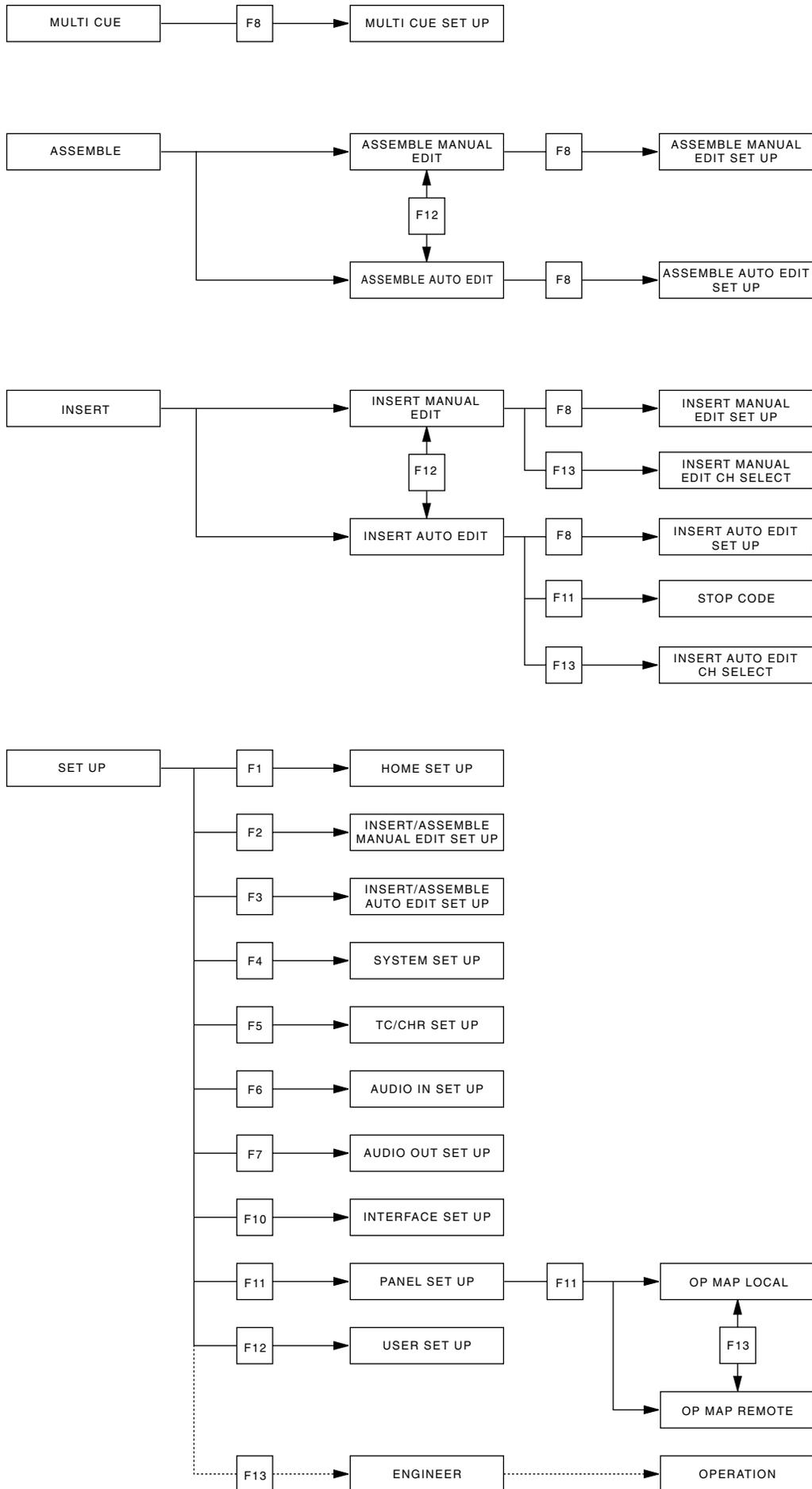
---

SET UP	
SET UP メニュー	116
INTERFACE SET UP メニュー	117
PANEL SET UP メニュー	123
PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー	125
PANEL SET UP(OP MAP LOCAL)メニュー	128
USER SET UP メニュー	130
SYSTEM SET UP メニュー	135
ENGINEER SET UP メニュー	141
OPERATION ENGINEER SET UP メニュー	142
TEST	
TEST メニュー	143
RF TEST メニュー	145
RF 調整値の表示メニュー	148
AUDIO TEST メニュー	149
MECHA TEST メニュー	150
SYSTEM TEST メニュー	152
SERVO TEST メニュー	153
TEST FRONT メニュー	156
TEST FRONT PANEL メニュー	157
TEST FRONT KEY CHECK メニュー	158
IC カードの挿入	160
TEST IC CARD メニュー	161
TEST IC CARD USER メニュー	162
TEST IC CARD MULTI CUE メニュー	163
TEST IC CARD MULTI CUE SELECT メニュー	164
TEST IC CARD MULTI CUE MONITOR メニュー	165
TEST IC CARD ERR LOG メニュー	166
TEST IC CARD ERR LOG MONITOR メニュー	167
エラーメッセージについて	
DIAG メニューのエラーメッセージ	169
DIAG ACTIVE メニュー	170
DIAG MASKED メニュー	171
DIAG LAST メニュー	172
DIAGのエラーメッセージ	173
AUTO OFFのエラーメッセージ	177
SYSTEMのエラーメッセージ	179
操作メッセージ	181
操作メッセージ (AUTO EDIT モード時)	182
スクリーンセーバー機能	183
メニュー画面一覧表	184
索引	200

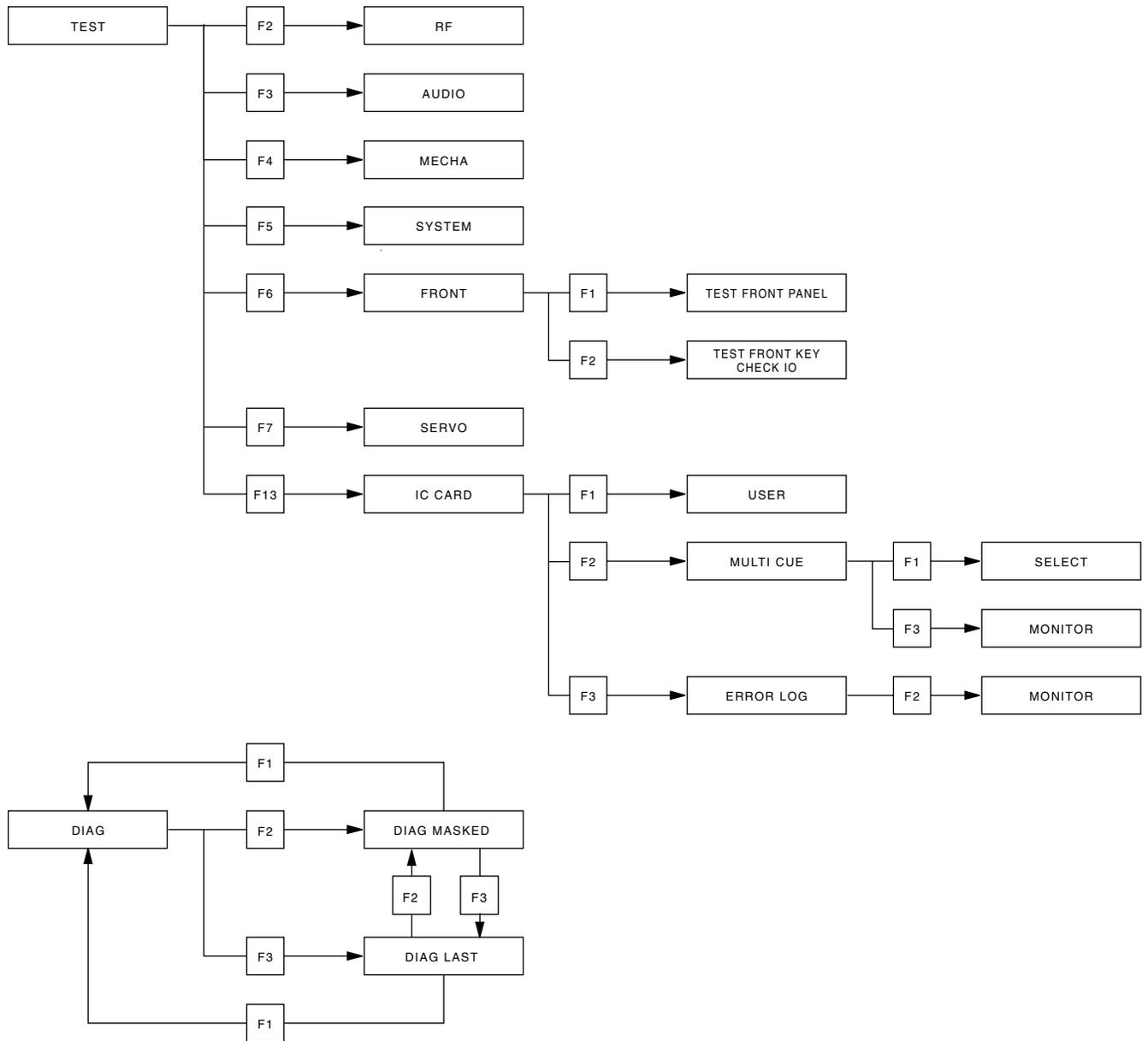
# メニュー画面の移行一覧表



# メニュー画面の移行一覧表



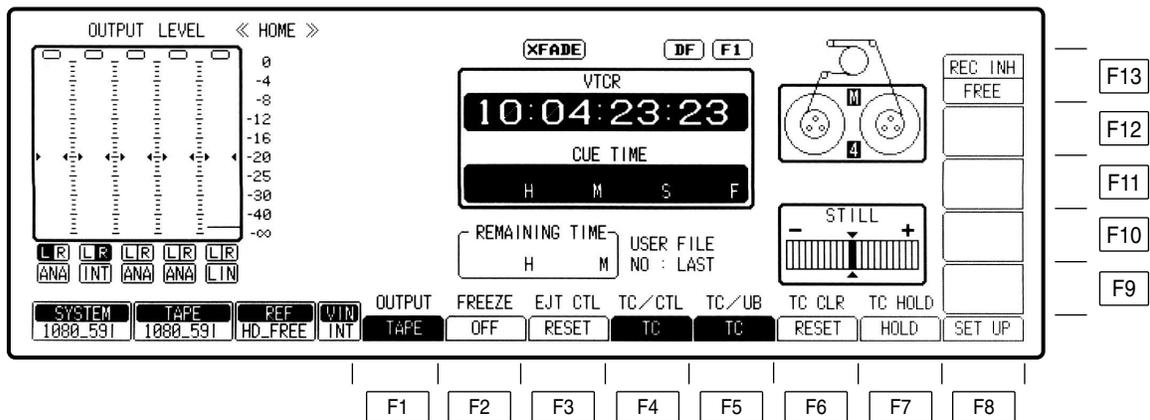
# メニュー画面の移行一覧表



# 電源を入れる

電源を入れます。

HOME メニューが出ます。



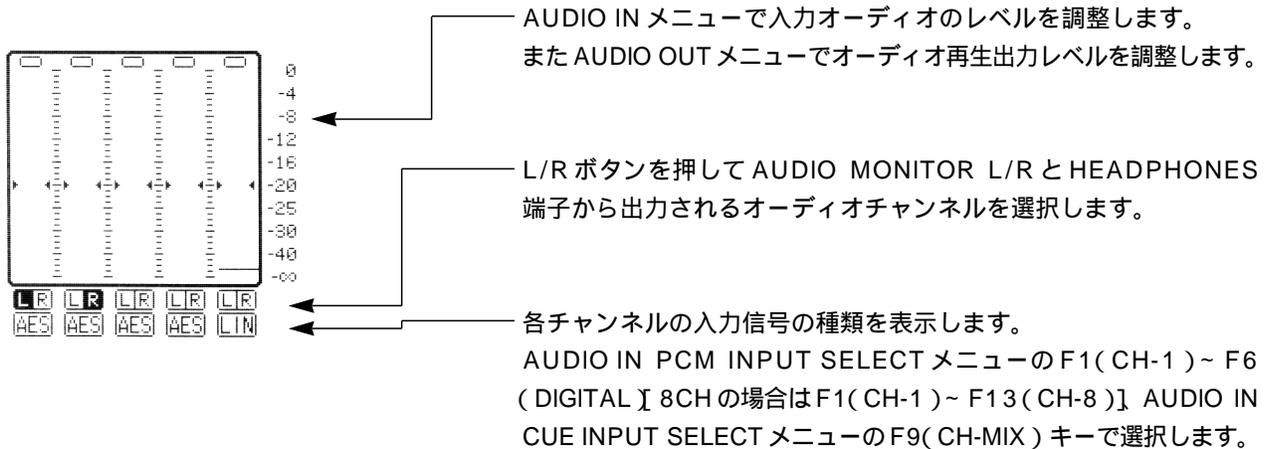
本機は、操作する目的に応じたメニューをあらかじめ用意しており、メニュー画面ごとに異なった操作を行います。メニュー選択ボタンで各メニューを選択すると、ディスプレイの表示内容が変わり、ファンクションキー（F1～F13）の機能もそれぞれ各メニューにあった働きになります。

また、各メニューの中であまり頻繁に使用しない機能などを設定しておくために SET UP メニューを設けてあります。

本機では、基本メニューとして HOME メニューを設けています。電源を入れたときは自動的に HOME メニューがディスプレイに表示されます。（ただし、IC カードが挿入されている時は、自動的に IC CARD メニューが表示されます。）

# HOME メニューの表示

オーディオ信号表示部 (フォーマットに応じて、8CHまたは4CHを自動的に表示します。)



- ANA : ANALOG INPUT 端子からの信号。
- CH1 AES : DIGITAL AUDIO INPUT 端子からの信号。
- CH8 SER : シリアル V/A 入力端子からの信号。
- INT : 内部の信号発生器からの信号。
- LINE : CUE IN 端子からの信号。
- CUE MIX : CUE MIX の設定で CH1 ~ CH8 の選択された信号。
- AUTO : 常にデジタルチャンネルのバックアップ用となります。

## 表示ランプ



SYSTEM : SETUP/SYSTEM メニューで設定した VIDEO SYSTEM フォーマットを表示します。

- 1080\_59i
- 525\_59i
- 1080\_23psf
- 1080\_24psf
- 720\_59p
- 1080\_50i

TAPE : 再生テープフォーマットを表示します。

EJECT 状態では\*\*\*\*\*表示

無記録部分などのフォーマットが判別出来ない場合は、それまでのフォーマット表示を保持したまま点滅をします。

- 1080\_59i、1080\_60i
- 1035\_59i、1035\_60i
- 525\_59i
- 1080\_23p、1080\_24p
- 720\_59p、720\_60p
- 1080\_50i

メニューの  
出し方

• AUDIO IN メニュー

AUDIO IN

• AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F6

• AUDIO OUT メニュー

AUDIO OUT

• AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN F7

# HOME メニューの表示



REF : 本機で選択されている出力リファレンスの状態を表示します。

HD\_REF59 : フィールド周波数 59.94Hz の HD\_REF が  
選択されています。

HD\_REF47 : フィールド周波数 47.96Hz の HD\_REF が  
選択されています。

HD\_REF48 : フィールド周波数 48.00Hz の HD\_REF が  
選択されています。

HD\_REF50 : フィールド周波数 50.00Hz の HD\_REF が  
選択されています。

SD\_REF59 : NTSC 信号が SD\_REF として選択されてい  
ます。

SD\_REF50 : PAL 信号が SD\_REF として選択されています。

HD\_IN59 : フレーム周波数 29.97Hz の HD シリアル  
入力が REF として選択されています。

HD\_IN47 : フレーム周波数 23.98Hz の HD シリアル  
入力が REF として選択されています。

HD\_IN48 : フレーム周波数 24.00Hz の HD シリアル  
入力が REF として選択されています。

HD\_IN50 : フレーム周波数 25.00Hz の HD シリアル  
入力が REF として選択されています。

SD\_IN : SD シリアル入力が REF として選択されてい  
ます。

(本機の SYSTEM フォーマットで 525i 選択  
時のみ SD\_IN が選択可能となります。)

HD\_FREE : OUT REF の設定で選択された REF がないた  
め HD 内部発信器を使用しています。

SD\_FREE : OUT REF の設定で選択された REF がないた  
め SD 内部発信器を使用しています。

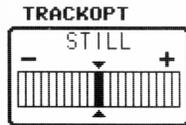
\*DUAL : HD\_REF47 と SD\_REF59 が同時に選択され  
ています。

本機の SYSTEM フォーマットで 1080\_23psf  
を選択、かつ OUT REF 設定で AUTO を選択し、  
その上上記 2 つの REF が入力されている時に有  
効となります。

\*本機は HD\_REF と SD\_REF を使い内部で  
24 60 変換を確定するための基準として  
使っています。

# HOME メニューの表示

## 設定モード表示部

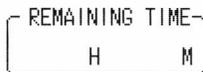


設定された各モードを表示します。

CUT : オーディオカット編集の設定。  
XFADE : オーディオクロスフェード編集の設定。  
VFADE : オーディオVフェード編集の設定。  
INTRP : タイムコードの補間(正確に読み取れない)モードになっている。  
DF : ドロップフレームモードの設定。  
F1/F2 : VITC 時のフィールド番号。

EMPHASIS : オーディオにプリエンファシスがかかっています。  
TRACK VAR : トラッキングが固定位置からはずれて調整されている場合に表示されます。  
TRACK OPT : トラッキングがオプティマイズ調整されている場合に表示されます。

## テープ残量時間



テープの走行に従い、テープの残量時間を表示します。

## ユーザーファイルの表示

USER FILE  
NO : LAST

電源投入時に呼び出されるファイルまたは現在呼び出されているユーザーファイルの番号を表示します。  
表示されているユーザーファイルの内容と、現在の設定値が一か所でも異なる場合、ファイル番号の前に \* が表示されます。

## タイムコードの表示



各種タイムコードの値を表示します。

CTL1 : 通常のコントロール信号  
CTL2 : コントロール信号(リセット不可能)  
LTCR : LTC の読み取り  
LUBR : LTC ユーザービットの読み取り  
VTCR : VITC の読み取り  
VUBR : VITC ユーザービットの読み取り  
TCG : ジェネレータ発生値  
LUBG : LTC ユーザービットの発生値  
VUBG : VITC ユーザービットの発生値  
E-TC : 外部タイムコード  
E-UB : 外部ユーザービット

## ジェネレータ発生値のチェック

INPUT CHECK

INPUT CHECK キーを押します。  
押している間、ジェネレータ値を表示します。

TCG

00 : 41 : 07 : 04

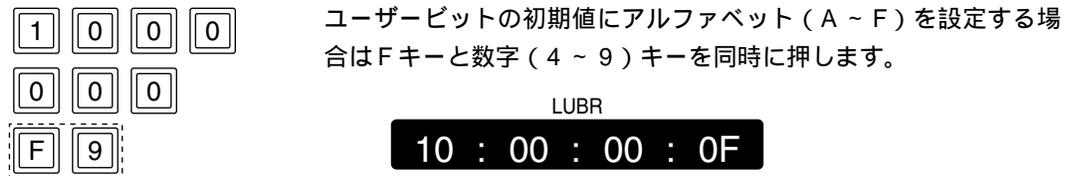
# HOME メニューの表示

## タイムコード初期値の設定

- (1) カーソルセンターキーを押します。  
表示が反転します。



- (2) 再度カーソルセンターキーを押し、カーソルを桁カーソルにした後、数字キーで値を入力します。



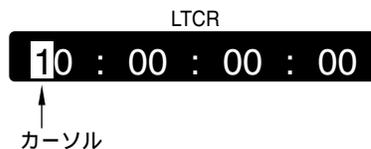
- (3) ENT キーを押します。  
カーソルが消えます。(初期値設定終了)

- ・値をクリアするときは、(2)でCキーを押します。
- ・入力したデータを確認する場合はINPUT CHECK キーを押します。

# HOME メニューの表示

## キュータイムの設定と確認

- (1) カーソルセンターキーを押します。  
タイムコード表示が反転します。



- (2) カーソルキー ( ) を押します。  
キュータイム表示が反転します。



- (3) 再度カーソルセンターキーを押し、カーソルを桁カーソルにした後、数字キーで値を入力します。



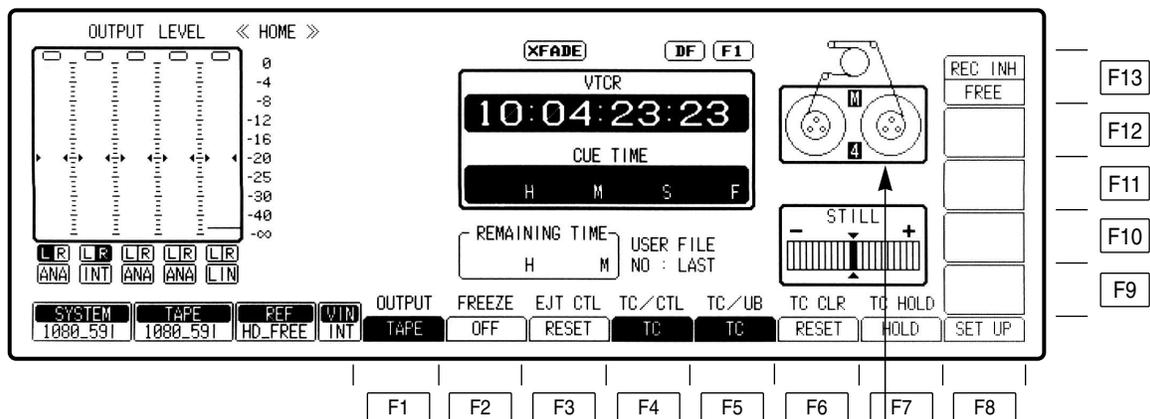
- (4) ENT キーを押します。  
カーソルが消えます。(キュータイムの設定終了)

- (5) PREROLL ボタンを押します。  
テープ上のキュータイムを探し、キュータイムに対してプリロールし、テープは停止します。

- ・ ENTRY ボタンを押すと、テープの現在位置が自動的に入力されます。
- ・ (5) で F キーと PREROLL ボタンを同時に押すと、サーチ動作となり、登録されたキュー点でテープは停止します。

# HOME メニュー

HOME キーを押すとメニューが出ます。



④ : 音声 4ch フォーマットのカセット  
⑧ : 音声 8ch フォーマットのカセット  
(カセット C bit ピンの状態を表示しています。)  
システムフォーマットと上記 C bit ピンが一致していない場合は表示が点滅します。

# HOME メニュー

キー	項目	機能
F1	OUTPUT ビデオ / オーディオ 出力信号の選択	キーを押している間だけ現在と反対のモードになります。(TAPE 設定時に押すと EE となります。) (F キーと同時に押すと切り替わった表示になります。) TAPE : 再生信号を出力します。 EE : EE 系信号を出力します。 ・ STOP、REC、EJECT モードのみ有効。再生中は無効です。 ・ CUE 信号の出力には、このキー操作は動作しません。
F2	FREEZE フラッシュ フリーズ 画の出力	フィールドメモリー 1 画面の連続出力を行います。 キーを押している間だけフラッシュフリーズ画になります。 F キーと同時に押すと、設定を固定することができます。 ON : フィールドメモリー画面を出力します。 OFF : フリーズしません。
F3	EJT CTL	RESET : EJECT 時に CTL1 をクリアーします。またカセット挿入時に CTL2 をクリアーします。 HOLD : EJECT 時に CTL1/CTL2 を保持します。
F4	TC/CTL タイムコードと コントロール信号の 切り替え	TC : タイムコード信号を表示します。 CTL1 : コントロール信号値を表示します。(「0」にリセット可能です。) CTL2 : カセットテープを入れると自動的に「0」にリセットされます。 以降のコントロール信号値はリセットできません。
F5	TC/UB タイムコードと ユーザービットの 表示切り替え	TC : タイムコード値を表示します。 UB : ユーザービット値を表示します。 ・ F4 キーで「TC」が選択されているとき有効です。 ・ 再生時はタイムコードの読み取り値を表示します。 ・ 記録時はテープ上に記録するタイムコード値を表示します。 記録時以外に発生値を表示するには、INPUT CHECK キーを押します。
F6	CTL CLR CTL 値のクリア (TC CLR) TCG 値のクリア (UB CLR) UBG 値のクリア	TC/CTL が「CTL1」のときのみ有効。 RESET : CTL1 タイムデータが「0」リセットされます。 TC/CTL と TC/UB が「TC」のときのみ有効。 RESET : F キーと同時に押すと TCG 値が「0」リセットされます。 TC/CTL が「TC」で TC/UB が「UB」のときのみ有効。 RESET : F キーと同時に押すと UBG 値が「0」リセットされます。 ただし UBG は VITC UBG と TC UBG の 2 種類あるため TC/CHR メニューの TCR 設定で以下のように対応しています。 TCR : AUTO のとき LTC と VITC の両 UBG が「0」リセットされます。 TCR : LTC のとき LTC UBG が「0」リセットされます。 TCR : VITC のとき VITC UBG が「0」リセットされます。
F7	TC HOLD タイムコード値のホールド	押した時点の値を表示し続けます。 ・ 再度押すと、ホールド値を解除します。

# HOME メニュー

キー	項目	機能
F8	SET UP	HOME SET UP メニューに移行します。
F9 ~ F10		
F11	PREAD A* オーディオの先行 読み出し ON/OFF (SD モードのみ)	AUTO または MANUAL EDIT モードでインサート編集する場合、すでに記録されているデジタル信号を先行読み出しし、編集ソースとして使用するときに使用します。 ON にするときは、F キーと F11 または F12 キーを同時に押します。 OFF にするときは、F11 または F12 キーだけを押しします。 ON の場合は「プリリード編集」(次ページ)を参照。
F12	PREAD V* ビデオの先行 読み出し ON/OFF (SD モードのみ)	ON : デジタル信号をプリリード(先行読み出し)します。 OFF : デジタル信号をプリリード(先行読み出し)しません。編集時、同時再生が可能です。 ・F11、F12 キーで OFF を選ぶと、STATE 画面で「EE」を選択している時、発振をおこす場合があります。(同一チャンネルの入力と出力が接続されている時に限ります。) ・どちらかを ON に設定した場合、アップコン映像はミュートされます。
F13	REC INH 録画禁止モードの設定	FREE : 記録可能です。 NRML. REC : ノーマル記録を禁止します。ただし、編集は可能です。(REC INHIBIT ランプが長い周期で点滅します。) ALL : すべての記録を禁止します。(REC INHIBIT ランプが点灯します。) PRE CTL : ノーマル記録時の上書きを禁止します。(REC INHIBIT ランプが短い周期で点滅します。) ・このキー設定よりも、カセットテープ側の記録禁止用ピンで設定される CASSETTE REC INHIBIT モードが優先されます。

\* 480/59.94i フォーマット選択時のみ上記ファンクションが設定可能です。

# HOME メニュー

## プリリード編集

(1) FキーとF11 (PREAD A) またはF12 (PREAD V) キーを同時に押して「ON」にします。

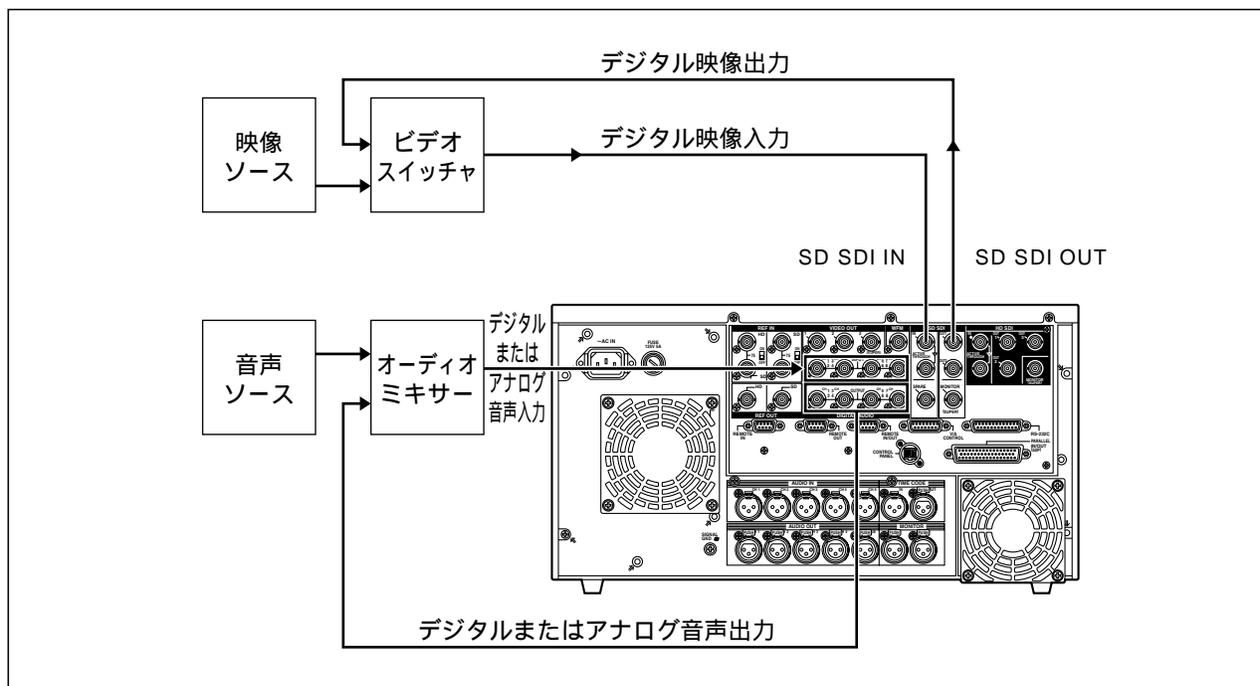
PREAD V
ON
PREAD A
ON

- (2) 下図のようにプリリード編集を行うための接続をします。
- (3) 希望のインサート編集モードでプリリード編集を行います。
- (4) 編集実行後、接続を元に戻します。
- (5) F11 またはF12 キーを押して「OFF」にします。
- (6) ループ接続がないか確認してください。

### <ノート>

プリリード時、SD SDI MONITOR および AUDIO MONITOR はモニター端子として動作し、IN 点から OUT 点までは入力信号をそのまま出力します。

また AUDIO につきましては、モニター MIX 機能が「ON」になっている時はプリリードモニター機能は動作しません。MIX を「OFF」にして使用してください。



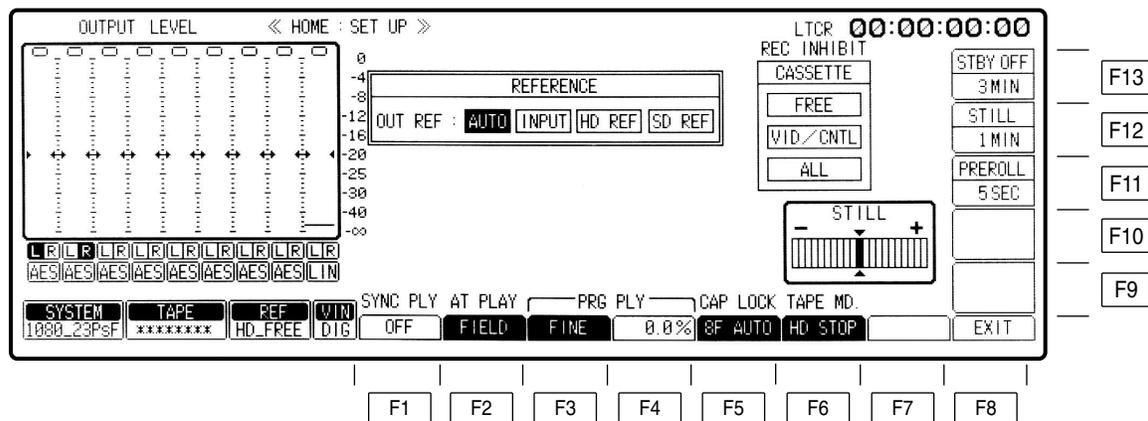
プリリード編集を行うには

# HOME SET UP メニュー

**HOME**      **F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

**SET UP**      **F1** キーを押すとメニューが出ます。



# HOME SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	SYNC PLY シンクプレイ	再生モードへの立ちあがりを自動的に補正します。例えば、プリロール点からVTRを再生すると、プリロールタイム経過後にIN点に達します。(フロントパネルからの操作のみ有効です。) ON : シンクプレイ機能が動作します。 OFF : 通常の再生になります。
F2	AT PLAY ジョグ・パリアブル 時のフィールド/フ レーム再生切り替え	FIELD : フィールド単位で再生します。 FRAME1*1/ FRAME2*2 : - 1 ~ + 1 倍速まではフレーム単位、それ以外はフィールド単位で再生します。テープ素材画像が第1フィールドを切れ目として編集された場合のような第2フィールドから第1フィールド移行時にシーン切れ目があるテープの場合は、FRAME1をご使用ください。 FRAME2は第2フィールドがシーン切れ目の場合に使用します。
F3	PRG PLY プログラムプレイ	プログラムプレイの可変ステップを選択します。 FINE : プログラムプレイの可変を0.1%ステップで変化させます。 COARSE : プログラムプレイの可変を1.0%ステップで変化させます。
F4	PRG PLY プログラムプレイ機 能の設定	通常再生をF3キーの可変ステップで±5%の範囲で可変速に再生が行えます。 「プログラムプレイ機能」参照。
F5	CAP LOCK*3 キャプスタンサーボ ロックの設定	再生時のキャプスタンサーボロックモードを選択します。 4F AUTO (8F AUTO : 1080/23p、1080/24p、1080/50i時) : カラーフレームオートロックモードになります。再生中、カラーフレームに不連続が生じた時、本機は再度新しいカラーフレームにロックします。 4F FORCE (8F FORCE : 1080/23p、1080/24p、1080/50i時) : カラーフレーム強制ロックモードになります。 再生中、カラーフレームに不連続が生じても、本機は最初にロックしたフィールドの順序を保ちます。 2F : フレームロックモードになります。 ・キャプスタンサーボロックはAUTO/MANUAL EDIT SET UPメニューでも設定できます。両方の設定が異なる場合は、最後に設定したモードを優先します。
F6	TAPE MD. スタンバイOFF時の テープ状態の設定	HD.STOP : テンションを解除した状態(ルージング)でドラムの回転を停止します。 HLF LOAD : ハーフローディング状態にします。
F7		
F8	EXIT	HOMEメニューに戻ります。

\*1 720/59pモード選択時は表示しません。

\*2 720/59p、1080/23PsF、1080/24PsFモード選択時は動作しません。

\*3 <ノート>

1080/59iモードでは、工場出荷時は2Fに設定されています。1080/23pモードでは、工場出荷時は8F AUTOに設定されています。フォーマットにより工場出荷設定が異なりますので、フォーマット変換時にはご注意ください。

# HOME SET UP メニュー

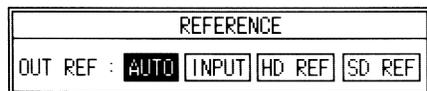
---

キー	項目	機能
F9 ~ F10		
F11	PREROLL プリロールタイムの 選択	F11 キーを押した後、ADJUST VR を回します。 0 ~ 30 秒の間で選択可能です。
F12	STILL スチルモードの持続 時間の設定	STOP / スチル (静止画) モードの持続時間を設定します。 テープ保護のために一定時間の経過とともに自動的にテープテンション解 除モード (ルージング) になります。この時間を設定することができます。 F12 キーを押した後、ADJUST VR を回します。 1sec、3sec、30sec、1MIN、3MIN、5MIN を設定できます。
F13	STBY OFF スタンバイモードの 持続時間の設定	ルージングからスタンバイオフモードに移行するまでの時間を設定します。 F13 キーを押した後、ADJUST VR を回します。 1sec、3sec、30sec、1MIN、3MIN、16MIN、 [無限大: スタン バイオフモード (ドラムストップ / ハーフローディング) には移行しま せん。] に設定できます。

---

# HOME SET UP メニュー

## リファレンス



OUT REF : ビデオ出力信号のリファレンスを設定します。

AUTO : REF VIDEO 端子の信号入力があるときは REF VIDEO にロックし、無いときは INPUT 入力信号にロックします。どちらも無いときは内部信号がリファレンスになります。

フォーマットにより以下の優先順位となります。

< HD モード >

HD REF > SD REF > INPUT > FREE

< SD モード >

SD REF > HD REF > INPUT > FREE

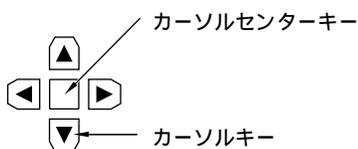
INPUT : INPUT 入力信号があるときは INPUT 信号にロックし、INPUT 入力信号が無いときは内部信号がリファレンスになります。

HD REF : HD REF IN 端子に HD REF 入力があるときは REF 信号にロックし、無いときは内部信号がリファレンスになります。

SD REF : SD REF IN 端子に SD REF 入力があるときは REF 信号にロックし、無いときは内部信号がリファレンスになります。

## 操 作

- (1) カーソルセンターキーを押します。  
カーソルが表示されます。



- (2) カーソルキーで設定したい項目にカーソルを移動させます。  
選択された項目は点滅表示になります。

OUT REF:  INPUT

- (3) ENT キーを押します。設定が確定します。

\* 720/59p モードでは、外部機器との同期に SD\_REF をご使用ください。(720/59p モードでは、SD\_REF または SD\_FREE となります。)

AUTO 設定時には優先順位は、SD\_REF>FREE となります。

# HOME SET UP メニュー

---

## プログラムプレイ機能

- (1) F4 (PRG PLY) キーを押します。
- (2) F3 (PRG PLY) キーでステップを FINE または COARSE に設定します。
- (3) ADJUST VR でプログラムプレイ速度を設定します。

PRG PLY  
2.0%

- (4) PLAY と VAR ボタンを同時に押します。
- (5) 再生速度を変えたい場合は、VAR ボタンを押しながら、ADJUST VR を回します。
- (6) プログラムプレイを停止するときは、STOP ボタンを押します。



# VIDEO IN メニュー

キー	項目	機能
F1	INPUT HD ビデオ入力信号の 選択	DIGITAL : シリアル入力信号を選択します。 INT SG : 内部信号を選択します。
F2	INT SG HD 内部信号の種類 選択	75%CB : 75 %カラーバーを選択します。 100%CB : 100 %カラーバーを選択します。 RAMP : ランプ信号を選択します。 MULT-BST : マルチバーストを選択します。 BLACK : ブラックバーストを選択します。 SIF PLL : シリアルインターフェース PLL チェック用信号を選択します。 SIF EQ : シリアルインターフェースイコライザチェック用信号を選択します。 SMPTE CB* : SMPTE カラーバーを選択します。
F3 ~ F11		
F12	INT SG SD 内部信号の種類 選択	75%CB : 75 %カラーバーを選択します。 100%CB : 100 %カラーバーを選択します。 RAMP : ランプ信号を選択します。 MULT-BST : マルチバーストを選択します。 BLACK : ブラックバーストを選択します。 SIF PLL : シリアルインターフェース PLL チェック用信号を選択します。 SIF EQ : シリアルインターフェースイコライザチェック用信号を選択します。 SMPTE CB : SMPTE カラーバーを選択します。
F13	INPUT SD ビデオ入力信号の 選択	DIGITAL : シリアル入力信号を選択します。 INT SG : 内部信号を選択します。

\* 720/59p フォーマット選択時、SMPTE CB は動作しません。

# VIDEO OUT HDメニュー

VIDEO OUT キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the VIDEO OUT HD menu interface. At the top, it shows "OUTPUT LEVEL" and "VIDEO OUT HD" with a left-pointing arrow. On the right, "LTCR" is set to "00:00:00:00". The main area contains four vertical level meters for Y, PB, PR, and BLACK L, each with a dB scale from 0 to -∞ and a mV scale from 100 to -100. Below the meters are buttons for "Y", "PB", "PR", and "BLACK L", all currently set to "UNITY". A "CONVERT" button is located to the right of the meters. At the bottom of the menu, there are several status indicators: "SYSTEM 1080\_23PsF", "TAPE \*\*\*\*\*", "REF HD\_FREE", and "VIN DIG". To the right of the menu, five function keys are labeled: F13, F12, F11, F10, and F9. Below the menu, a row of function keys F1 through F8 is visible.

# VIDEO OUT HD メニュー

---

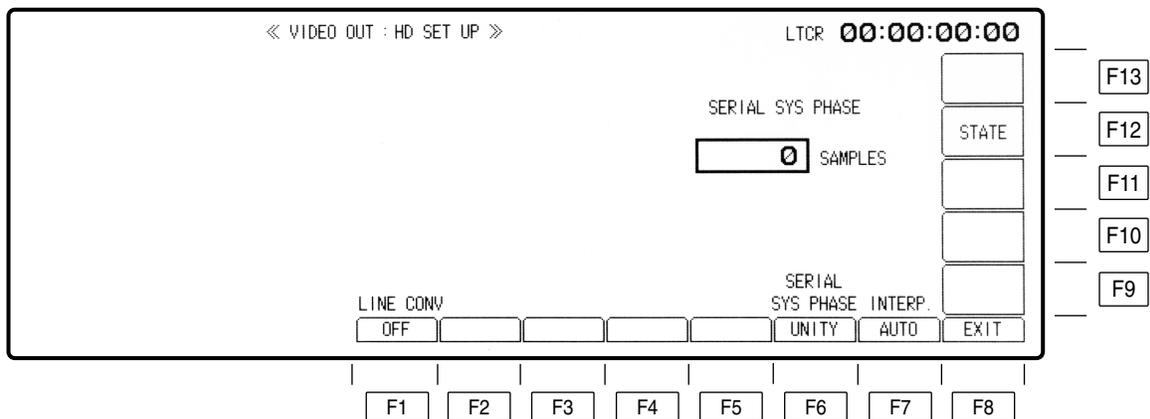
キー	項目	機能
F1	Y Y レベル調整	- ~ + 3dB : ( 微調整モード時は - 3dB ~ + 3dB ) ・ F キーと同時に押すと微調整モードになります。
F2	PB P <sub>B</sub> レベル調整	- ~ + 3dB : ( 微調整モード時は - 3dB ~ + 3dB ) ・ F キーと同時に押すと微調整モードになります。
F3	PR P <sub>R</sub> レベル調整	- ~ + 3dB : ( 微調整モード時は - 3dB ~ + 3dB ) ・ F キーと同時に押すと微調整モードになります。
F4	BLACK.L ブラックレベル調整	± 100mV
F5 ~ F7		
F8	SET UP	VIDEO OUT HD SET UP メニュー - に移行します。
F9	SD	VIDEO OUT SD メニュー - に移行します。
F10	CONVERT	VIDEO OUT CONVERT メニュー - に移行します。
F11 ~ F13		

---

# VIDEO OUT HD SET UP メニュー

VIDEO OUT

F8 キーを押すとメニューが出ます。



# VIDEO OUT HD SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	LINE CONV*	ライン変換機能 OFF : ライン変換は行いません。1035 テープ再生時、上下に黒帯の映像が付加された 1080 信号が出力されます。 ON : 1035 1080 ライン変換を行います。
F2 ~ F5		
F6	SERIAL SYS PHASE	F キーと F6 キーを同時に押すと白抜き表示 (VAR モード) となり、ADJ つまみで調整が可能となります。 最大 ± 0.5H まで調整可能。(ただし、モードによります。) ± 1375 SAMPLE : 1080/23p フォーマット時、1080/24p フォーマット時 ± 1320 SAMPLE : 1080/50i フォーマット時、1080/25p フォーマット時 ± 1100 SAMPLE : 1080/59i フォーマット時 ± 825 SAMPLE : 720/59p フォーマット時 (1_SAMPLE=13.5n sec) SAMPLE 単位で調整。
F7	INTERP. インターポーレーション	AT 再生時、垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減させます。 AUTO : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させます。 OFF : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させません。
F8	EXIT	VIDEO OUT HD メニューに戻ります。
F9 ~ F11		
F12	STATE	VIDEO OUT HD SET UP STATE メニューに移行します。
F13		

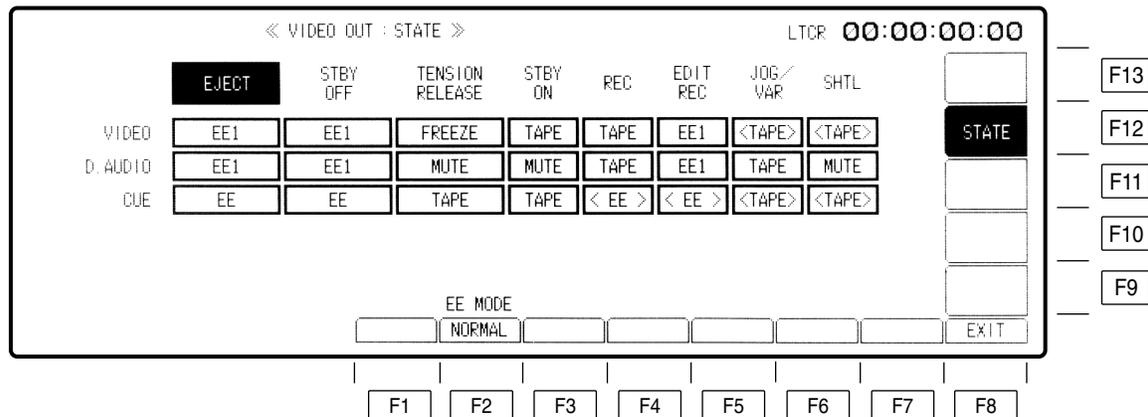
\* 1080/59i フォーマット選択時のみ動作します。

# VIDEO OUT HD SET UP STATEメニュー

VIDEO OUT (または AUDIO OUT) F8 F12 キーを押すとメニューが出ます。

または

VIDEO OUT F9 F11 (または F12) F12 キーを押すとメニューが出ます。



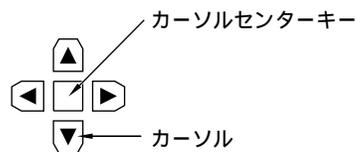
ファンクションキー	項 目	機 能
F1		
F2	EE_MODE	NORMAL : 標準モード (E-E スルーモードを OFF) になります。 THROUGH : EE1/EE2 選択時、E-E スルーモード (AV の最小遅延モード) になります。 *E-E スルーモードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT HD SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F11		
F12	STATE	VIDEO OUT HD SET UP メニューに戻ります。
F13		

# VIDEO OUT SET UP STATEメニュー

## TAPE/EE 出力信号の選択

VTRの動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号をTAPEまたはEE信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

- ・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<TAPE>
D.AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	<EE>	<EE>	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPEまたはEEのどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE	FREEZE	<u>FREEZE</u>	<u>TAPE</u>	<u>TAPE</u>	TAPE	TAPE	TAPE
	BLACK	BLACK	BLACK	EE1	EE1	<u>EE1</u>		
	GRAY	GRAY	GRAY	EE2	EE2			
	FREE NOISE	FREE NOISE	FREE NOISE					
	<u>EE1</u>	<u>EE1</u>	EE1					
	EE2	EE2	EE2					
D.AUDIO	MUTE	MUTE	<u>MUTE</u>	<u>MUTE</u>	<u>TAPE</u>	TAPE	<u>TAPE</u>	TAPE
	<u>EE1</u>	<u>EE1</u>	EE1	EE1	EE1	<u>EE1</u>	MUTE	<u>MUTE</u>
	EE2	EE2	EE2	EE2	EE2			
CUE	TAPE	TAPE	<u>TAPE</u>	<u>TAPE</u>	EE	EE	TAPE	TAPE
	<u>EE</u>	<u>EE</u>	EE	EE				

(下線は工場出荷モードです。)

- ・上記の設定は、TESTメニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOMEメニューのF1 (OUTPUT) でTAPE/EEを設定しているときは、HOMEメニューの方を優先します。

# VIDEO OUT SD メニュー

VIDEO OUT

F9 キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'VIDEO OUT SD' menu. At the top, it shows 'OUTPUT LEVEL' and 'LTCR 00:00:00:00'. The main area contains a level meter and four sliders for Y, PB, PR, and BLACK L. The Y slider is set to 0 dB, PB to -3 dB, PR to -3 dB, and BLACK L to 0 mV. Below the sliders are labels for 'Y', 'PB', 'PR', and 'BLACK L', each with 'UNITY' below it. To the right of the sliders are 'SET UP' buttons for 'SDI', 'CMPST', and 'CONVERT', and a 'MENU HD' button. At the bottom of the screen are function keys F1 through F8. To the right of the screen are function keys F9 through F13.

# VIDEO OUT SD メニュー

---

キー	項目	機能
F1	Y Yレベルの調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ +3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F2	PB P <sub>B</sub> レベルの調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ +3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F3	PR P <sub>R</sub> レベルの調整	- ~ + 3dB : (微調整モード時は - 3dB ~ +3dB) ・ Fキーと同時に押すと微調整モードになります。
F4	BLACK.L ブラックレベルの調整	± 100mV
F5 ~ F6		
F7	HD	VIDEO OUT HD メニューに移行します。
F8 ~ F9		
F10	CONVERT	VIDEO OUT CONVERT メニューに移行します。
F11	CMPST	VIDEO OUT SD SET UP COMPOSITE メニューに移行します。
F12	SDI	VIDEO OUT SD SET UP SDI メニューに移行します。
F13		

---

# VIDEO OUT SD SET UP COMPOSITE メニュー

VIDEO OUT    F9    F11    キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot shows a menu titled « VIDEO OUT : SD SET UP : CMPST » with a LTCR timer at 00:00:00:00. The menu contains several settings and options:

- SYS SC : 0 DEGREE
- SYS H : 0 SAMPLES
- COMB FIL : ON
- SYS SC : UNITY
- SYS H : UNITY
- INTERP. : AUTO
- EXIT
- STATE
- LINE BLK
- 7.5%STUP OFF

Function key callouts are as follows:

- F13: Points to the top right corner of the menu.
- F12: Points to the STATE button.
- F11: Points to the LINE BLK button.
- F10: Points to the 7.5%STUP OFF button.
- F9: Points to the EXIT button.
- F1-F8: Point to the bottom row of menu items (COMB FIL, SYS SC, SYS H, INTERP., and EXIT).

# VIDEO OUT SD SET UP COMPOSITE メニュー

キー	項目	機能
F1	COMB FIL* <sup>1</sup> コムフィルターの制御	アナログコンポジット出力にくし型フィルターをかけるかどうかを選択します。 ON : フィルターをかけて出力します。 OFF : フィルターを通しません。
F2 ~ F4		
F5	SYS SC システムサブキャリアの調整	コンポジット出力の SYS_SC を調整します。 F キーと同時に押すと白抜き表示 (VAR モード) となり、ADJUST VR で調整が可能となります。
F6	SYS H システム H 位相の調整	コンポジット出力のシステム H 位相を調整します。 F キーと同時に押すと白抜き表示 (VAR モード) となり、ADJUST VR で調整が可能となります。 システム H 位相をサンプル単位で調整します。± 0.5H - 858 ~ + 858 (480/59.94i フォーマット時) - 864 ~ + 864 (576/50i フォーマット時)
F7	INTERP. インターポーレーション	AT 再生時、垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減させます。 AUTO : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させます。 OFF : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させません。
F8	EXIT	VIDEO OUT SD メニューに戻ります。
F9		
F10	7.5%STUP 7.5%セットアップ 付加	コンポジット出力に 7.5%セットアップを付加するかどうかを選択します。 [ NTSC 出力時のみ有効。PAL 出力時は表示しません。] ON : 7.5%セットアップを付加します。 OFF : 7.5%セットアップを付加しません。
F11	LINE BLK* <sup>2</sup>	ビデオ出力ラインブランキングメニューに移行します。 NTSC : 10 ~ 21 ライン PAL : 8 ~ 22 ライン
F12	STATE	VIDEO OUT SD SET UP COMPST STATE メニューに移行します。
F13		

\*<sup>1</sup> 1080/50i 時は動作しません。

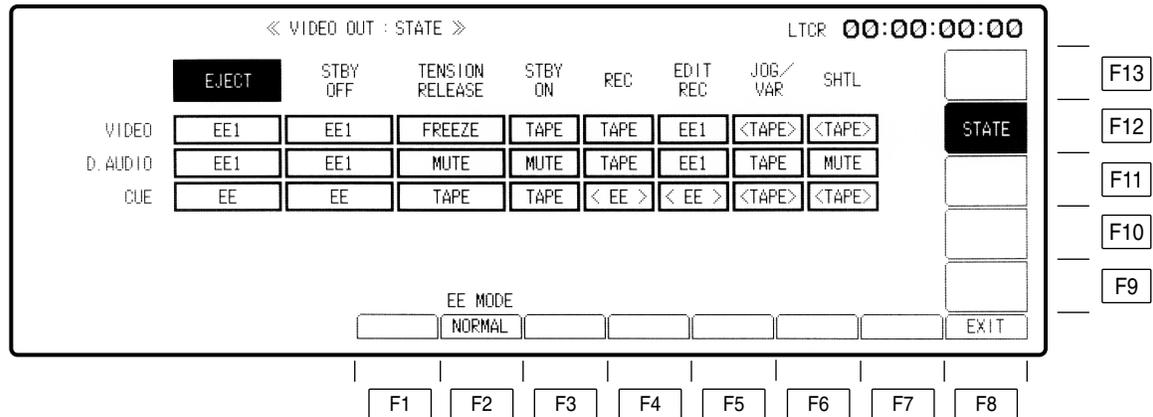
\*<sup>2</sup> 525i (480/59i) 以外のモードでは、HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P (別売品) が挿入されている場合のみ調整可能。

# VIDEO OUT SD SET UP CMPST STATEメニュー

VIDEO OUT (または AUDIO OUT) [F8] [F12] キーを押すとメニューが出ます。

または

VIDEO OUT [F9] [F11] (または [F12]) [F12] キーを押すとメニューが出ます。



ファンクションキー

項目

機能

F1

F2

EE\_MODE

NORMAL : 標準モード (E-E スルーモードを OFF) になります。  
 THROUGH : E-E スルーモード (AV の最小遅延モード) になります。  
 \*E-E スルーモードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。

F3 ~ F7

F8

EXIT

VIDEO OUT SD SET UP CMPST メニューに移ります。

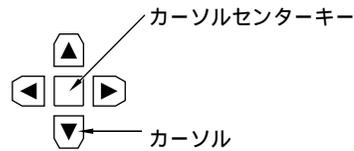
F9 ~ F13

# VIDEO OUT SD SET UP CMPST STATE メニュー

## TAPE/EE 出力信号の選択

VTRの動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号をTAPEまたはEE信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

- ・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<TAPE>
D.AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	<EE>	<EE>	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPEまたはEEのどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

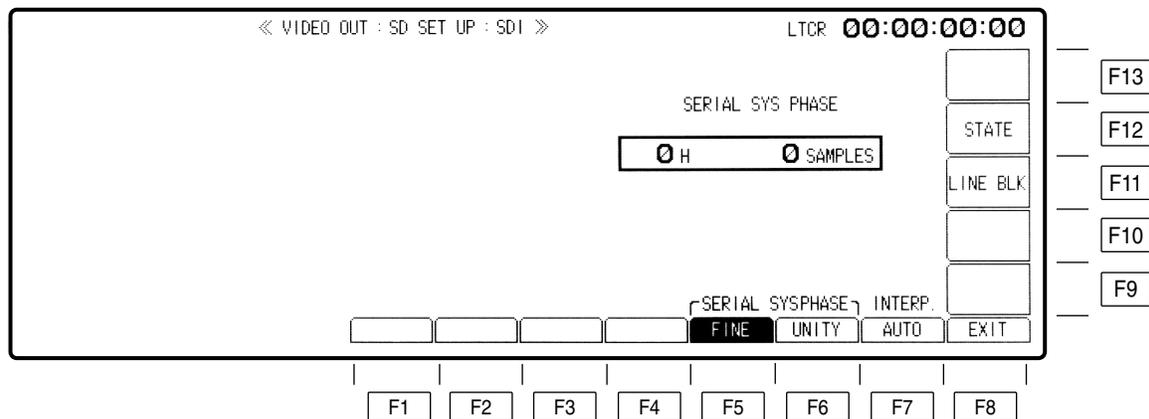
モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE	FREEZE	<u>FREEZE</u>	<u>TAPE</u>	<u>TAPE</u>	TAPE	TAPE	TAPE
	BLACK	BLACK	BLACK	EE1	EE1	<u>EE1</u>		
	GRAY	GRAY	GRAY	EE2	EE2			
	FREE NOISE	FREE NOISE	FREE NOISE					
	<u>EE1</u>	<u>EE1</u>	EE1					
	EE2	EE2	EE2					
D.AUDIO	MUTE	MUTE	<u>MUTE</u>	<u>MUTE</u>	<u>TAPE</u>	TAPE	<u>TAPE</u>	TAPE
	<u>EE1</u>	<u>EE1</u>	EE1	EE1	EE1	<u>EE1</u>	MUTE	<u>MUTE</u>
	EE2	EE2	EE2	EE2	EE2			
CUE	TAPE	TAPE	<u>TAPE</u>	<u>TAPE</u>	EE	EE	TAPE	TAPE
	<u>EE</u>	<u>EE</u>	EE	EE				

(下線は工場出荷モードです。)

- ・上記の設定は、TESTメニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOMEメニューのF1 (OUTPUT) でTAPE/EEを設定しているときは、HOMEメニューの方を優先します。

# VIDEO OUT SD SET UP SDIメニュー

VIDEO OUT F9 F12 キーを押すとメニューが出ます。



# VIDEO OUT SD SET UP SDIメニュー

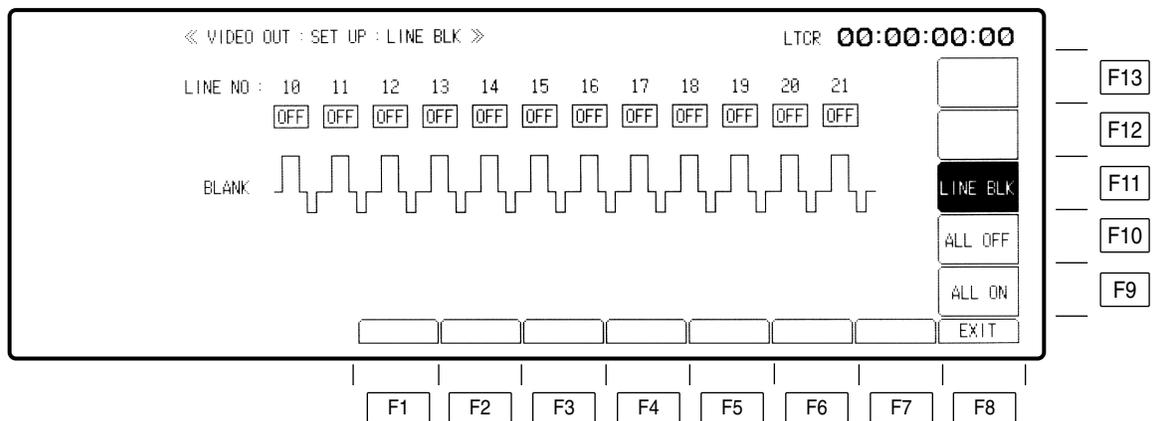
キー	項目	機能
F1 ~ F4		
F5	SERIAL SYS	リファレンス信号に対する SD_SDI 出力のシンク位相を調整します。
F6	PHASE	FINE/COARSE ・ F キーと同時に押すと選択できます。 480/59.94i フォーマット時 : - 2H - 858 ~ + 1H + 858 まで調整可能。 480/59.94p フォーマット時* <sup>1</sup> : - 857 ~ + 858 まで調整可能。 576/50i フォーマット時* <sup>1</sup> : - 2H - 864 ~ + 1H + 864 まで調整可能。 FINE の場合、SAMPLE 単位で調整。COARSE の場合、H 単位で調整。
F7	INTERP. インターポーレーション	AT 再生時、垂直インターポーレーションを行い、再生画像の上下動を軽減させます。 AUTO : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させます。 OFF : JOG/VAR モード時に自動的にインターポーレーションを動作させません。
F8	EXIT	VIDEO OUT SD メニューに戻ります。
F9 ~ F10		
F11	LINE BLK* <sup>2</sup>	ビデオ出力ラインブランキングメニューに移行します。 NTSC : 10 ~ 21 ライン PAL : 8 ~ 22 ライン
F12	STATE	VIDEO OUT SD SET UP SDI STATE メニューに移行します。
F13		

\*<sup>1</sup> HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P (別売品) が挿入されている場合のみ調整可能。

\*<sup>2</sup> 525i (480/59i) 以外のモードでは、HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P (別売品) が挿入されている場合のみ調整可能。

# VIDEO OUT SET UP LINE BLK(ビデオ出力ラインブランキング)メニュー

VIDEO OUT [F9] [F11] (または [F12]) [F11] キーを押すとメニューが出ます。



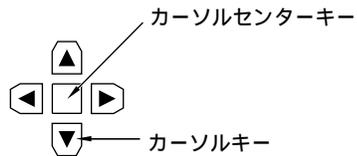
キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT SD SET UP メニューに戻ります。
F9	ALL ON	F キーと同時に押すと、全てのラインがブランキングになります。
F10	ALL OFF	F キーと同時に押すと、全てのラインがノンブランキングになります。
F11	LINE BLK	「ラインブランキングの設定」(次ページ)を参照。
F12 ~ F13		

# VIDEO OUT SET UP LINE BLK(ビデオ出力ラインブランキング)メニュー

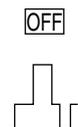
## ラインブランキングの設定

垂直ブランキング区間のブランキングラインをライン単位で設定することができます。

- (1) カーソルセンターキーを押します。  
カーソルが表示されます。



- (2) カーソルを移動し、ブランキングするラインを選びます。



- (3) カーソルセンターキーを押して ON/OFF 表示を選びます。



ON : ラインはブランキングされます。  
OFF : ノンブランキングとなり、ラインは選択されません。

- (4) ENT キーを押します。  
ブランキングが確定します。

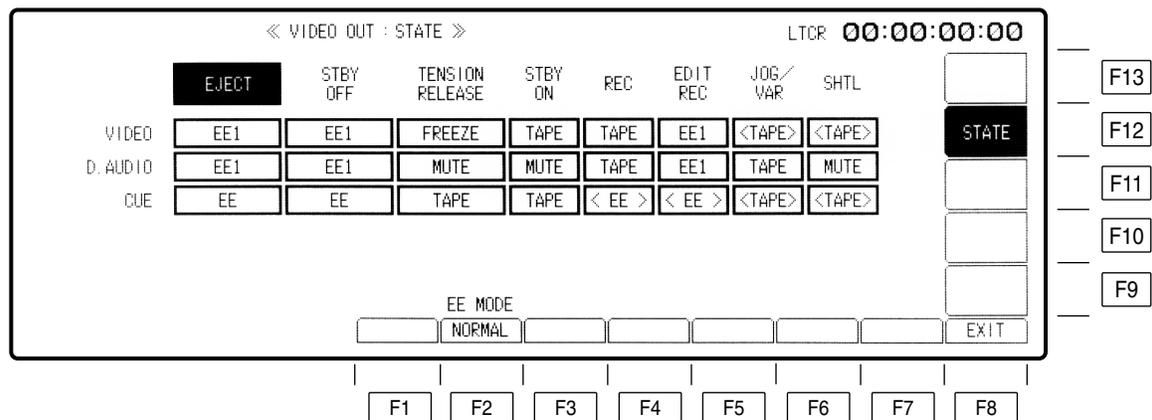
- (5) 前の画面に戻るときは、F8 (EXIT) キーを押します。

# VIDEO OUT SD SET UP SDI STATEメニュー

VIDEO OUT (または AUDIO OUT) F8 F12 キーを押すとメニューが出ます。

または

VIDEO OUT F9 F11 (または F12) F12 キーを押すとメニューが出ます。



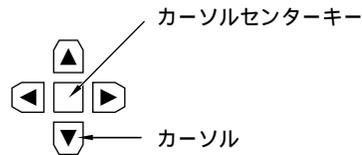
キー	項目	機能
F1		
F2	EE_MODE	NORMAL : 標準モード (E-E スルーモードを OFF) になります。 THROUGH : E-E スルーモード (AV の最小遅延モード) になります。 * E-E スルーモードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	VIDEO OUT SD SET UP SDIメニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# VIDEO OUT SD SET UP SDI STATEメニュー

## TAPE/EE 出力信号の選択

VTRの動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号をTAPEまたはEE信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

- ・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<<TAPE>
D. AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	< EE >	< EE >	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPEまたはEEのどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE	FREEZE	FREEZE	TAPE	TAPE	TAPE	TAPE	TAPE
	BLACK	BLACK	BLACK	EE1	EE1	EE1		
	GRAY	GRAY	GRAY	EE2	EE2			
	FREE NOISE	FREE NOISE	FREE NOISE					
	EE1	EE1	EE1					
	EE2	EE2	EE2					
D.AUDIO	MUTE	MUTE	MUTE	MUTE	TAPE	TAPE	TAPE	TAPE
	EE1	EE1	EE1	EE1	EE1	EE1	MUTE	MUTE
	EE2	EE2	EE2	EE2	EE2			
CUE	TAPE	TAPE	TAPE	TAPE	EE	EE	TAPE	TAPE
	EE	EE	EE	EE				

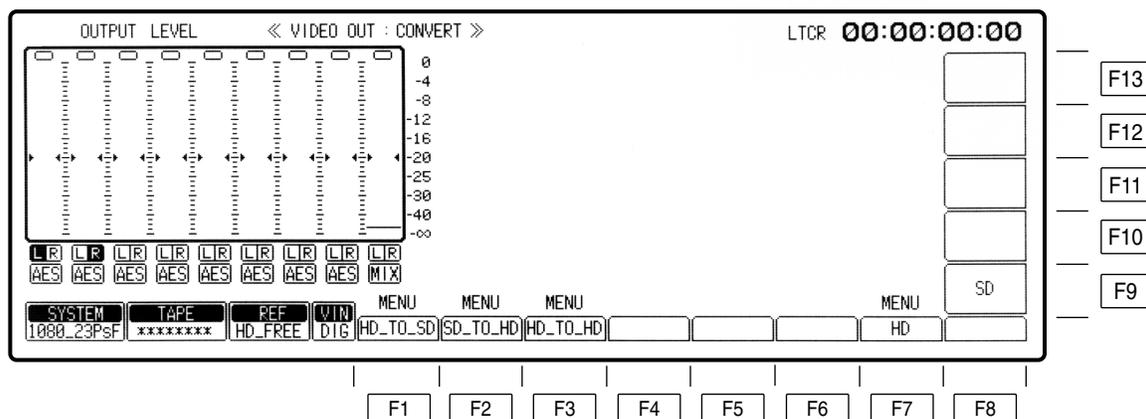
(下線は工場出荷モードです。)

- ・上記の設定は、TESTメニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOMEメニューのF1 (OUTPUT) でTAPE/EEを設定しているときは、HOMEメニューの方を優先します。

# VIDEO OUT CONVERT メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P が挿入されている場合、メニューが出ます。)

VIDEO OUT    F10 キーを押すとメニューが出ます。

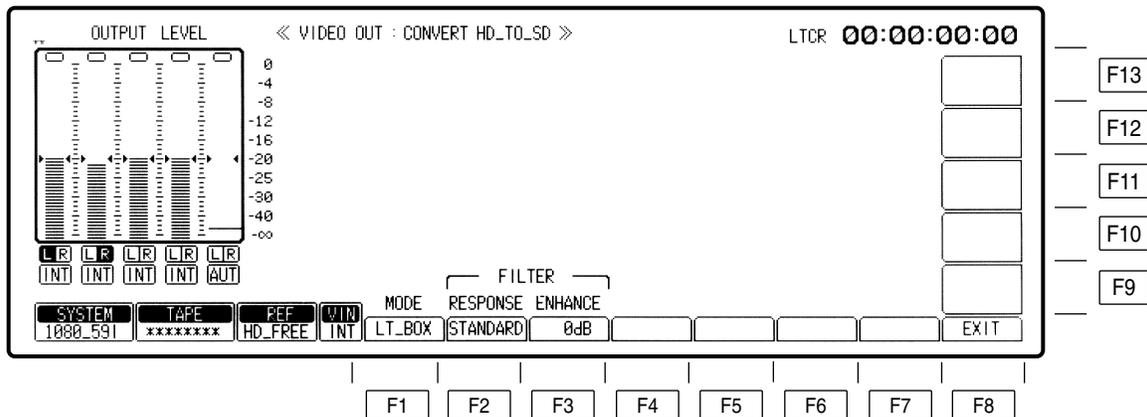


キー	項目	機能
F1	HD_TO_SD	VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD メニューに移ります。
F2	SD_TO_HD	VIDEO OUT CONVERT SD_TO_HD メニューに移ります。
F3	HD_TO_HD	VIDEO OUT CONVERT HD_TO_HD メニューに移ります。
F4 ~ F6		
F7	HD	VIDEO OUT HD メニューに戻ります。
F8		
F9	SD	VIDEO OUT SD メニューに戻ります。
F10 ~ F13		

# VIDEO OUT CONVERT HD\_TO\_SD メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P が挿入されている場合、メニューが出ます。)

VIDEO OUT F10 F1 キーを押すとメニューが出ます。

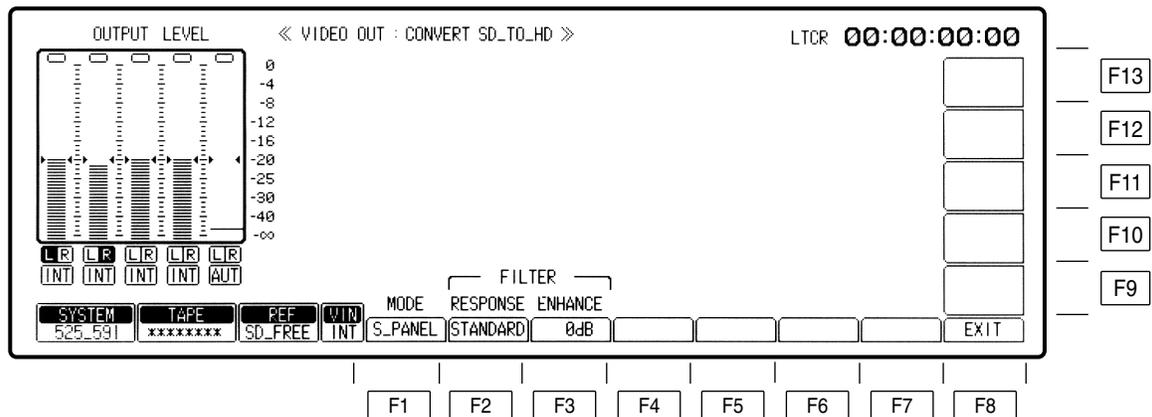


キー	項目	機能
F1	MODE	<p>ダウンコンバータ出力時のアスペクト比を選択します。</p> <p>S_CROP : 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。)</p> <p>LT_BOX : 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。)</p> <p>SQUEEZE : 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクトは歪むおそれがあります。)</p> <p>14:9 : アスペクト比を 14 × 9 に設定します。</p> <p>13:9 : アスペクト比を 13 × 9 に設定します。</p> <p>* SD_SDI MAIN 出力に 525P (480/59.94p) 選択時は 16:9 固定表示になります。</p>
F2	RESPONSE	<p>ダウンコンバータ出力信号の周波数帯域幅を選択します。</p> <p>STANDARD :</p> <p>WIDE :</p> <p>NARROW :</p>
F3	ENHANCE	<p>ダウンコンバータ出力信号の画質調整を制御します。</p> <p>6 dB :</p> <p>3 dB :</p> <p>1.5 dB :</p> <p>0 dB :</p>
F4 ~ 7		
F8	EXIT	VIDEO OUT CONVERT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# VIDEO OUT CONVERT SD\_TO\_HD メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P が挿入されている場合、メニューが出ます。)

VIDEO OUT F10 F2 キーを押すとメニューが出ます。



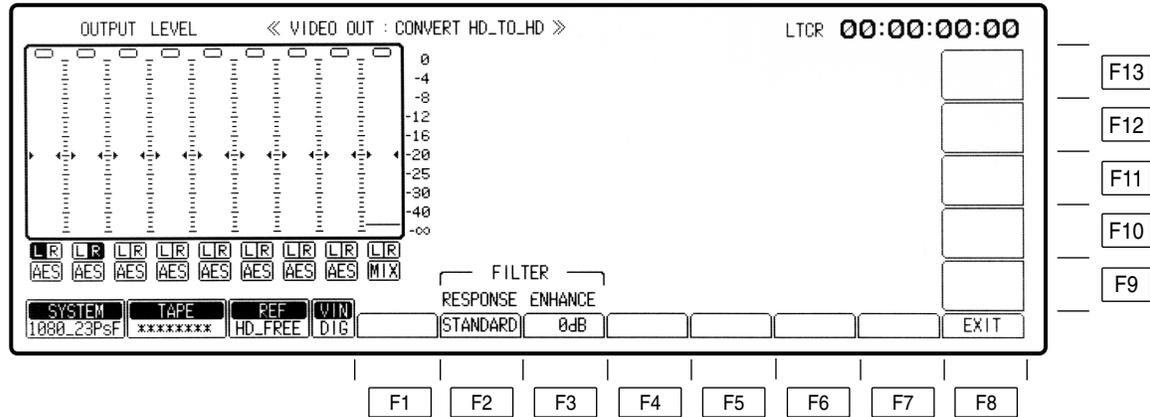
キー	項目	機能
F1	MODE	アップコンバータ出力時のアスペクト比を選択します。 S_PANEL : 垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) TB_CROP : 水平軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は維持。) STRETCH : 水平と垂直軸にそって入力サイズを出力サイズに合わせて倍率を変更します。(アスペクト比は歪むおそれがあります。)
F2	RESPONSE	アップコンバータ出力信号の周波数帯域幅を選択します。 STANDARD : WIDE : NARROW :
F3	ENHANCE	アップコンバータ出力信号の画質調整を制御します。 6 dB : 3 dB : 1.5 dB : 0 dB :
F4 ~ 7		
F8	EXIT	VIDEO OUT CONVERT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# VIDEO OUT CONVERT HD\_TO\_HD メニュー

(別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P が挿入されている場合、メニューが出ます。)

VIDEO OUT F10 F3 キーを押すとメニューが出ます。

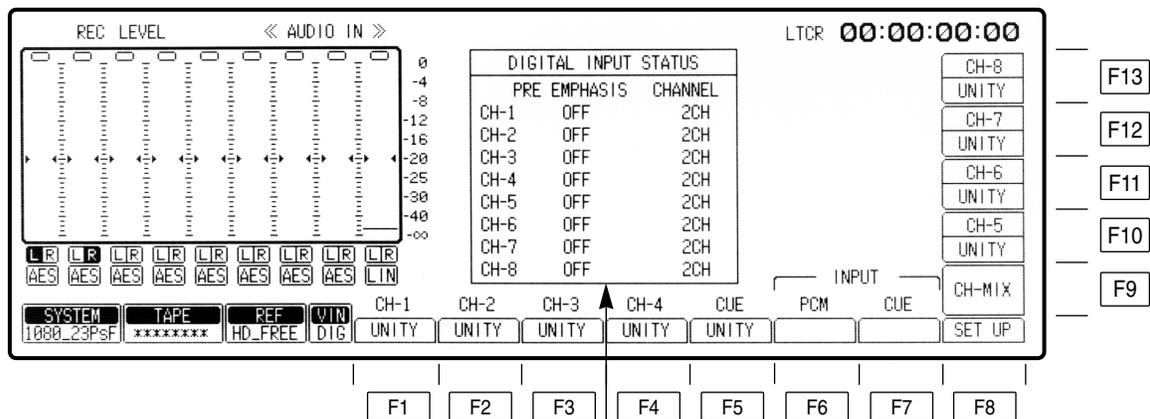
\* このメニューはシステムフォーマットを 1080/23.98p、1080/24p に設定した時、有効となります。



キー	項目	機能
F1		
F2	RESPONSE	コンバータ出力信号の周波数帯域幅を選択します。 STANDARD : WIDE : NARROW :
F3	ENHANCE	コンバータ出力信号の画質調整を制御します。 6 dB : 3 dB : 1.5 dB : 0 dB :
F4 ~ 7		
F8	EXIT	VIDEO OUT CONVERT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# AUDIO IN メニュー

AUDIO IN キーを押すとメニューが出ます。



デジタル音声入力のステータスを表示します。

PRE EMPHASIS ON : プリエンファシスがかかります。

OFF : プリエンファシスがかかっていない  
通常の信号です。

# AUDIO IN メニュー

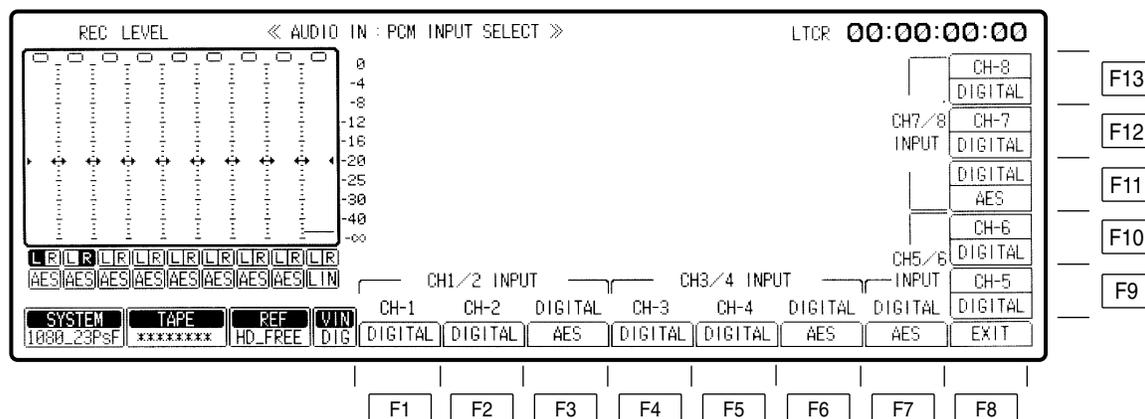
---

キー	項目	機能
F1	CH-1 CH1 入力レベル調整の選択	
F2	CH-2 CH2 入力レベル調整の選択	
F3	CH-3 CH3 入力レベル調整の選択	UNITY : オーディオ入力レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR でオーディオ入力レベルを可変できます。
F4	CH-4 CH4 入力レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F5	CUE CUE オーディオ 入力レベル調整の選択	
F6	PCM	AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニューに移行します。
F7	CUE	AUDIO IN CUE INPUT メニューに移行します。
F8	SET UP	AUDIO IN SET UP メニューに移行します。
F9	CH-MIX	AUDIO IN CH-MIX 設定メニューに移行します。
F10	CH-5 CH5 入力レベル調整の選択	
F11	CH-6 CH6 入力レベル調整の選択	UNITY : オーディオ入力レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR でオーディオ入力レベルを可変できます。
F12	CH-7 CH7 入力レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F13	CH-8 CH8 入力レベル調整の選択	

---

# AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN    F6    キーを押すとメニューが出ます。



# AUDIO IN PCM INPUT SELECTメニュー -

キー	項目	機能
F1	CH-1 デジタルオーディオ CH1の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH1 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDIは CH2 と合わせて F3 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F2	CH-2 デジタルオーディオ CH2の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH2 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDIは CH1 と合わせて F3 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F3	DIGITAL CH1/2のデジタル 入力信号の選択	AES : AESのデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F4	CH-3 デジタルオーディオ CH3の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH3 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDIは CH4 と合わせて F6 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F5	CH-4 デジタルオーディオ CH4の記録信号選択	ANALOG : アナログオーディオ CH4 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDIは CH3 と合わせて F6 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F6	DIGITAL CH3/4のデジタル 入力信号の選択	AES : AESのデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F7	DIGITAL CH5/6のデジタル 入力信号の選択	AES : AESのデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに戻ります。
F9	CH-5 デジタルオーディオ CH5の記録信号選択	ANA CH1 : アナログオーディオ CH1 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。(AES/SDIは CH6 と合わせて F7 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。

# AUDIO IN PCM INPUT SELECT メニュー -

---

キー	項目	機能
F10	CH-6 デジタルオーディオ CH6 の記録信号選択	ANA CH2 : アナログオーディオ CH2 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。( AES/SDI は CH5 と合わせて F7 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F11	DIGITAL CH7/8 のデジタル 入力信号の選択	AES : AES のデジタルオーディオ入力信号を選択します。 SERIAL : シリアル入力信号を選択します。
F12	CH-7 デジタルオーディオ CH7 の記録信号選択	ANA CH3 : アナログオーディオ CH3 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。( AES/SDI は CH8 と合わせて F11 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。
F13	CH-8 デジタルオーディオ CH8 の記録信号選択	ANA CH4 : アナログオーディオ CH4 入力端子の信号を選択します。 DIGITAL : デジタルオーディオ入力信号を選択します。( AES/SDI は CH7 と合わせて F11 キーで選択します。) INT SG : 内部のシグナルジェネレータ信号を選択します。

---

# AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー

AUDIO IN    F7    キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'AUDIO IN : CUE INPUT SELECT' menu. At the top, it shows 'REC LEVEL' with a scale from 0 to -60 and a 'LTCR' timer at 00:00:00:00. The main area contains eight vertical level meters, each with a 'LR' label and an 'AES' label below it. Below the meters are several function key options: 'SYSTEM' (1080\_23PsF), 'TAPE' (\*\*\*\*\*), 'REF' (HD\_FREE), and 'VIN' (DIG). To the right, a vertical list of options includes 'CH-8', 'OFF', 'CH-7', 'OFF', 'CH-6', 'OFF', 'CH-5', 'OFF', 'CUE', 'D MIX', and 'EXIT'. On the far right, function keys F13, F12, F11, F10, and F9 are mapped to these options. At the bottom, function keys F1 through F8 are mapped to the 'CH-1' through 'CH-4' options.

# AUDIO IN CUE INPUT SELECT メニュー

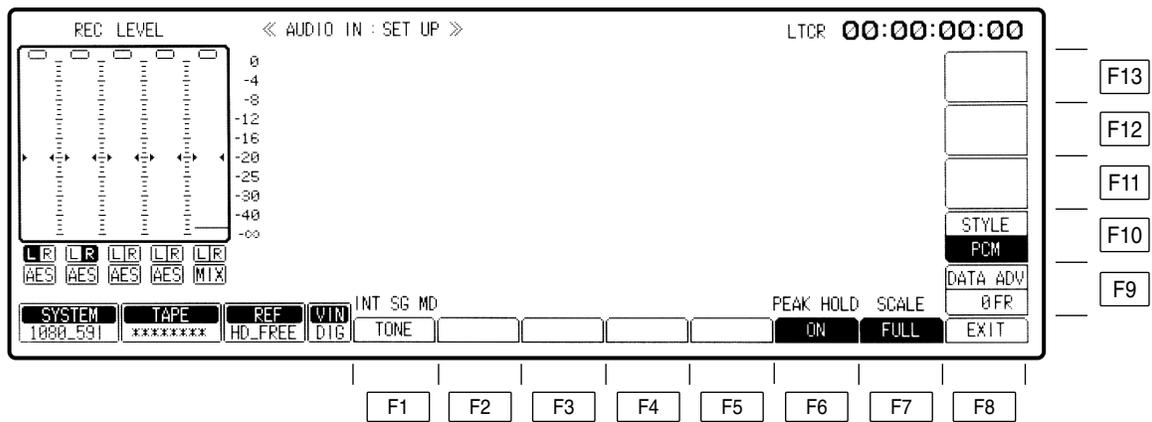
キー	項目	機能
F1	CH-1 CH1 のキュー ミキシング設定	
F2	CH-2 CH2 のキュー ミキシング設定	F9 キーで D-MIX を選択している時のみ表示されます。
F3	CH-3 CH3 のキュー ミキシング設定	SOURCE : 入力信号をミックスします。 TAPE : 再生信号をミックスします。
F4	CH-4 CH4 のキュー ミキシング設定	OFF : 信号をミックスしません。
F5 ~ F7		
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに戻ります。
F9	CUE キューオーディオ 記録信号の選択	キュートラックに記録する信号を選択します。 D-MIX : D-MIX で選択されたデジタルチャンネルの信号をミックスします。 LINE : アナログキュー入力信号を選択します。 AUTO : ノーマル記録時は (CH1 ~ CH4)* をすべてミックスして記録 します。 編集時は選択されたチャンネルは SOURCE、選択していない チャンネルは TAPE を自動的に選択します。 * フォーマットにより異なります。
F10	CH-5 CH5 のキュー ミキシング設定	
F11	CH-6 CH6 のキュー ミキシング設定	F9 キーで D-MIX を選択している時のみ表示されます。
F12	CH-7 CH7 のキュー ミキシング設定	SOURCE : 入力信号をミックスします。 TAPE : 再生信号をミックスします。
F13	CH-8 CH8 のキュー ミキシング設定	OFF : 信号をミックスしません。

# AUDIO IN SET UP メニュー

**AUDIO IN** **F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

**SET UP** **F6** キーを押すとメニューが出ます。



# AUDIO IN SET UP メニュー

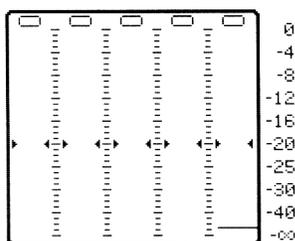
キー	項目	機能
F1	INT SG MD	内蔵オーディオテスト信号を選択します。 TONE : 基準レベルの正弦波が出力されます。 SILENCE : 信号音を出力しません。(無音信号となります。)
F2 ~ F5		
F6	PEAK HOLD ピークホールドの 設定	記録および再生レベルのピーク値をホールドする機能です。 ON : ピーク値をホールドします。 OFF : ピーク値をホールドしません。
F7	SCALE レベルメータの スケール(目盛り) 切り替え	画面上的オーディオレベル表示メータのスケール(目盛り)を標準目盛りと微調整目盛りに切り替えます。 FINE : 0.2dB ごとのスケールになります。( - 24dB ~ - 15dB の範囲) FULL : 標準目盛りになります。( - dB ~ 0dB の範囲) 「オーディオレベルメータのスケールの切り替え」(このページ)を参照してください。
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに戻ります。
F9	DATA ADV* <sup>1</sup>	0 ~ 1Fr (0.1 刻み) : デジタルオーディオの入出力形式がデータモード時のアドバンス量を 0.1 フレーム単位で設定できます。(0 設定時は VTR 内部の DEFAULT に合わせます。)
F10	STYLE* デジタルオーディオ の入出力データ形式 の設定	F キーと F10 キーを同時に押すと設定可能です。 PCM : 通常の PCM オーディオモードに設定します。 DATA : データモード (圧縮オーディオ : Dolby-E* <sup>2</sup> ) に設定します。
F11 ~ F13		

\*<sup>1</sup> 1080/59.54i\_4ch および 720/59.94p\_4ch フォーマット時のみしかデータモードは動作しません。

データ ADV 量とデータ形式の設定は、AUDIO IN SET UP メニューと AUDIO OUT SET UP メニューの両方で設定可能です。どちらかのメニューで設定を更新した場合、両方のメニューとも変更されます。なお、各チャンネルごとの設定はできません。

\*<sup>2</sup> ドルビー、DOLBY およびダブル D 記号  はドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの商標です。

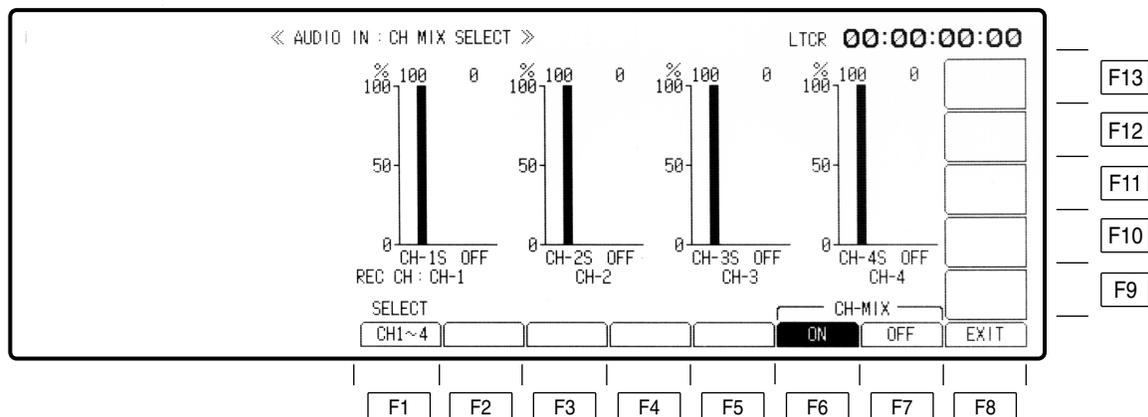
## オーディオレベルメータのスケール(目盛り)の切り替え



・ FINE の場合、オーディオレベルの調整が - 24dB 以下の場合にはマークが、 - 15dB 以上の場合には マークが表示されます。

# AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー -

AUDIO IN F9 キーを押すとメニューが出ます。



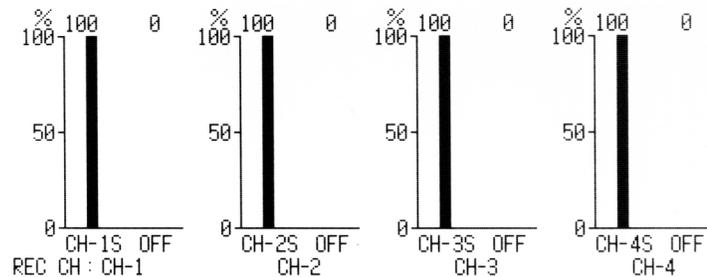
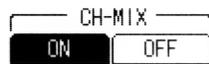
キー	項目	機能
F1	SELECT	ミキシング選択を行う場合のチャンネルを設定します。 CH1 ~ CH4 : CH1 から CH4 までの設定を選択します。 CH5 ~ CH8* : CH5 から CH8 までの設定を選択します。
F2 ~ F5		
F6	CH-MIX (ON) 入力信号と同時再生 信号のミキシング 記録	各デジタルオーディオチャンネルに入力されている信号と、テープの再生信号の中から任意の 2 チャンネルを選択して、任意の比率でミキシングします。 ON : F6 キーを押すと、「ON」になり、ミキシングが可能です。 OFF : F7 キーを押すと、「OFF」になり、チャンネルミキシング操作は行えません。
F7	CH-MIX (OFF) 入力信号と同時再生 信号のミキシング 記録の禁止	「OFF」を設定しても、F6 キーで設定したミキシング設定値は保存されています。
F8	EXIT	AUDIO IN メニューに移行します。
F9 ~ F13		

\* デジタル音声 が 4ch フォーマット時には表示されません。

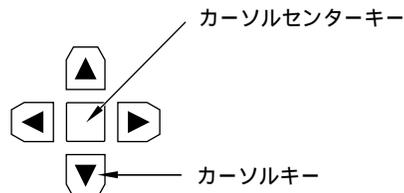
# AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー

## ミキシング記録

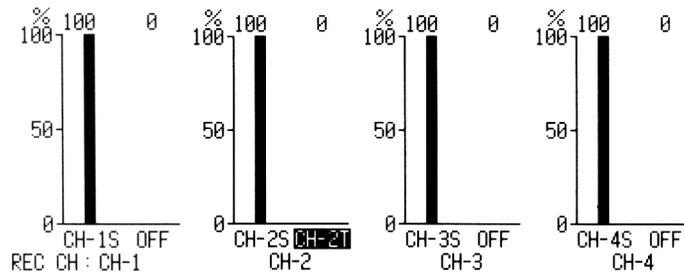
- (1) F6 (CH-MIX) キーを押して「ON」にします。  
ミキシングのグラフ表示が出ます。



- (2) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示させます。



- (3) カーソルキーで、カーソルをミキシングするチャンネルへ移動させます。



- (4) カーソルセンターキーを押して、ミキシング信号を選択します。

各チャンネルごとに、希望の信号を設定できます。

設定できる信号は以下のとおりです。

CH-1S CH-2S CH-3S CH-4S CH-5S CH-6S CH-7S

CH-8S (各チャンネルの入力信号)

CH-1T CH-2T CH-3T CH-4T CH-5T CH-6T CH-7T

CH-8T (各チャンネルの再生信号)

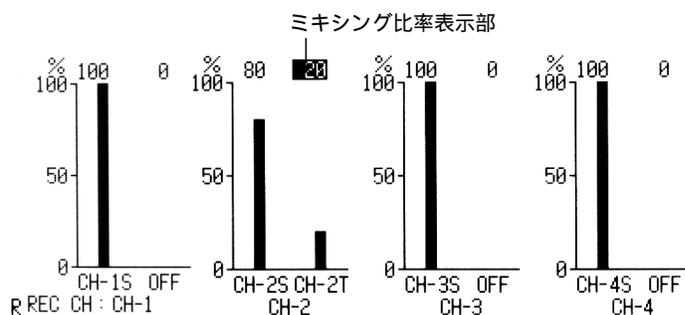
OFF (ミキシングなし)

・ひとつのチャンネルに同じ信号を選択することはできません。

# AUDIO IN CH-MIX SELECT メニュー

## ミキシング記録 (つづき)

- (5) カーソルをミキシング比率表示部に移動させ、ADJUST VR を回して、ミックスする比率を設定します。(1%単位)



### < ノート >

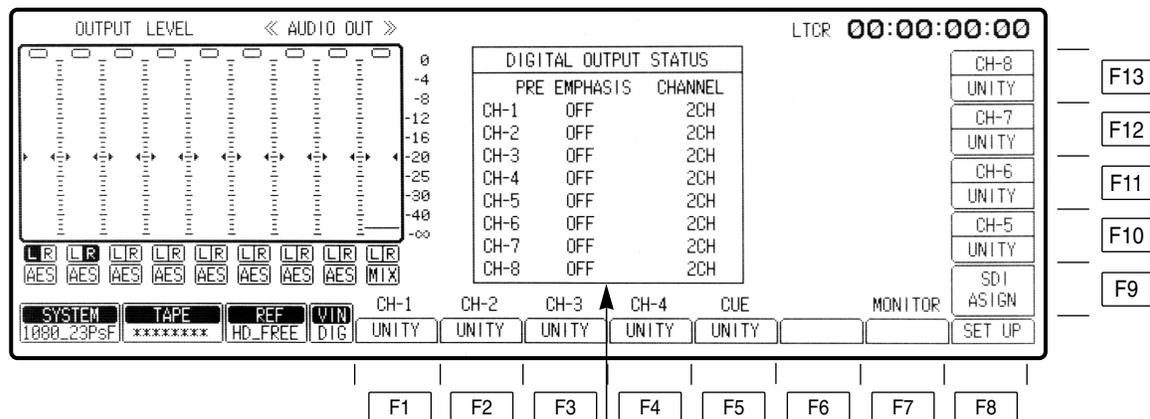
- ・ CH-MIX モードの設定後に、PLAY ボタンを押すと、F6 (CH-MIX) キーが点滅状態になります。このときは、通常の再生音出力されます。
- ・ F6 キーが点滅状態のときに、F6 キーを押すと、CH-MIX 音出力されます。実際のミキシング音を聴きながら調整する場合は、この状態で行います。
- ・ CH-MIX モードの機能を OFF にするには、F7 (CH-MIX) キーを押します。

### VTR のモードと F6/F7 キーの状態による出力音声

VTR モード \ キーの状態	F6 キーが点灯	F6 キーが点滅	F7 キーが点灯 (OFF)
	EE/STOP	CH-MIX 音	
PLAY(EDIT, NORMAL)	CH-MIX 音	再生音	再生音
REC	CH-MIX 音		EE/TAPE
JOG/VAR/SHTL		再生音	再生音

# AUDIO OUT メニュー

AUDIO OUT キーを押すとメニューが出ます。



デジタル音声出力のステータスを表示します。

PRE EMPHASIS ON : プリエンファシスがかけられます。

OFF : プリエンファシスがかけられていない  
通常の信号です。

# AUDIO OUT メニュー

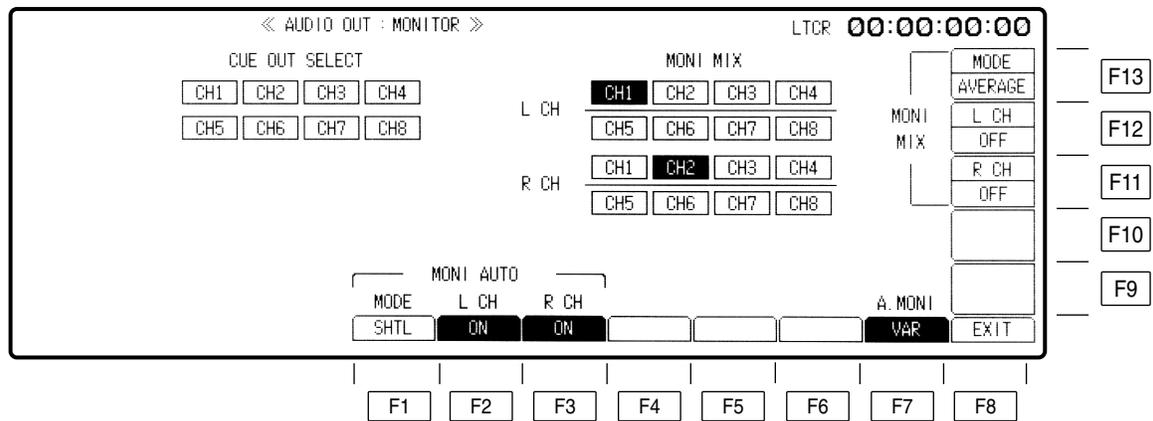
---

キー	項目	機能
F1	CH-1 CH1 再生レベル調整の選択	
F2	CH-2 CH2 再生レベル調整の選択	
F3	CH-3 CH3 再生レベル調整の選択	UNITY : 再生レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR で再生レベルを可変できます。
F4	CH-4 CH4 再生レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F5	CUE CUE オーディオ再生 レベル調整の選択	
<hr/>		
F6		
<hr/>		
F7	MONITOR	AUDIO OUT MONITOR メニューに移行します。
<hr/>		
F8	SET UP	AUDIO OUT SET UP メニューに移行します。
<hr/>		
F9	SDI ASIGN	AUDIO OUT SDI ASIGN メニューに移行します。
<hr/>		
F10	CH-5 CH5 再生レベル調整の選択	
F11	CH-6 CH6 再生レベル調整の選択	UNITY : 再生レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : ADJUST VR で再生レベルを可変できます。
F12	CH-7 CH7 再生レベル調整の選択	・ UNITY/VAR ボタンを押して切り替えます。
F13	CH-8 CH8 再生レベル調整の選択	

---

# AUDIO OUT MONITOR メニュー

AUDIO OUT    F7    キーを押すとメニューが出ます。



# AUDIO OUT MONITOR メニュー

キー	項目	機能
F1	MODE モードの選択	モニター出力を自動的に CUE に切り替える VTR のモードを選択します。 SHTL : SHTL/FF/REW モードで自動的に CUE チャンネルの再生信号を出力します。 それ以外でのモードでは L/R ボタンで選択されたチャンネルを出力します。 VAR/SHTL : SHTL/FF/REW/JOG/VAR モードで自動的に CUE チャンネルの再生信号を出力します。 それ以外でのモードでは L/R ボタンで選択されたチャンネルを出力します。
F2	L CH	AUTO モードを L CH で動作させるかどうかを選択します。 OFF : 常に L ボタンで選択されたチャンネルを出力します。 ON : F1 キーで選択されたモードに従って自動的に CUE を出力します。
F3	R CH	AUTO モードを R CH で動作させるかどうかを選択します。 OFF : 常に R ボタンで選択されたチャンネルを出力します。 ON : F1 キーで選択されたモードに従って自動的に CUE を出力します。
F4 ~ F6		
F7	A. MONI オーディオモニター 出力調整の選択	オーディオモニター出力のレベル調整をフロントパネルのヘッドホン VR で行うかどうかを選択します。 UNITY : オーディオモニター出力レベルは UNITY 値に固定されます。 VAR : オーディオモニター出力レベルはヘッドホン VR で調整可能
F8	EXIT	AUDIO OUT メニュー - に戻ります。
F9 ~ F10		
F11	R CH	MONITOR 端子に出力する R CH と L CH のミックス信号を設定します。 OFF : ミックスしません。 ON : ミックスします。
F12	L CH	
F13	MODE	MONITOR 端子に出力するチャンネルのミキシング方法を選択します。 ADD : 単純加算します。 AVERAGE : 単純平均します。

## CUE OUT SELECT

CUE 出力する本線系 CH1 ~ CH4 (8) を選択します。

カーソルセンターキーを押すと CUE OUT SELECT がハイライト表示して設定可能となります。

[ MONITOR MIX がハイライトしている場合は、F キーとカーソルキー (◀または▶) を同時に押すと設定可能となります。]

カーソルキー (◀、▶、▲、▼) で CH を選択し、カーソルセンターキーを押して ON/OFF を決定してください。

## MONITOR MIX

MONITOR 端子に出力する R CH と L CH のミックス信号を選択します。

選択条件は、CH1 ~ CH4 の中からと CH5 ~ CH8 の中からそれぞれ 2ch 以内 (最大 4ch) を設定することができます。

カーソルセンターキーを押すと MONITOR MIX がハイライト表示して設定可能となります。

[ CUE OUT SELECT がハイライトしている場合は、F キーとカーソルキー (◀または▶) を同時に押すと設定可能となります。]

カーソルキー (◀、▶、▲、▼) で CH を選択し、カーソルセンターキーを押して ON/OFF を決定してください。

(本設定はチャンネルを選択するもので、実機能動作の設定は、F11 キーと F12 キーを切り替えてご使用ください。)

# AUDIO OUT SET UP メニュー

**AUDIO OUT**      **F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

**SET UP**      **F7** キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'AUDIO OUT : SET UP' menu. At the top left, there is an 'OUTPUT LEVEL' section with a vertical scale from 0 to -60 dB and four sliders. Below this are labels for 'L R L R L R L R L R' and 'AES I AES I AES I AES I MIX'. The top center shows 'SAMPLERATE' set to '0'. The top right shows 'LTCR 00:00:00:00'. The bottom of the screen features a row of function keys: F1 (SYSTEM: 1000\_591), F2 (TAPE: \*\*\*\*\*), F3 (REF: HD\_FREE), F4 (VIN: DIG), F5 (A/V PHASE: UNITY), F6 (JOG PROC: ON), F7 (VAR PROC: ON), F8 (PB FADE: ON), F9 (PB OUT: INSTANT), F10 (PEAK HOLD: ON), F11 (SCALE: FULL), F12 (STATE), F13 (STILL). On the right side of the screen, there are additional function keys: F9 (EXIT), F10 (DATA ADV: BFR), F11 (STYLE: PCM), F12 (STATE), and F13 (an empty button).

# AUDIO OUT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	A/V PHASE* オーディオとビデオの遅延（位相）調整	本機から出力されるデジタル信号を外部の機器で処理をするとき、ビデオとオーディオ信号間に位相差を生じる場合があります。デジタルオーディオ信号を遅延調整し、この差をなくすことができます。 ・「ビデオに対するオーディオ出力調整」を参照。
F2	JOG PROC デジタルプロセス ON/OFF	JOG 時のデジタル処理を選択します。 ON : PCM オーディオのデジタル処理を行います。 OFF : PCM オーディオのデジタル処理を行いません。
F3	VAR PROC デジタルプロセス ON/OFF	VAR 時のデジタル処理を選択します。 ON : PCM オーディオのデジタル処理を行います。 OFF : PCM オーディオのデジタル処理を行いません。
F4	PB FADE 再生フェード ON/OFF	再生時、カット編集のつなぎ目で発生する音声ノイズを、瞬間的に V フェードして取り除く機能です。 ON : テープ上の全てのカット編集のつなぎ目で、再生 V フェード機能が働きます。 OFF : 再生 V フェード機能は動作しません。
F5	PB OUT 再生スタート時の出力音声特性	STOP 状態から PLAY 状態に移行したとき、音声信号が出力されるまで多少時間がかかります。この時間を短くすることができます。 INSTANT : 音声出力されるまでの時間が短くなります。しかし出力される音声の最初の部分は不完全な音になります。 送信用に使用することはおすすめできません。 サーチ操作などのときに使用すると音声の確認が素早くできて便利です。 DELAYED : 完全な状態になってから音声を出力します。
F6	PEAK HOLD レベルメータのピークホールドの設定	記録および再生レベルのピーク値をホールドする機能です。 ON : ピーク値をホールドします。 OFF : ピーク値をホールドしません。
F7	SCALE レベルメータのスケール（目盛り）切り替え	画面上のオーディオレベル表示メータのスケール（目盛り）を標準目盛りと微調整目盛りに切り替えます。 FINE : 0.2dB ごとのスケールになります。（ - 24dB ~ - 15dB の範囲） FULL : 標準目盛りになります。（ - dB ~ 0dB の範囲） AUDIO IN SET UP メニューの「レベルメータスケールの切り替え」（54 ページ）を参照してください。
F8	EXIT	AUDIO OUT メニューに戻ります。
F9	DATA ADV*	0 ~ 1Fr（0.1 フレーム刻み）デジタルオーディオの入出力形式がデータモードの時のアドバンス量を調整します。（0 設定時は VTR 内部の DEFAULT に合わせます。）

\* E-E スル - モード（AUDIO OUT SET UP STATE メニューの F2 説明参照）設定時は、この機能は動作しません。

# AUDIO OUT SET UP メニュー

---

キー	項目	機能
F10	STYLE*	FキーとF10キーを同時に押すと設定可能です。 PCM：通常のPCMオーディオ設定です。 DATA：データモード（圧縮オーディオ：Dolby-E）設定です。
F11		
F12	STATE	AUDIO OUT SET UP STATEメニューに移行します。（66ページ参照）
F13		

\* 1080/59.94i\_4chおよび720/59.94p\_4chフォーマット時だけDATAモードが動作します。  
本メニューはAUDIO IN SET UPメニューでも設定可能です。どちらかのメニューで設定を変更した場合、両方のメニューとも変更されます。なお、各チャンネルごとの設定はできません。

# AUDIO OUT SET UP メニュー

## ビデオに対するオーディオ出力調整

(1) F1 (A/V PHASE) キーを押して、表示を反転させます。

AV PHASE  
UNITY

(2) ADJUST VR で位相差を調整します。  
ADJUST VR を回すと表示が VAR に変わります。  
(サンプル単位で +16 ~ -96 まで可変可能。)

ADJUST

+4 SAMPLES

AV PHASE  
VAR

(3) 調整がおわると、F1 (A/V PHASE) キーを押します。

- 調整中に UNITY/VAR キーを押すと UNITY に戻ります。  
再度 UNITY/VAR キーを押すと、VAR 値に戻ります。

UNITY  
/VAR

## フェード機能

編集時、カット編集のデータが自動的に記録され、再生時にそのデータを感知し、その部分を V フェードします。

再生 V フェード機能 OFF



編集のつなぎ目でノイズが出ます。

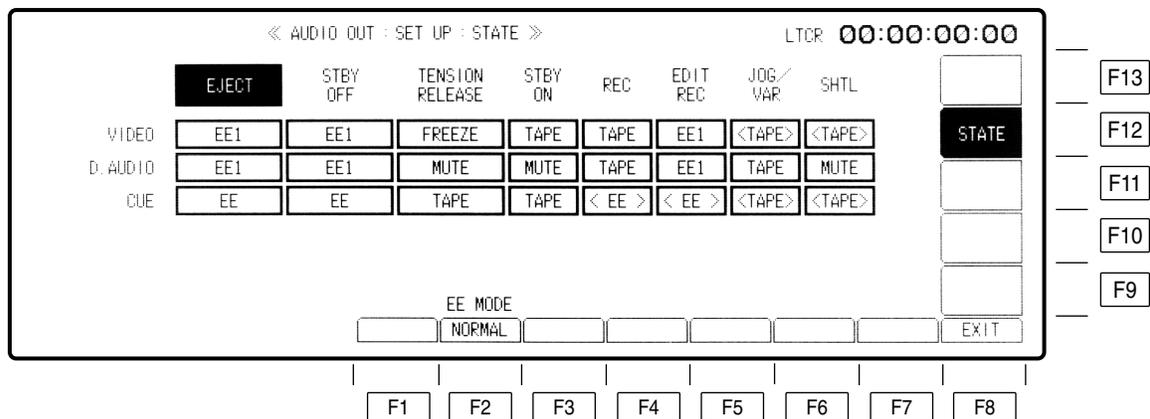
再生 V フェード機能 ON



瞬間的に V フェードしてノイズを消します。

# AUDIO OUT SET UP STATEメニュー

AUDIO OUT [F8] [F12] キーを押すとメニューが出ます。



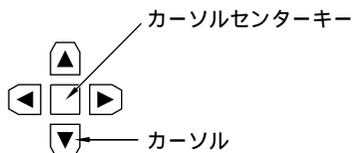
キー	項目	機能
F1		
F2	EE_MODE	NORMAL : 標準モード (E-E スル - モードを OFF) になります。 THROUGH : E-E スル - モード (AV の最小遅延モード) になります。 * E-E スル - モードでは映像 (音声) 出力とタイムコード出力にずれが生じます。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	AUDIO OUT SET UP メニューに移行します。
F9 ~ F13		

# AUDIO OUT SET UP STATE メニュー

## TAPE/EE 出力信号の選択

VTRの動作時に出力されるビデオ、オーディオ、キュー信号をTAPEまたはEE信号に切り替えます。

(1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示します。



(2) カーソルキーでカーソルを任意の位置に移動します。

- ・カーソルは設定できない部分には移動しません。

	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	EE1	EE1	FREEZE	TAPE	TAPE	EE1	<TAPE>	<TAPE>
D.AUDIO	EE1	EE1	MUTE	MUTE	TAPE	EE1	TAPE	MUTE
CUE	EE	EE	TAPE	TAPE	<EE>	<EE>	<TAPE>	<TAPE>

(3) カーソルセンターキーを押して、TAPEまたはEEのどちらかを選びます。

選択の種類は次の表を参照してください。

モード CH	EJECT	STBY OFF	TENSION RELEASE	STBY ON	REC	EDIT REC	JOG/ VAR	SHTL
VIDEO	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	FREEZE BLACK GRAY FREE NOISE <u>EE1</u> EE2	<u>FREEZE</u> BLACK GRAY FREE NOISE EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> <u>EE1</u>	TAPE	TAPE
D.AUDIO	MUTE <u>EE1</u> EE2	MUTE <u>EE1</u> EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>MUTE</u> EE1 EE2	<u>TAPE</u> EE1 EE2	TAPE <u>EE1</u>	<u>TAPE</u> MUTE	TAPE <u>MUTE</u>
CUE	TAPE <u>EE</u>	TAPE <u>EE</u>	<u>TAPE</u> EE	<u>TAPE</u> EE	EE	EE	TAPE	TAPE

(下線は工場出荷モードです。)

- ・上記の設定は、TESTメニューによるヘッド選択や編集時に一義的に定まる場合には、このメニューでの設定より、そちらの動作時の設定が優先されます。
- ・HOMEメニューのF1 (OUTPUT) でTAPE/EEを設定しているときは、HOMEメニューの方を優先します。

# AUDIO OUT SDI ASIGN メニュー

AUDIO OUT    F8    F12    キーを押すとメニューが出ます。

OUTPUT LEVEL    << AUDIO OUT : SDI ASIGN >>    LTCR 00:00:00:00

0  
-4  
-8  
-12  
-16  
-20  
-25  
-30  
-40  
-∞

HD    HD\_TO\_HD    HD  
SD    SD\_TO\_HD    SD

SDI\_TO\_SDI    CH1~4  
                  CH1~4

SDI\_TO\_HD    CH1~4  
                  CH1~4

HD\_TO\_SDI    CH1~4

CH1~4    CH5~8    CH1~4

CH1~4    CH5~8    CH1~4    CH1~4    OFF    EXIT

SYSTEM    TAPES    REF    WIN  
1080\_23PsF    \*\*\*\*\*    HD\_FREE    DIG

F1    F2    F3    F4    F5    F6    F7    F8

F13  
F12  
F11  
F10  
F9

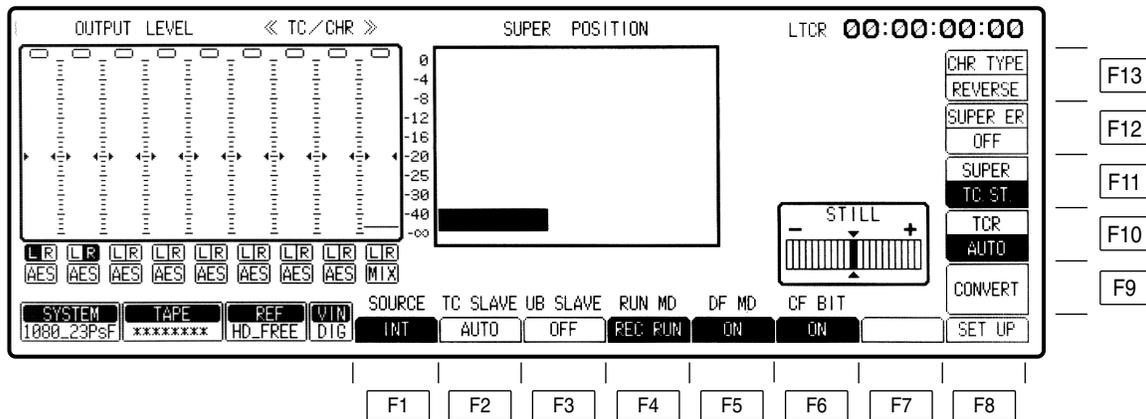
# AUDIO OUT SDI ASIGNメニュー

キー	項目	機能
F1	HD_TO_HD CH1 ~ 4	HD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4 に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 CH5 ~ 8 : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F2	HD_TO_HD CH5 ~ 8*	HD SDIのエンベデッドオーディオCH5 ~ 8 に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 CH5 ~ 8 : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F3		
F4	HD_TO_SD CH1 ~ 4	SD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4 に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 CH5 ~ 8 : CH5 からCH8 を出力します。 OFF : 出力しません。
F5 ~ F7		
F8	EXIT	AUDIO OUTメニューに戻ります。
F9	SD_TO_HD CH5 ~ 8*	HD SDIのエンベデッドオーディオCH5 ~ 8 に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 OFF : 出力しません。
F10	SD_TO_HD CH1 ~ 4	HD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4 に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 OFF : 出力しません。
F11 ~ F12		
F13	SD_TO_SD CH1 ~ 4	SD SDIのエンベデッドオーディオCH1 ~ 4 に出力するチャンネルを選択します。 CH1 ~ 4 : CH1 からCH4 を出力します。 OFF : 出力しません。

\* デジタル音声 が 4ch フォーマット時には表示されません。

# TC/CHR メニュー

TC/CHR キーを押すとメニューが出ます。



# TC/CHRメニュー

キー	項目	機能
F1	SOURCE 内部/外部タイム コード信号の選択	INT : 内蔵 TCG のタイムコードを使用します。 EXT LTC : TIME CODE IN 端子からの LTC タイムコードを使用します。 S LTC : シリアル信号に付加されている LTC タイムコードを使用します。(SD モード選択時は表示されません。) S VITC : シリアル信号に付加されている VITC タイムコードを使用します。(SD モード選択時は表示されません。) EXT VITC : VIDEO 信号に重畳されている VITC タイムコードを使用します。(HD モード選択時は表示されません。)
F2	TC SLAVE タイムコードの スレーブロック モードの設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ F1 (SOURCE) キーが「INT」のとき、AUTO と PRESET、SLAVE の表示が出ます。 AUTO : ジェネレータはリーダーの読み取った値にロックします。この場合、タイムコードの設定は行えません。(編集時のみ)ただしノーマル記録時にはジェネレータの設定は自由に行えます。 PRESET : ジェネレータはリーダーの読み取り値にロックしません。ジェネレータの設定が自由に行えます。 SLAVE : ジェネレータはリーダーの読み取った値にロックします。この場合、タイムコードの設定は行えません。</li> <li>-----</li> <li>・ F1 キーが「EXT LTC」のとき、SLAVE と DIRECT の表示が出ます。 SLAVE : ジェネレータは外部 LTC タイムコードにロックします。(外部入力がないとき、E-TC の時間データが点滅します。) DIRECT : 外部 LTC タイムコードをそのまま記録します。(外部入力がないとき、E-TC : * * : * * : * * : * * 表示になります。)</li> <li>-----</li> <li>・ F1 キーが「S VITC」、「S LTC」または「EXT VITC」のとき、このキーは表示されません。 この場合、ジェネレータ値は常に外部 VITC または LTC タイムコードにロックします。</li> </ul>
F3	UB SLAVE ユーザービットの ロック	ON : ユーザービットはリーダー (TCR) の読み取ったユーザービット値や外部のユーザービット値にロックし、設定できません。 OFF : ジェネレータはリーダーの読み取り値にロックしません。ユーザービット値は自由に設定できます。
F4	RUN MD タイムコードの歩進	REC RUN : 記録時のみタイムコードを歩進させます。 FREE RUN : 時計と同じように、常に歩進させます。
F5	DF MD* ドロップ・ ノンドロップ フレームの選択	F1 (SOURCE) キーが「INT」を選択している時のみ有効です。 ON : ドロップフレームモードになります。 OFF : ノンドロップフレームモードになります。 ・ F1 キーが「EXT LTC」、「S VITC」または「S LTC」を選択しているときは、外部タイムコードのドロップ/ノンドロップフレームモードに従います。

\* 1080/23p、1080/24p および 1080/50i システムフォーマット時は表示されません。

# TC/CHRメニュー

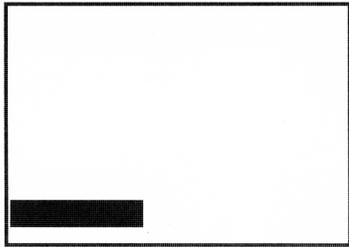
キー	項目	機能
F6	CF BIT* <sup>1</sup> 記録時のカラー フレームビットの ON/OFF設定	ON : 記録時にCF BITを記録します。 OFF : 記録時にCF BITを記録しません。 ・F1キーが「EXT LTC」、「S VITC」または「S LTC」を選択しているときは、 外部のカラーフレームビットに従います。
F7		
F8	SET UP	TC/CHR SET UPメニューに移行します。
F9	CONVERT* <sup>2</sup>	TC/CHR CONVERTメニューに移行します。
F10	TCR タイムコードの読み 取りモード選択	LTC : 常にLTCを読みます。 AUTO : 低速時はVITCを優先的に読み、読めないときはLTCを読みます。 VITC : 常にVITCを読みます。 ・いずれの設定にしても、タイムコードが読み取れない場合は、コントロール信号で補正した値を読み取ります。(補間モードになり、HOMEメニューに「INTRP」が表示されます。)
F11	SUPER スーパーインポーズ の設定	TC : タイムコードのみスーパーインポーズします。 TC・ST : タイムコードとVTR動作モードをスーパーインポーズします。 TC・UB : タイムコードとユーザーズビットをスーパーインポーズします。 TC・ST・RT : タイムコードとVTR動作モードとテープ残量時間をスーパーインポーズします。 OFF : スーパーインポーズしません。
F12	SUPER ER	ON : ワーニング表示を画面にスーパーインポーズします。 OFF : ワーニング表示をスーパーインポーズしません。
F13	CHR TYPE スーパーインポーズす る文字のタイプを選択	REVERSE : 黒抜きの背景がある文字になります。 INTENSE : 強調文字になります。

\*<sup>1</sup> 480/59.94i 選択時のみ表示します。

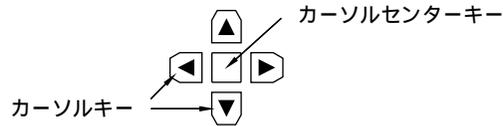
\*<sup>2</sup> 1080/23p、1080/24pおよび1080/50iシステムフォーマット時のみ表示されます。

# TC/CHRメニュー

## スーパーインポーズ位置の変更



(1) カーソルキーで位置を移動させます。



- ・カーソルキーを押し続けるとカーソルは速く移動します。
- ・カーソルセンターキーを押すと、初期の位置に戻ります。

## タイムコードの表示とVTRの動作モード

希望に応じて、タイムコードとVTRの動作モードを表示します。

### タイムコードの表示

CTL1 : コントロール信号 1	TCG : タイムコードジェネレータの発生値
CTL2 : コントロール信号 2	LUBG : LTCユーザービットの発生値
LTCR : LTCタイムコードの読み取り値	VUBG : VITCユーザービットの発生値
LUBR : LTCユーザービットの読み取り値	EXTC : 外部タイムコード値
VTOR : VITCタイムコードの読み取り値	EXUB : 外部ユーザービット値
VUBR : VITCユーザービットの読み取り値	

・「秒」と「フレーム」の間の「:」はタイムコードリーダーの読み取り状態を示します。

### 時 分 秒 フレーム

: : : . 点滅表示 : タイムコード読み取り不可能  
| | | |  
「 」 : 第1フィールド  
「 . 」 : 第2フィールド  
| | | |  
「 : 」 : タイムコード読み取り可能またはTCG値表示  
「 . 」 : タイムコード読み取り不可能  
| | | |  
「 . 」 : DFモードON  
「 : 」 : DFモードOFF

# TC/CHRメニュー

## タイムコードの表示とVTRの動作モード(つづき)

### VTRの動作モード

STOP	F.FWD
PREVIEW	REW
REVIEW	EDIT PLAY (編集再生)
PREROLL	EDIT REC (編集録画)
AUTO EDIT (自動編集)	CUE UP
JOG	STANDBY OFF
VAR	EJECT
SHTL	DMC PREVIEW
REC	DMC EDIT
REC (Pre-CTL 動作時点減表示)	OUT PREVIEW
PLAY	DMC SAMPLE(バリエابلメモリスピードサンプリング中)
P PLAY (プログラム再生)	DMC PLAY (バリエابلメモリー再生中)
TSO (TAPE SPEED OVERRIDE)	AUTO OFF

- ・シャトル/バリエابلモードおよびCUE UP、PREROLLモード時は、走行方向を「+」または「-」で表示し、速度を整数表示します。
- ・ジョグモードは正方向時は「<」、停止時は「\*」、逆方向は「>」を表示します。
- ・プログラム再生、TSOモード時は、偏差方向「+」または「-」で表示し、偏差データをパーセントで表示します。

## エラー情報の表示

F12 (SUPER ER) キーを押して「ON」にします。  
エラー情報を表示します。

FAN STOP (ファン停止)	HD REF ERROR (HD リファレンス信号 無入力)
ERASE ERROR (消去電流停止)	SD REF ERROR (SD リファレンス信号 無入力)
COMP.CPU ERROR (CPU間通信エラー)	HD SDI ERROR (HD SDI信号エラー)
CONCEAL SW OFF (コンシールSWがOFF)	SD SDI ERROR (SD SDI信号エラー)
ECC SW OFF (ECC SWがOFF)	FREQ UNMATCH (周波数設定が整合していない)
SERVO UNLOCK (サーボロックせず)	VIDEO ERROR (ビデオ系エラー)
CTL NOT DET. (CTL検出できず)	PCM ERROR (PCM信号系エラー)
LOW RF (記録時のRFレベル低下)	RS-422 ERROR (RS-422系エラー)
CONCEAL V/A (ビデオ・オーディオエラー修正)	RS-232C ERROR (RS-232C系エラー)
CONCEAL A (オーディオエラー修正)	VA-CONT ERROR (VAコントローラエラー)
CONCEAL V (ビデオエラー修正)	TC ERROR (タイムコードエラー発生)
AUDIO MUTE (AUDIO出力MUTE状態)	CARD LOW BATT(フロントのICカードバッテリー減少)
HIGH ERROR (インナーエラー値が高い)	SYSCON ERROR(システムコントロール系エラー発生)
CTL HEAD CLOG (CTLヘッド目詰まり)	MECHA ERROR (メカ系にエラー発生)
LTC HEAD CLOG (LTCヘッド目詰まり)	SERVO ERROR(リール・ドラム・キャプスタンにエラー発生)
OPT ERROR (オプティマイズ系エラー)	SYSTEM ERROR (その他エラー)

# TC/CHRメニュー

ユーザービットの設定一覧表

F1 (SOURCE)	F2 (TC SLAVE)	F3 (UB SLAVE)	F10 (TCR)	LUBG モード	VUBG モード		
INT 内部 TC	_____	ON	LTC	REGEN	INT UB		
			AUTO		REGEN		
			VITC	INT UB			
		OFF	LTC	AUTO	PRESET	INT UB	
				VITC	PRESET		
				VITC	INT UB		
S LTC S VITC	_____	ON	LTC	EXT REGEN	INT UB		
			AUTO		EXT REGEN		
			VITC	INT UB			
		EXT LTC	SLAVE	OFF	LTC	PRESET	INT UB
					AUTO		PRESET
					VITC	INT UB	
EXT LTC	DIRECT	ON	LTC	DIRECT	INT UB		
			AUTO		EXT REGEN		
			VITC		INT UB		
		OFF	LTC		INT UB		
			AUTO		PRESET *		
			VITC		PRESET *		

\* REC モード以外は UB の設定が可能です。

DIRECT : 外部の LTC 信号入力を直接記録、出力します。  
内部基準信号には同期しません。

REGEN : テープ上の読み取り値にスレーブロックします。  
UB の設定はできません。

EXT REGEN : 外部入力の VITC、LTC にスレーブロックします。  
UB の設定はできません。

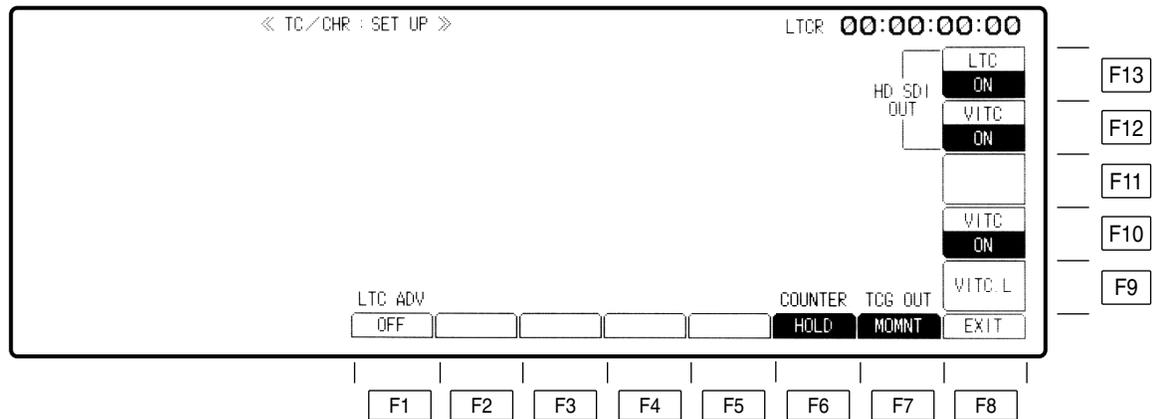
PRESET : テープの読み取り値や外部入力にはロックしません。  
UB の設定ができます。

INT UB : 前の UB 値を保有し、リジネもプリセットもできないモードです。再設定する時には上の 3 つのモードのどれかになるよう F1 ( SOURCE )、F2 ( TC SLAVE )、F3 ( UB SLAVE ) キーで選択してください。

# TC/CHR SET UP メニュー

TC/CHR F8 キーを押すとメニューが出ます。

SET UP F5 キーを押すとメニューが出ます。



# TC/CHR SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	LTC ADV*1 LTC OUT 出力 位相の設定 (ADV させるモード を選択)	<p>記録および編集モード時の TC (LTC) 出力位相を調整します。(テープに記録する位相は変わりません。また HD/SD 信号上に重畳されている VITC/LTC の位相には影響を与えません。)</p> <p>入力映像信号に対し、出力映像信号は数フレームの時間遅延が発生します。本機は TC 出力をどちらの位相にも合わせることができ、本メニューで入力位相に合わせるモードを選択します。このため、タイムコード出力位相を入力(記録)信号(ADV)に合わせるか、もしくは映像出力(OFF)に合わせるかを選択します。</p> <p>EDIT_REC : ノーマル記録時、または編集モード(インサート、アセンブル)選択時タイムコードの出力位相を入力(記録)信号に合わせます。同一入力映像信号を同一タイムコードで、もう一台の VTR に記録する時に使用します。タイムコード出力を別の VTR のタイムコード入力に接続します。</p> <p>REC : タイムコード出力位相を記録モード時の入力(記録)信号に合わせます。編集モード時は映像出力位相に合わせます。</p> <p>EDIT : タイムコード出力位相を編集モード時の入力(記録)信号に合わせます。記録モード時は映像出力位相に合わせます。</p> <p>OFF : タイムコード出力位相を映像出力位相に合わせます。本機出力の映像およびタイムコード(LTC)を別の VTR で記録する時などに使用できます。</p>
F2 ~ F5		
F6	COUNTER*2	<p>テープの無記録部分で TC 表示を補間して歩進させるかどうかを選択します。</p> <p>FREE : 無記録部分でも歩進させます。</p> <p>HOLD : 無記録部分での歩進は行いません。</p>
F7	TCG OUT	<p>INPUT CHECK キー *3 で TCG 表示と LTC 出力をラッチするかどうかを選択します。</p> <p>MOMNT : キーを押している間のみ INPUT CHECK モードになります。</p> <p>LATCH : INPUT CHECK キーを押すと INPUT CHECK モードとなり、キ - を離してもモードは保持されます。EJECT、STBY ON/OFF、STOP モード以外、または HOME メニューの F1 (OUTPUT) を押すと解除されます。</p>
F8	EXIT	TC/CHR メニューに戻ります。

\*1 現在は動作しません。(メニューは変わりますが、動作は「EDIT\_REC」固定になっています。)

\*2 現在は動作しません。

\*3 映像信号は SD SDI MONITOR OUT または HD SDI MONITOR OUT 端子で、音声信号は MONITOR 端子と HEADPHONES 端子で入力信号をチェックでき、INPUT CHECK キーを押している間入力信号に切り替わります。

< ノート : LTC\_ADV 機能について >

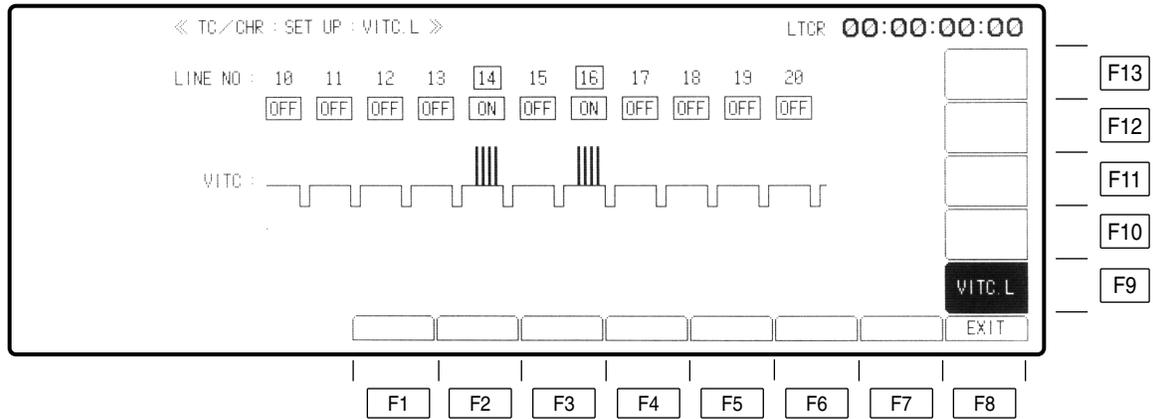
LTC ADV モード	LTC_OUT と VIDEO_OUT の位相	
	REC モード	編集モード
OFF	同位相	同位相
REC	ADV	同位相
EDIT	同位相	ADV
EDIT_REC	ADV	ADV

# TC/CHR SET UP メニュー

キー	項目	機能
F9	VITC.L	VITC LINE 選択メニューに移行します。 SD モード：記録 VITC の重畳およびラインを設定 します。再生 VITC の重畳およびライ ンを設定します。 HD モード：DOWN_CON_SD 出力の VITC 重畳およびラインを設定し ます。
		NTSC : 10 ~ 20 ライン (Default 14、16) PAL : 8 ~ 22 ライン (Default 11、13)
F10	VITC SD 記録および出力 への VITC の重畳	SD 記録および出力に VITC 情報を重畳するかしないかを選択します。 ON : VITC を重畳します。 OFF : VITC は重畳しません。
F11		
F12	VITC VITC の選択	HD SDI 出力に VITC 情報を重畳するかしないかを選択します。 ON : VITC を重畳します。 OFF : VITC は重畳しません。
F13	LTC LTC の選択	HD SDI 出力に LTC 情報を重畳するかしないかを選択します。 ON : LTC を重畳します。 OFF : LTC は重畳しません。

# TC/CHR SET UP VITC.Lメニュー

- TC/CHR [F8] [F9] キーを押すとメニューが出ます。  
 SET UP [F5] [F9] キーを押すとメニューが出ます。

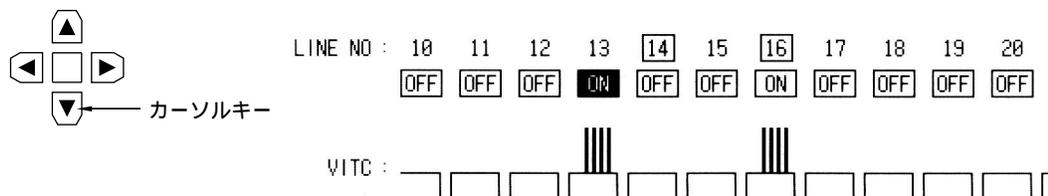


キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	TC/CHRメニューに戻ります。
F9	VITC.L	SDモード：記録 VITC の重畳およびラインを設定します。 再生 VITC の重畳およびラインを設定します。 HDモード：DOWN_CON_SD 出力の VITC 重畳およびラインを設定します。
F10 ~ F13		

# TC/CHR SET UP VITC.Lメニュー

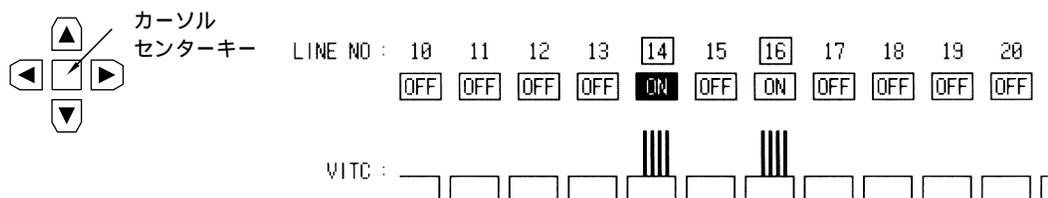
## VITC 挿入ラインの選択

1. カーソルキー (◀、▶) で挿入する VITC のラインを選択します。



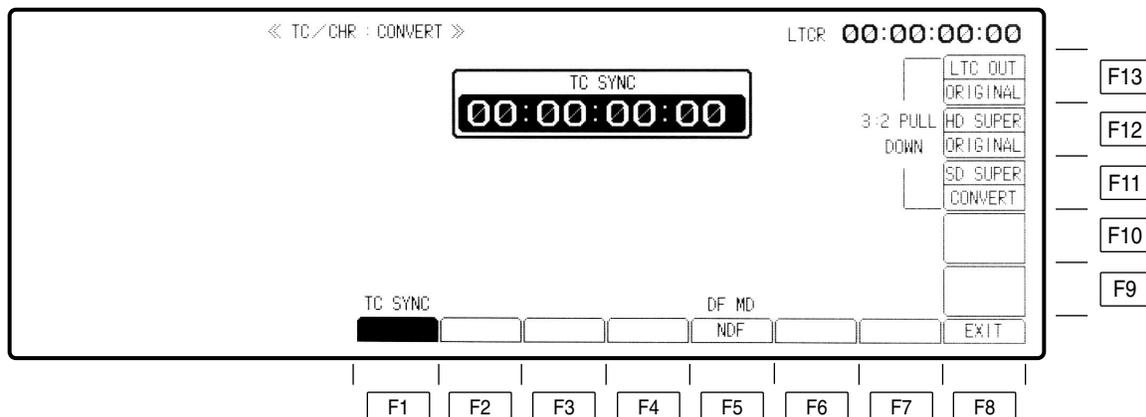
スクリーン上で囲んであるライン番号は推奨挿入ラインの値を表示しています。  
(NTSC では 14 と 16 ライン、PAL は 11 と 13 ラインです。)

2. 他の挿入ラインを選択するときは、カーソルセンターキーを押します。(選択できるライン数は最大 2 ラインです。)



# TC/CHR CONVERT メニュー

TC/CHR [F9] キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	TC SYNC* <sup>1</sup> フォーマット変換時のTC値合わせ	タイムコードを変換する時、TC値を合わせる点を選択します。 キーを押すとウィンドウが開きTC値を入力することができます。
F2 ~ F5		
F6	DF MD* <sup>2</sup>	1080/23p、1080/24pからの3:2プルダウン出力に対して、TC変換して出力するドロップフレームを選択します。 DF: ドロップフレームになります。 NDF: ノンドロップフレームになります。
F7		
F8	EXIT	TC/CHRメニューに戻ります。
F9 ~ F10		
F11	SD SUPER* <sup>2</sup>	CONVERT: 30フレームでカウントアップします。 ORIGINAL: 24フレームでカウントアップします。
F12	HD SUPER* <sup>2</sup>	CONVERT: 30フレームでカウントアップします。 ORIGINAL: 24フレームでカウントアップします。
F13	LTC OUT* <sup>2</sup>	CONVERT: 30フレームでカウントアップします。 ORIGINAL: 24フレームでカウントアップします。

\*<sup>1</sup> 1080/23p、1080/24pシステムフォーマット設定時で、F11、F12、F13キーのいずれかがCONVERT時のみ設定可能となります。

\*<sup>2</sup> 1080/23p、1080/24pシステムフォーマット時のみ表示されます。



# MULTI CUE メニュー

---

キー	項目	機能
F1	1 キュー番号の指定	1 のキュー番号の指定。
F2	2 キュー番号の指定	2 のキュー番号の指定。
F3	3 キュー番号の指定	3 のキュー番号の指定。
F4	4 キュー番号の指定	4 のキュー番号の指定。
F5	5 キュー番号の指定	5 のキュー番号の指定。
F6	PROTECT ページロック ON/OFF	F キーと同時に押すと、ON/OFF が切り替わります。 ON : そのページのキュー点の登録、変更、削除は行えません。 OFF : そのページのキュー点の登録、変更、削除が可能になります。
F7		
F8	SET UP	MULTI CUE SET UP メニューへ移行します。
F9	6 キュー番号の指定	6 のキュー番号の指定。
F10	7 キュー番号の指定	7 のキュー番号の指定。
F11	8 キュー番号の指定	8 のキュー番号の指定。
F12	9 キュー番号の指定	9 のキュー番号の指定。
F13	10 キュー番号の指定	10 のキュー番号の指定

---

# MULTI CUE メニュー

## ページの切り替え

- ・ Fキーと F1 (1) ~ F5 (5)、F9 (6) ~ F13 (10) キーを同時に押すと該当するページを選択できます。
  - ・ Fキーと ▶ キーを同時に押すと、ページアップ。
  - ・ Fキーと ◀ キーを同時に押すと、ページダウン。
- 1 ページ目でページダウンすると、10 ページ目が表示されます。  
10 ページ目でページアップすると、1 ページ目が表示されます。



## プロテクト

- Fキーと F6 (PROTECT) キーを同時に押すと、表示されているページのプロテクト状態が設定できます。
- 再度 Fキーと F6 キーを同時に押すとプロテクト状態は解除されます。
- プロテクト状態は番号が以下ようになります。



## キューの登録

キュー点は最大 100 個登録できます。

- (1) 登録するキュー番号を選択します。

F1 ~ F5、F9 ~ F13 キーの一つを押します。押された番号が反転します。

- (2) タイムコードを入力します。

入力の方法は 3 通りあります。

- 1) サーチダイヤルでキュー点を探し、ENTRY ボタンを押します。
- 2) 数字キーでダイレクトにタイムコードを入力し、ENT キーを押します。
- 3) カーソルを値の取り込む部分に移動させます。

1. FROM キーを押します。

スクラッチパッドレジスタにカーソル位置のタイムコードが取り込まれます。



2. +、-、数字キーで加減算します。



3. ENT キーを押します。

演算結果を表示します。



# MULTI CUE メニュー

4. 取り込んだタイムコードを表示させる部分にカーソルを移動させます。



5. COPY キーを押して、取り込まれたタイムコードを呼び出します。



キューデータが確定します。

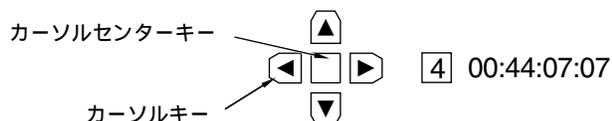
- ・MULTI CUE SET UP メニューの F1 (AUTO STEP) キーを「ON」にしているときは、自動的に次のキュー番号位置が反転します。
- ・登録したキュー点は電源を切ってもメモリーされています。

## キュー点の変更

既に登録されているキュー点を変更するには、以下の操作を行います。

(1) 登録するキュー (F1 ~ F5、F9 ~ F13) を押します。

(2) カーソルキーを押して、変更するキューのタイムコードに桁カーソルを移動させます。



(3) カーソルセンターキーを押してカーソルを桁カーソルにした後、数字キーで値を入力します。



(4) ENT キーを押します。



## キューデータのクリア

既に登録されているキュー点をクリアするには、以下の操作を行います。

(1) クリアするキュー (F1 ~ F5、F9 ~ F13) を押します。

(2) C キーを押します。

(3) ENT キーを押します。

## 全キューの削除

F8 (SET UP) キーを押して SET UP メニューの F3 (PAG CLR) と F キーを同時に押します。ページ内のキューがすべて削除されます。また F5 (ALL CLR) と F キーを同時に押すと、全ページのキューが削除されます。(ただし、プロテクト状態のページのキューは削除できません。)

# MULTI CUE SET UPメニュー

MULTI  
CUE

F8 キーを押すとメニューが出ます。

OUTPUT LEVEL    << MULTI CUE : SET UP >>    LTCR 00:00:00:00

0  
-4  
-8  
-12  
-16  
-20  
-25  
-30  
-40  
-∞

LR LR LR LR LR LR LR LR LR  
AES AES AES AES AES AES AES AES MIX

SYSTEM TAPE REF WIN AUTO STEP PAG MODE PAG CLR ALL CLR  
1080\_23PsF \*\*\*\*\* HD\_FREE DIG OFF OFF

CUE ROLL  
5 SEC

AUTO FRZ  
OFF

MAX SP.  
-1<+2

CLUTCH  
OFF

STILL

EXIT

F13  
F12  
F11  
F10  
F9

F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8

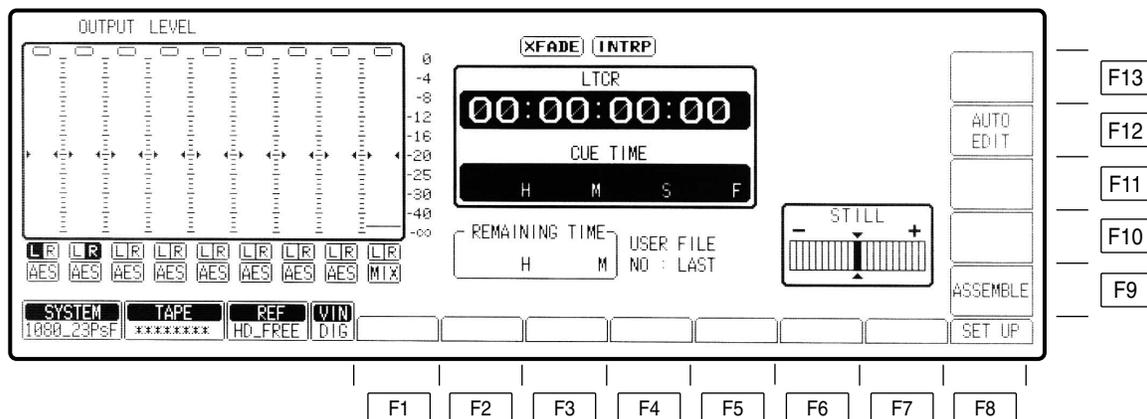
# MULTI CUE SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	AUTO STEP オートステップモード ON/OFF	ON : キュー点が登録されると、自動的に次の項目へカーソルが移動します。 OFF : カーソルは移動しません。 ・下記のF2 (PAG MODE) が「ON」の場合、カーソルの移動はページ内のみで行われます。 例えば、キュー番号 10 のキュー点登録が完了すると、同一ページのキュー番号 1 のタイムコード入力箇所へカーソルが移動します。 ・下記のF2 (PAG MODE) が「OFF」の場合、カーソルの移動はページ間にわたって行われます。 例えば、キュー番号 10 のキュー点登録が完了すると、次ページのキュー番号 1 のタイムコード入力箇所へカーソルが移動します。
F2	PAG MODE カーソルの移動モードの設定	ON : カーソルの移動はページ内のみ限定されます。 OFF : カーソルはページ間にわたって移動可能です。
F3	PAG CLR ページ内キュー データのクリア	F キーと同時に押すと、ページ内のキューの登録データは全てクリアされます。 ・プロテクトがかかっているページはクリアできません。
F4		
F5	ALL CLR 全キューデータのクリア	F キーと同時に押すと、全キューデータはクリアされます。 ・プロテクトがかかっているページはクリアできません。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	MULTI CUE メニューへ戻ります。
F9	CLUTCH バリアブルモードでのダイヤルクラッチのON/OFF	ON : - 1、0、+ 1、+ 2 倍速にダイヤルクラッチ設定。 OFF : クラッチ設定をしません。
F10	MAX SP. バリアブルモードの テープ最高速度選択	- 1 + 2 : - 1 ~ + 2 の範囲のテープ速度。 - 1 + 1 : - 1 ~ + 1 の範囲のテープ速度。 0 + 1 : 0 ~ + 1 の範囲のテープ速度。
F11	AUTO FRZ* オートフリーズ	ON : バリアブルモード時、EXECUTE ボタンを押すとフリーズ画を出力します。(テープ走行は継続しています。) STOP、PLAY、FF、REW、JOG、VAR、SHTL ボタンを押すと、フリーズ画は解除されます。 OFF : フリーズ画を再生しません。
F12		
F13	CUE ROLL プリロール時間の選択	プリロール時間を設定します。 1sec 単位で 0 ~ 30sec までプリロール時間を選択できます。

\* MULTI CUE メニュー画面で有効になります。

# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDITメニュー

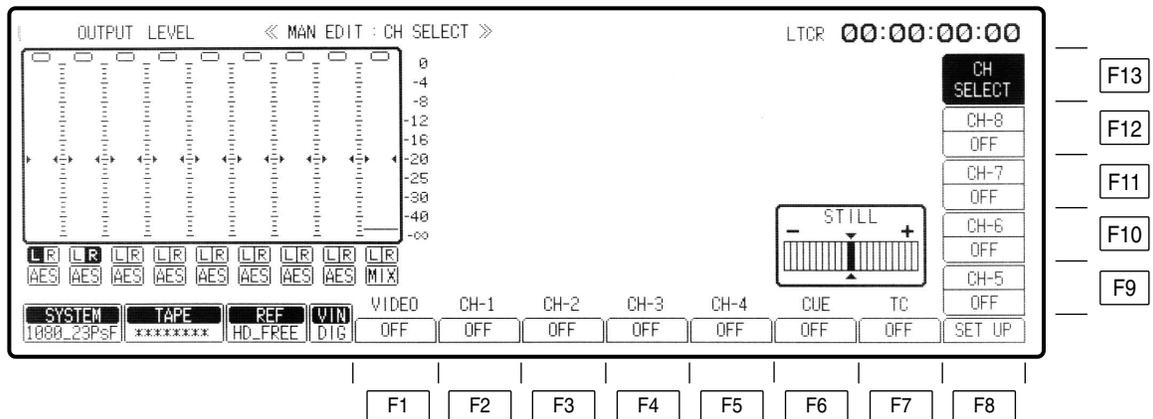
ASSEM (または INSERT) F12 キーを押して「MANUAL EDIT」メニューにします。



キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	SET UP	MANUAL EDIT SET UP メニューに移行します。
F9	INSERT/ASSEMBLE 編集モードの ON/OFF	編集モードを選択します。 ON : 編集モードを ON にします。 OFF : 編集モードを OFF にします。
F10 ~ F11		
F12	AUTO EDIT	AUTO EDIT メニューに移行します。
F13	CH SELECT 編集チャンネルの選択	INSERT MANUAL EDIT CH SELECT (編集チャンネル選択) メニュー に移行します。(インサート編集のみ)

# INSERT MANUAL EDIT CH SELECT メニュー

INSERT F12 F13 キーを押すとメニューが出ます。



\* PCM オーディオが 4ch のフォーマット選択時は、CH-5 ~ CH-8 は表示されません。

# INSERT MANUAL EDIT CH SELECTメニュー

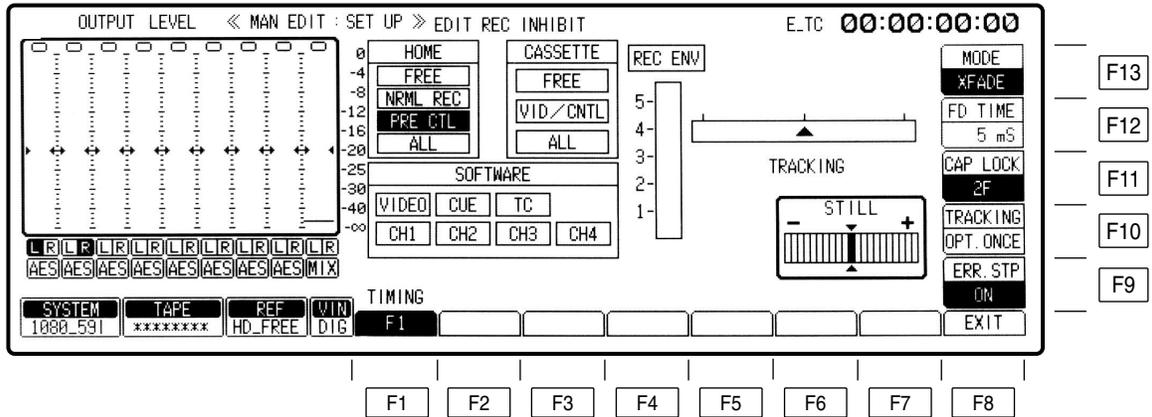
キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオチャンネルの ON/OFF	
F2	CH-1 オーディオチャンネル CH1 の ON/OFF	
F3	CH-2 オーディオチャンネル CH2 の ON/OFF	編集チャンネルの選択 インサート編集時のみ有効です。
F4	CH-3 オーディオチャンネル CH3 の ON/OFF	ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F5	CH-4 オーディオチャンネル CH4 の ON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。 入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F6	CUE アナログキューチャ ンネルの ON/OFF	
F7	TC LTC タイムコード チャンネルの ON/OFF	
F8	SET UP	MANUAL EDIT SET UP メニューに移行します。
F9	CH-5 オーディオチャンネル CH5 の ON/OFF	編集チャンネルの選択
F10	CH-6 オーディオチャンネル CH6 の ON/OFF	インサート編集時のみ有効です。 ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F11	CH-7 オーディオチャンネル CH7 の ON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。
F12	CH-8 オーディオチャンネル CH8 の ON/OFF	入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F13	CH SELECT	INSERT MANUAL EDIT メニューに移行します。

# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

**ASSEM** (または **INSERT**) **F12** キーを押して「MANUAL EDIT」メニューにし、**F8** キーを押すとメニューが出ます。

または

**SET UP** **F2** キーを押すとメニューが出ます。



# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	TIMING* 編集タイミングの設定	<p>編集IN点およびOUT点での記録フィールドのタイミングを設定します。 FキーとF1キーを同時に押すと設定できます。</p> <p>F1： IN点の奇数フィールドから編集を開始し、OUT点1フレーム前の偶数フィールドを記録して編集を終了します。</p> <p>F2： IN点の偶数フィールドから編集を開始し、OUT点の奇数フィールドを記録して編集を終了します。</p> <p>F1/F2： 編集IN点およびOUT点のフィールドは編集コマンドの出るタイミングによって決定されます。 編集タイミングが偶数フィールドで出れば、奇数フィールドで終了し、奇数フィールドで出れば、偶数フィールドで終了します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・編集タイミングの設定はAUTO EDIT SET UPメニューでも行えます。AUTO EDIT SET UPメニューで異なるモードを設定した場合、このメニューで設定したモードも変更されます。</li><li>・CONTROL (REMOTE/LOCAL) スイッチをLOCAL側に設定している時は強制的にF1の設定になります。</li></ul>
F2 ~ F7		
F8	EXIT	MANUAL EDITメニューに戻ります。
F9	ERR. STP エラーストップ	<p>オブティマイズが完了した時のREC ENVに対して編集開始(5フレーム前)のENV値が25%ダウンするとエラーと判断し、以下の動作が選択できます。</p> <p>ON： オブティマイズモードで編集を実行中、IN点までにエラーが発生した場合、編集を中止し、停止モードになります。</p> <p>OFF： エラーメッセージだけを表示し、編集は続きます。</p>
F10	TRACKING トラッキング調整	<p>通常時のトラッキング調整は不必要。編集時にトラッキングずれが起こった場合に調整します。</p> <p>VAR： 手動でトラッキングを調整します。 「トラッキングの手動調整」(97ページ)を参照。</p> <p>FIX： トラッキングを固定します。</p> <p>OPT ONCE： カセット挿入後、最初の編集で、IN点までのPLAY中に最適化を行います。それ以後は最適化は行いません。 またEDIT/PLAY中にPLAYボタンとSTAND BYボタンを同時に押すと再度最適化を行い、EDIT/PLAYのたびに最適化します。</p> <p>OPT AUTO： 編集のたびに毎回IN点までのPLAY中に最適化を行い、他のメニューに移っても保持されます。 「トラッキングの自動調整」を参照。</p>

\* 1080/23p、1080/24pフォーマット選択時は表示されません。(強制F1)

# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F11	CAP LOCK キャプスタンサーボ ロックの設定	再生時のキャプスタンサーボロックモードを選択します。 4F AUTO (8F AUTO : 1080/23p、1080/24p、1080/50i時) : カラーフレームオートロックモードになります。 再生中、カラーフレームに不連続が生じた場合、本機は再度新しいカラー フレームにロックします。 4F FORCE (8F FORCE : 1080/23p、1080/24p、1080/50i時) : カラーフレーム強制ロックモードになります。 再生中、カラーフレームに不連続が生じても、本機は最初にロックした フィールドの順序を保持します。 2F : フレームロックモードになります。 ・キャプスタンサーボロックモードはHOME SET UPメニューでも設定 できます。互いに異なった設定を行った場合、最後に設定したモードを 優先します。
F12	FD TIME* オーディオフエード 時間の設定	F13 キーが「X FADE」または「V FADE」のとき有効です。 設定できる時間は5、10、15、20、25、50、100ms。 (初期設定は5ms) 設定のしかたは「オーディオフエード時間の選択」(98ページ)を参照。
F13	MODE* オーディオフエード 編集の設定	オーディオの編集を、先行再生音声と入力音声をクロスフェード、または Vフェードさせながら編集することができます。 X FADE : オーディオクロスフェード編集が行えます。 CUT : カット編集(通常の編集)になります。 V FADE : オーディオのVフェード編集になります。

\* EDIT REC STATE がTAPE時は、CUTのみの選択になります。  
ただし、Fキーと同時に押すとFADEを選択できますが、この場合EDIT REC STATE設定がEE1に切り替わります。

# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

## EDIT REC INHIBIT モード表示

編集の禁止モードの状態を表示します。

HOME		CASSETTE	
FREE		FREE	
NRML REC		VID/CNTL	
PRE CTL		ALL	
ALL			
SOFTWARE			
VIDEO	CUE	TC	
CH1	CH2	CH3	CH4

- ・ SOFTWARE  
チャンネル別に選択された編集禁止モードを表示します。  
「SOFTWARE の禁止チャンネル選択」を参照。  
VIDEO : ビデオチャンネルの編集を禁止します。  
CH1 ~ CH8 : デジタルオーディオチャンネルの編集を禁止し  
(CH4) ます。  
CUE : キューチャンネルの編集を禁止します。  
TC : タイムコードチャンネルの編集を禁止します。
- ・ HOME  
HOME メニューの F13 (REC INH) キーで設定された記録禁止モードを表示します。  
FREE : 記録可能です。  
NRML REC : ノーマル記録モードが禁止されています。  
PRE\_CTL : ノーマル記録時において上書きを禁止します。  
ALL : すべての記録・編集動作は禁止されています。
- ・ CASSETTE  
カセットテープ側で設定された記録禁止モードを表示します。  
FREE : 記録可能です。  
VID/CNTL : ビデオ、コントロール信号が禁止されています。  
ALL : すべての記録・編集動作は禁止されています。

## 記録禁止モードの優先順位

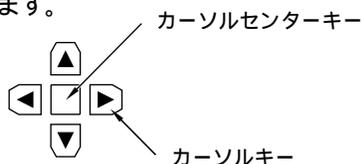
禁止モードには優先順位があり、選択によっては記録できないこともあります。例えば、CASSETTE の「ALL」を選択していると、他のどのような設定にもかかわらず、編集ならびに記録はできません。

- |       |          |
|-------|----------|
| 第 1 位 | CASSETTE |
| 第 2 位 | HOME     |
| 第 3 位 | SOFTWARE |

# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

## SOFTWARE の禁止チャンネル選択

- (1) カーソルセンターキーを押します。  
カーソルが表示されます。



- (2) カーソルキーを押して、編集を禁止し、チャンネルにカーソルを移動させます。

CH4

- (3) カーソルセンターキーを押します。  
表示が反転すれば、編集禁止チャンネルの選択は完了です。  
再度カーソルセンターキーを押すと編集禁止は解除されます。

**CH4**

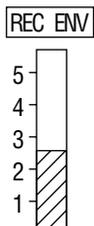
- ・一つでも編集禁止チャンネルがあると、アSEMBル編集を選択することはできません。

### ご注意

- ・CASSETTE EDIT REC INHIBIT または HOME REC INHIBIT のどちらかでも「ALL」または「PRE\_CTL」に設定されている場合は、すべての記録編集動作が禁止されます。
- ・CASSETTE EDIT REC INHIBIT が「VIDEO/CNTL」に設定されている場合は、VIDEO チャンネルは常に編集禁止になります。

## REC ENV 表示

再生時に回転記録ヘッドから再生される RF エンベロープレベルを表示します。



# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

## トラッキング

- ・トラッキングの自動調整 (オプティマイズ)

トラッキングを自動で最適化するには

F10 (TRACKING) キーを押して「OPT ONCE」または「OPT AUTO」を選択します。

プリロール時間は 5 秒以上に設定してください。

- ・「OPT ONCE」は、カセット挿入後、最初の編集で IN 点までの PLAY 中に 1 回だけ最適化を行います。それ以後は最適化を行わず、値は固定されます。
- ・「OPT AUTO」は、編集のたびに IN 点までの PLAY 中に最適化を行います。

ご注意

- ・「OPT ONCE」は下記のような連続編集をされる場合に適しています。(このような編集の時に、「OPT AUTO」を設定されると、トラッキング誤差が蓄積される可能性があります。)

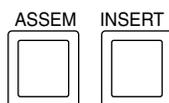
ベース	編集 ①	編集 ②	編集 ③	ベース
-----	------	------	------	-----

- ・「OPT AUTO」は下記のような間欠編集をされる場合に適しています。

ベース	編集 ①	ベース	編集 ②	ベース
-----	------	-----	------	-----

- ・「OPT ONCE」で再度、最適化を行う場合は以下の手順で行ってください。

- (1) INSERT または ASSEMBLE ボタンを押して、F9 キーをハイライトにし、編集モードにします。  
INSERT または ASSEMBLE の LED が点灯していることを確認してください。



- (2) PLAY ボタンを押して PLAY モード (EDIT PLAY) にします。

- (3) 「PLAY」 + 「STAND BY」を同時に押すと、オプティマイズを実行します。

ご注意

- (1) オプティマイズ化されたトラッキング値は、他のメニューに移っても保持されています。
- (2) オプティマイズ実行中は以下のメッセージが表示され、トラッキングの値を示すマークが処理の過程を示します。

---

OPTIMIZING

---

オプティマイズの処理が完了すると以下のメッセージが表示され、INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT、HOME メニューの画面に「TRACK OPT」が表示されます。

---

COMPLETE

---

# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

- (3) 次のような場合は、以下のメッセージが表示され  
最適化を中止します。
- ・最適化の途中でPLAYモード以外のモードにした場合
  - ・最適化処理が失敗した場合
  - ・テープにVIDEO信号が記録されていない場合
  - ・テープにCTL信号が記録されていない場合

NOT COMPLETE

この時、トラッキング値はセンター値(0)になります。

- (4) 最適化の処理が5秒以上経過しても完了しない場合は、以下のメッセージが表示され  
最適化を中止します。

TIME OVER

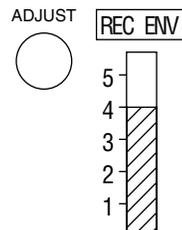
- (5) カセットをEJECTすると最適化値はキャンセルされます。

## トラッキングの手動調整

- (1) テープを入れて、再生します。
- (2) F10 (TRACKING) キーを押して「VAR」にします。

TRACKING  
VAR

- (3) ADJUST VRを回し、エンベレベルが一番高くなるように調整します。



# INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー

## オーディオフェード時間の選択

(1) F13 (MODE) キーを押して「X FADE」または「V FADE」にします。

MODE  
X FADE

(2) F12 (FD TIME) キーを押します。

FD TIME  
10

(3) ADJUST VR を回してオーディオフェード時間を選択します。

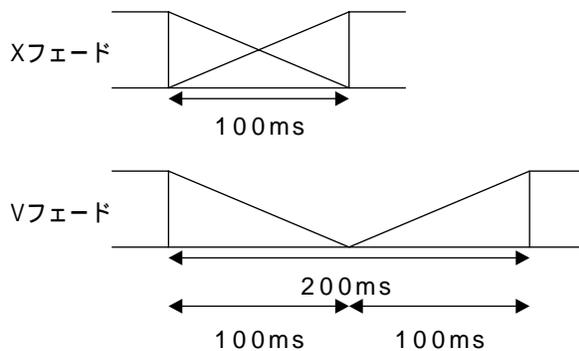
ADJUST  
25



実線はXフェード  
破線はVフェード

< ノート >

V フェード時間は FD\_TIME の設定時間の倍になります。  
例えば、FD\_TIME を 100ms に設定する場合



# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

ASSEM または INSERT F12 キーを押して「AUTO EDIT」メニューにします。

The screenshot displays the 'AUTO EDIT' menu interface. At the top, it shows 'OUTPUT LEVEL << AUTO EDIT >>'. The main area contains a level meter with a scale from 0 to -40, and two sets of 'IN' and 'OUT' level indicators for 'R' and 'P' channels. Below the meter is a 'RECORDER' timer set to 00:00:00:00 and a 'STILL' indicator. The bottom section features a row of function keys: SYSTEM (1080\_23PsF), TAPE (\*\*\*\*\*), REF (HD\_FREE), and WIN (DIG). To the right of the main interface is a vertical column of function keys: CH SELECT (F13), MANUAL EDIT (F12), SPLIT (F10), and INSERT (F9). At the bottom of the screen, a row of function keys F1 through F8 is visible.

# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

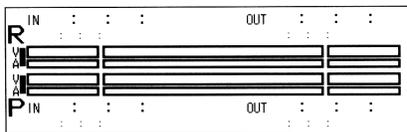
キー	項目	機能
F1	LAST X 最後に入力した編集データの呼び出し	F1 キーを押すと「LOAD」と表示され、最後に入力した編集データを呼び出します。
F2	LAST ED 最後に編集した全データの呼び出し	F2 キーを押すと「LOAD」と表示され、最後に編集した全データを呼び出します。
F3	W/PLYR 接続VTRのリモートコントロール ON/OFF	RS-422A で接続している VTR をリモートコントロールします。 ON : リモートコントロールが可能です。 OFF : 本機の単独操作になります。 ・このページの F5 ( PLYR SEL ) キーも参照してください。
F4	VAR MEMO バリエابلメモリー	サーチダイヤルの操作による再生速度・方向をメモリして、自動編集時にその内容を再現させることができます。( 自機による再現と接続した再生機をコントロールする場合があります。 ) ON : バリエابلメモリー機能の使用可能。 OFF : バリエابلメモリー機能の使用不可。
F5	PLYR SEL リモートコントロールする再生機の選択	PLYR-1 : REMOTE OUT 端子に接続した VTR をコントロールします。 PLYR-2 : REMOTE IN/OUT 端子に接続した VTR をコントロールします。
F6	R/P SEL 操作する VTR の選択	PLAYER : F5 ( PLYR SEL ) キーで選択されたプレーヤをリモートコントロールします。 RECORDER : 本機 ( レコーダ ) のみをコントロールします。
F7	TRIM 編集点のフレーム修正	ON : 登録した編集点をフレーム単位で修正します。「トリム操作」を参照。 OFF : トリム機能を解除します。
F8	SET UP	AUTO EDIT SET UP メニューに移行します。
F9	INSERT ( または ASSEMBLE ) 編集モードの ON/OFF	編集モードを選択します。 ON : 編集モードを ON にします。 OFF : 編集モードを OFF にします。
F10	SPLIT スプリット編集 ON/OFF	インサート編集時、オーディオとビデオの編集点を個々に登録する機能です。 ON : スプリット編集を行います。 OFF : スプリット編集を解除します。 ( 詳しくはハードウェア取扱説明書の 41、42 ページを参照してください。 )
F11	STOP CODE*	INSERT AUTO STOP CODE メニューに移行します。( インサート編集モードのみ )
F12	MANUAL EDIT	MANUAL EDIT メニューに移行します。
F13	CH SELECT 編集チャンネルの選択	INSERT AUTO EDIT CH SELECT ( 編集チャンネル選択 ) メニューに移行します。( インサート編集モードのみ )

\* 1080/59.94i、525/59.94i、720/59.94p フォーマット選択時のみ設定可能です。( 日本国内モデルのみ表示 )

# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDITメニュー

## テープ位置インジケータ

レコーダとプレーヤの編集点 (IN/OUT) とテープ位置を表示します。



- ・ EOT (End Of Tape) と BOT (Beginning Of Tape) はテープが始端 (BOT) と終端 (EOT) にあるときに表示されます。
- ・ スプリット編集時はオーディオとビデオの編集点が別々に表示されます。

## デュレーション

RECORDER 00:00:00:00  
PLAYER-1 : : :  
DURATION : : :

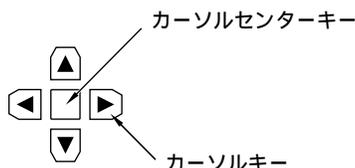
デュレーションが分かっているときは、レコーダとプレーヤの編集点はINまたはOUTだけを登録すれば自動的に残りは計算されます。

- (レコーダのタイムコード読み取り値)
- (プレーヤのタイムコード読み取り値)
- (編集される時間)

## 編集点の登録

(1) 数字キーでダイレクトに入力します。

- 1) カーソルセンターキーを押します。  
カーソルがあらわれます。



- 2) カーソルキーを押して、カーソルをデータの入力位置に移動させます。  
(図ではプレーヤのIN点)

IN : : :

**P**

- 3) カーソルセンターキーを押します。  
カーソルは桁カーソルに変わります。

IN 0 : : :

**P**

- 4) 数字キーで編集点を入力します。

0 0 0 0 3 4 1 4

- 5) ENTキーを押します。

同じようにして、レコーダとプレーヤのINとOUT点を登録します。

- ・ 編集点はレコーダとプレーヤの3点を登録します。  
(デュレーションの項参照)

- ・ データを取り消す場合は：取り消す位置にカーソルを移動し、カーソルセンターキーを押すと桁カーソルになります。Cキーを押すと登録点が削除できます。

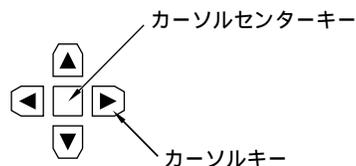
# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

(2) サーチダイヤルで編集点を探します。

- 1) サーチダイヤルで編集点を探します。
- 2) ENTRY ボタンを押します。

## ・トリム操作

(1) カーソルセンターキーを押します。  
カーソルがあらわれます。

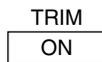


(2) カーソルキーを押して、カーソルを訂正したいデータ部分に移動させます。

IN 00:00:02:14

R

(3) F7 (TRIM) キーを「ON」にします。



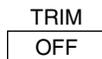
(4) 再度カーソルセンターキーを押して桁カーソルにします。

(5) +、- ボタンを押して、フレーム単位で訂正します。

を一回押すごとに + 1 されます。

を押し続けると自動的に加算され続けます。

(6) F7 (TRIM) キーを押して「OFF」にします。



IN 00:00:02:16

R

## ご注意

再生 (プレーヤ) 機 / 編集機 (レコーダ) の編集において各編集点を登録すると、最終編集点 (4 点目) は他の編集点から自動演算され、仮想編集点として登録されます。

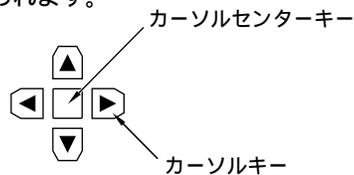
- ・仮想編集点表示の横には「\*」マークが表示されます。
- ・仮想編集点をクリアする場合は、他の編集点をクリアすることにより、自動的にクリアされます。

# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

スクラッチパッドレジスタで入力します。

- 1) カーソルセンターキーを押します。

カーソルがあらわれます。



- 2) カーソルキーを押して、カーソルを入力させたいタイムコードのIN、OUT位置に移動させます。

- 3) FROM キーを押します。

カーソル位置のタイムコードをレジスタ内に表示します。

SPR DATA

00 : 14 : 03 : 05
-------------------

- 4) +、-、数字キーとENTキーを押して加減算します。

レジスタ内に演算結果を表示します。

- 5) 演算結果をコピーさせたいカーソル位置 (IN または OUT) にカーソルキーを押して、カーソルを移動させます。

- 6) COPY キーを押します。

変更した編集点のタイムコードが表示されます。

- ・ 4) の加減算に不合理な数字を入力した場合は、エラーメッセージが表示されます。

ERROR INVALID TC DATA
-----------------------

- ・ COPY キーを押すまでは訂正は可能です。

- ・ 最後に入力した編集データの呼び出し

- (1) カーソルセンターキーを押します。

カーソルがあらわれます。

- (2) カーソルキーを押して、カーソルを呼び出したいデータ部分に移動させます。

- (3) F1 (LAST X) キーを押して「LOAD」にします。

最後に入力したデータがあらわれます。

IN 00:00:02:16
----------------

- ・ 最後に編集した全データの呼び出し

- (1) F2 (LAST ED) キーを押して「LOAD」にします。

最後に編集した全データがあらわれます。

# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

## バリエابلメモリー機能

1. F3 (W/PLYR) キーを「OFF」に設定します。

W/PLYR  
OFF

2. F4 (VAR MEMO) キーを「ON」にします。

VAR MEMO  
ON

- ・既にIN、OUT点が登録されている場合は、IN、OUT点は自動的にクリアされます。
- ・スピリットモードが「ON」の場合は、強制的に「OFF」になります。
- ・バリエابلメモリー機能を使用するときは、AUDIO IN/OUT点の登録はできません。

3. 本機の編集IN点を入力します。

バリエابلメモリー再生開始点になります。

- ・バリエابلメモリー再生では、OUT点の設定は不要です。

4. サーチダイヤルで初速度を設定します。

初速度はサーチインジケータに表示されます。

5. PREROLL と EXECUTE ボタンを同時に押して、操作を開始します。

テープは、プリロール点まで走行し、初速度で再生が開始されます。

6. 編集IN点を通ると、EXECUTE ボタンが点滅を開始します。

7. サーチダイヤルを回して、テープの速度を記憶します。

- ・EXECUTE ボタンが点滅している間は、メモリーが可能で、メモリー容量がいっぱいになると、EXECUTE ボタンが点灯し、それ以上の記憶はできません。
- ・初速度、メモリー内容を変更する時は、再度ステップ4より実行してください。

8. バリエابلメモリーを終了する時は、STOP ボタンを押します。

9. メモリー内容を再生する時は、EXECUTE ボタンを押すと、メモリー内容を再現します。

IN点通過からメモリー内容で再生し、メモリー内容の最後のスピードでSTOPボタンを押すまで走行します。

メモリーされた内容は、F4 (VAR MEMO) ボタンを「OFF」から「ON」にすると消えます。また、電源スイッチを「OFF」にするとメモリーは消えます。

# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT メニュー

## バリアブルメモリー編集

本機のRS-422A REMOTE OUT、REMOTE IN/OUT 端子に接続されているVTRサーチダイヤルの操作により再生速度・方向をメモリーして、自動編集時にその内容を再現させ、本機（レコーダ）に記憶することができます。

- 1.F3（W/PLYR）キーを「ON」に設定します。

W/PLYR  
ON

REMOTE OUT 端子に接続されているVTRをリモートコントロールする場合は、ASSEMBLE/INSERT AUTO EDITメニューF5（PLYR SEL）をPLAY-1に設定します。  
REMOTE IN/OUT 端子に接続されているVTRをリモートコントロールする場合は、ASSEMBLE/INSERT AUTO EDITメニューF5（PLYR SEL）をPLAY-2に設定します。

- 2.F4（VAR MEMO）キーを「ON」にします。

VAR MEMO  
ON

- 3.RECORDERのVIDEOのIN点、OUT点とPLAYERのIN点を登録します。

- 4.F6（R/P SEL）キーでPLAYERを選択し、サーチダイヤルで初速度を設定します。  
初速度はサーチインジケータに表示されます。

- 5.PREVIEW ボタンを押します。  
テープは、プリロール点まで走行し、初速度で再生が開始されます。

- 6.編集IN点を通過すると、EXECUTE ボタンが点滅します。

- 7.RECORDER側のサーチダイヤルでRECORDERのOUT点まで速度を記憶させます。  
RECORDERのOUT点までEXECUTE ボタンが点滅している間は、メモリーが可能です。  
メモリー容量が一杯になると、EXECUTE ボタンが点灯し、それ以上の記憶はできません。

- 8.メモリー内容をプレビューするときは、PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと、メモリー内容を再現します。  
調相は行いません。編集タイミングの調整はINSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UPメニューのF9（DLY\_STRT）キーで調整してください。

- 9.プレビュー中にメモリーされた内容を変更するときは、サーチダイヤルを操作すると、EXECUTE ボタンが点滅し、その内容が記憶されます。

- 10.メモリーされた初速度を変更するときは、STOP ボタンを押します。  
F6（R/P SEL）キーを「PLAYER」にしてSTOP ボタンを押しながら、サーチダイヤルで初速度を設定してください。初速度を変更した場合は、メモリー内容はクリアされますので、ステップ5より再度操作してください。

- 11.バリアブルメモリー自動編集をするときは、REC/EDIT ボタンを押します。メモリー内容でPLAYERを再生し本機（レコーダ）に記録します。

- 12.レビューしたい場合は、REC/EDIT ボタンを押して、編集終了後に、PREVIEW/REVIEW ボタンを押すと、レビューします。
  - ・メモリーされた内容はF10（VAR MEMO）キーを「OFF」から「ON」にすると消えます。
  - ・電源スイッチを「OFF」にすると、メモリーは消えます。

# INSERT AUTO EDIT CH SELECT メニュー

INSERT F12 F13 キーを押すとメニューが出ます。

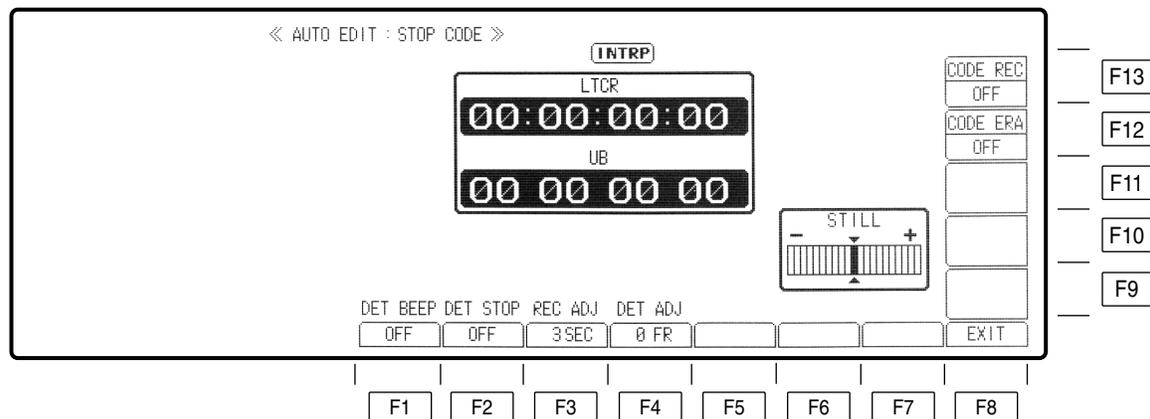
The screenshot displays the 'INSERT AUTO EDIT CH SELECT' menu. At the top, it shows 'OUTPUT LEVEL' with a scale from 0 to -60 and six vertical meters. Below this are 'AES' and 'MIX' buttons. The 'CH SELECT' menu on the right lists: CH-8 (OFF), CH-7 (OFF), CH-6 (OFF), CH-5 (OFF), and OFF. A 'STILL' meter is positioned in the center-right. The bottom of the screen features a row of buttons: SYSTEM (1080\_23PsF), TAPE (\*\*\*\*\*), REF (HD\_FREE), WIN (DTG), VIDEO (OFF), CH-1 (OFF), CH-2 (OFF), CH-3 (OFF), CH-4 (OFF), CUE (OFF), TC (OFF), and SET UP. The interface is flanked by function keys: F1-F8 at the bottom and F9-F13 on the right side.

# INSERT AUTO EDIT CH SELECT メニュー

キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオチャンネルの ON/OFF	
F2	CH-1 オーディオチャンネル CH1 の ON/OFF	
F3	CH-2 オーディオチャンネル CH2 の ON/OFF	編集チャンネルの選択 インサート編集時のみ有効です。
F4	CH-3 オーディオチャンネル CH3 の ON/OFF	ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F5	CH-4 オーディオチャンネル CH4 の ON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。 入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F6	CUE アナログキューチャン ネルの ON/OFF	
F7	TC LTC タイムコード チャンネルの ON/OFF	
F8	SET UP	AUTO EDIT SET UP メニューに移行します。
F9	CH-5 オーディオチャンネル CH5 の ON/OFF	編集チャンネルの選択 インサート編集時のみ有効です。
F10	CH-6 オーディオチャンネル CH6 の ON/OFF	ON : 編集チャンネルとして選択されます。 OFF : 編集チャンネルとして選択されません。
F11	CH-7 オーディオチャンネル CH7 の ON/OFF	・デジタルオーディオチャンネルのみ選択してインサート編集する場合でも、必ず安定した入力ビデオ信号を接続しておいてください。 入力ビデオ信号が乱れると、音声が正常に記録されない場合があります。
F12	CH-8 オーディオチャンネル CH8 の ON/OFF	
F13	CH SELECT	INSERT AUTO EDIT メニューに移行します。

# INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

**INSERT** **F12** キーを押して「AUTO EDIT」メニューにし、**F11** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	DET BEEP ブザー音の選択	STOP CODE を検出したときのブザー音を選択します。 ON : ブザー音を鳴らします。 OFF : ブザー音を鳴らしません。
F2	DET STOP 動作の検出	STOP CODE 検出後の VTR の動作を選択します。 ON : VTR は停止します。 OFF : VTR は動作を継続します。
F3	REC ADJ 記録位置の設定	SOM 点から何秒前に STOP CODE を記録するかを設定します。 1 SEC、2 SEC、3 SEC、4 SEC、5 SEC から選択します。
F4	DET ADJ 停止位置の設定	STOP CODE を検出した時、テープ走行を停止する位置を、通常の停止位置から SOM 点に近づく方向に 0 ~ 30 フレームの範囲でフレーム単位で設定します。
F5 ~ F7		
F8	EXIT	INSERT AUTO EDIT メニューに移行します。
F9 ~ F11		
F12	CODE ERA 消去モードの選択	STOP CODE を消去するかどうかを選択します。 ON : STOP CODE を消去します。 OFF : STOP CODE を消去しません。
F13	CODE REC 記録モードの選択	STOP CODE を記録するかどうかを選択します。 ON : STOP CODE を記録します。 OFF : STOP CODE を記録しません。

\* STOP CODE は 1080/59.94i、525/59.94i、720/59.94p フォーマット選択時のみ設定可能です。

# INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

AUTO\_EDIT メニューの F11 ( STOP CODE ) キーを押すと AUTO\_EDIT\_STOP\_CODE メニューに移行します。  
( 通常の編集はできなくなりますのでご注意ください。 )

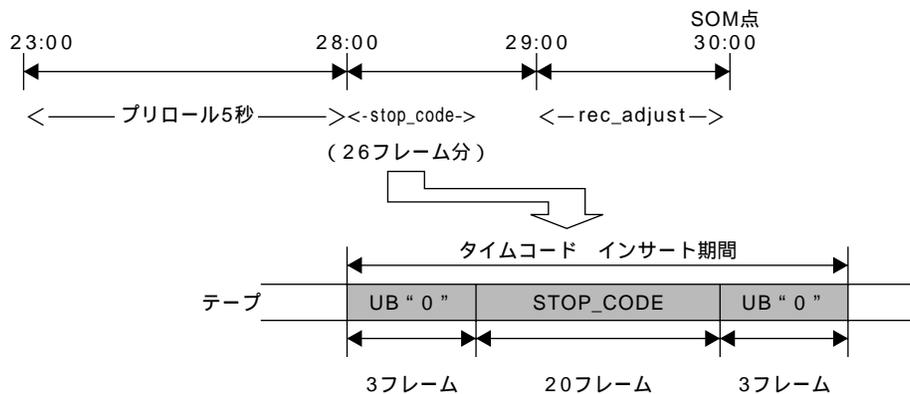
## 1. ストップコードの記録

PLAY、JOG モードなどで SOM 点を頭出しし、F13 ( CODE REC ) キーを押して ON に設定した後、REC/EDIT ボタンを押します。

REC/EDIT ボタンを押したところを SOM 点として、F3 ( REC\_ADJ ) 時間 + 6 秒前にプリロールしてから記録動作を始め、下図のようにユーザビット “ 0 ” ストップコードを記録してから VTR は自動停止します。

( REC INHIBIT 状態では、本動作は実行されませんのでご注意ください。 )

PQ\_REC の動作説明 ( REC\_ADJ を 1 秒に設定した場合 )



注) STOP コードについてはリニア系トラックに書き込む関係上、前後の UB “ 0 ” は、のりしろ部分となります。

ストップコード記録動作中は REC/EDIT ボタンが点滅または点灯します。動作を途中で止めるには STOP ボタンを押します。

記録開始位置を指定するには F3 ( REC\_ADJ ) [ 1、2、3、4、5 sec ( 下線は DEFAULT 設定 ) ] キーを押して、SOM 点の何秒前からストップコードを記録するかを設定します。

[ 実際の記録開始位置は、SOM 点から REC\_ADJ 時間 + 1 秒の位置 ( 上図の 28:00 ) から開始します。 ]

### ストップコードの記録確認

記録を確認するには PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。

ストップコード記録開始位置の 5 秒前にプリロールし、再生を開始します。

ストップコードが正常に検出された場合には、F2 ( DET\_STOP ) [ OFF、ON ( 下線は DEFAULT 設定 ) ] キーの設定にかかわらず確認音が 1 秒鳴り、F4 ( DET\_AJD ) [ 0 ~ 30 FRAME ( 下線は DEFAULT 設定 ) ] キーの設定にしたがって停止します。

ストップコードの記録点を通過しても停止しない場合は、改めて記録操作を行ってください。

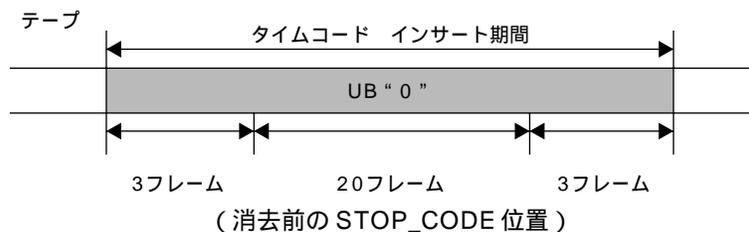
( PREVIEW/REVIEW ボタンを押して記録を確認する場合は AUTO\_EDIT : STOP\_CODE メニューのみ有効です。 )

# INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

## 2. ストップコードの消去

「ストップコード検出による停止」モードで消去したいストップコードで停止させ、F12 (CODE ERA) キーを押してONに設定し、REC/EDIT ボタンを押します。

VTRはストップコード記録点の5秒前にプリロールしてから消去動作を始め、下図のようにユーザビット“0”を記録してから自動停止します。



ストップコード記録動作中はREC/EDIT ボタンが点滅または点灯します。

動作を途中で止めるにはSTOP ボタンを押します。

### ストップコードの消去確認

PREVIEW/REVIEW ボタンを押します。VTRは記録点の5秒前にプリロールし、再生を開始します。ストップコードが記録されていた点で停止する場合には、改めて消去操作を行ってください。

(PREVIEW/REVIEW ボタンでの記録確認は、AUTO\_EDIT\_STOP\_CODE メニュー時のみ有効です。また、消去後のPREVIEW/REVIEW ボタンでの確認では、STOP\_CODEを検出するまでPLAY動作を継続しますのでSTOP\_CODEの消去確認後はSTOP ボタンを押してVTRを停止させてください。)

# INSERT AUTO EDIT STOP CODE メニュー

---

## 3. ストップコードの検出 (F1、F2 キー)

ストップコードが書き込んだテープを再生する時、F1 (DET\_BEEP)、F2 (DET\_STOP) キーの設定によって下記の動作になります。

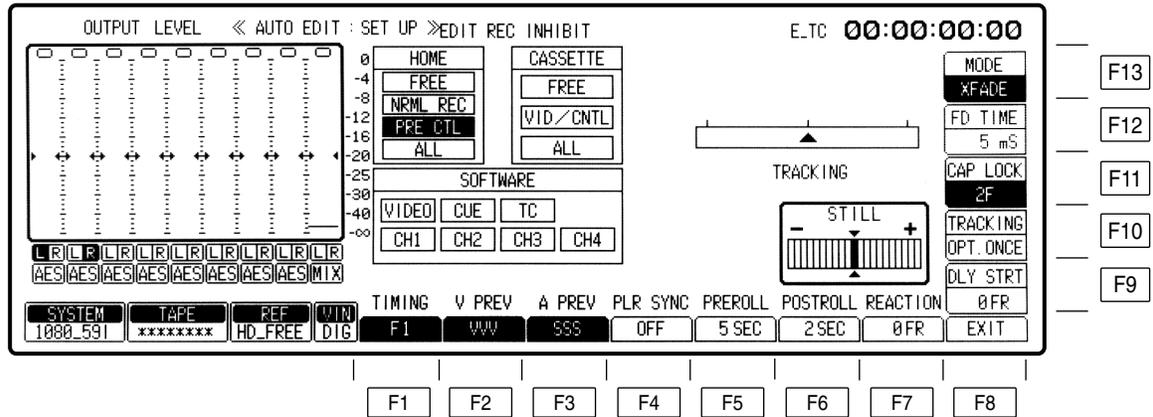
F1 : DET_BEEP	F2 : DET_STOP	ストップコード検出時の VTR の動作
OFF	OFF	何もしません。
OFF	ON	停止します。(NORMAL_PLAYのみ)
ON	OFF	1 秒間ブザーがなります。
ON	ON	停止する (NORMAL PLAY) と同時に 1 秒間ブザーが鳴ります。

# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニュー

ASSEM (または INSERT) を押して「AUTO EDIT」メニューにし、F8 キーを押すとメニューが出ます。

または

SET UP F2 キーを押すとメニューが出ます。



# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP **メニュー**

キー	項目	機能
F1	TIMING* <sup>1</sup> 編集タイミングの設定	<p>編集 IN 点および OUT 点での記録フィールドのタイミングを設定します。 F キーと F1 キーを同時に押すと設定できます。</p> <p>F1 : IN 点の奇数フィールドから編集を開始し、OUT 点 1 フレーム前の偶数フィールドを記録して編集を終了します。</p> <p>F2 : IN 点の偶数フィールドから編集を開始し、OUT 点の奇数フィールドを記録して編集を終了します。</p> <p>F1/F2 : 編集 IN 点および OUT 点のフィールドは編集コマンドの出るタイミングによって決定されます。 編集タイミングが偶数フィールドで出れば、奇数フィールドで終了し、奇数フィールドで出れば、偶数フィールドで終了します。 ただし、本機単独で MANUAL EDIT を行う場合は強制的に F1 になります。互いに異なった選択をした場合、最後の選択が優先されますのでご注意ください。</p> <p>・TIMING の設定は MANUAL SET UP メニューの F1 (TIMING) キーでも行えます。</p>
F2	V PREV ビデオプレビュー	<p>プレビュー中のデュレーション (IN 点と OUT 点の間) 間のビデオ信号を選択します。</p> <p>VVV : ビデオ入力信号をモニタします。</p> <p>VBV : ブラック信号をモニタします。</p>
F3	A PREV オーディオプレビュー	<p>プレビュー中のデュレーション (IN 点と OUT 点の間) 間のオーディオ信号を選択します。</p> <p>SSS : オーディオ入力信号をモニタします。</p> <p>SMS : ミュート音をモニタします。</p>
F4	PLR SYNC プレーヤシンク	<p>VTR 対 VTR の編集で、調相機能を働かせ、編集精度を ± 0 (TC 選択時) にするかどうかを選択します。</p> <p>ON : 調相機能を働かせ、編集精度を ± 0 (TC 選択時) とします。ただし、CF モードでの編集で、CF が合わない時、プレーヤーの IN 点は強制的に + 1 します。</p> <p>OFF : 調相機能は働きません。</p>
F5	PREROLL プリロールタイムの選択	<p>秒単位でプリロールタイムを設定します。 0 ~ 30 秒の範囲で選択が可能です。</p>
F6	POSTROLL ポストロールタイムの選択	<p>秒単位でポストロールタイムを設定します。 0 ~ 30 秒の範囲で選択が可能です。</p>
F7	REACTION タイムラグによる 時間補正	<p>ENTRY ボタンを押してから実際の動作までのリアクションタイムを補正します。 補正範囲は 0 フレームから <u>30 フレーム</u> *<sup>2</sup> まで 1 フレーム単位で行えます。</p> <p>・ENTRY ボタンで編集点を設定したとき、ボタンを押した瞬間からリアクションタイムを引いた値が編集点になります。</p> <p>操作</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. F7 (REACTION) キーを押します。</li> <li>2. ADJUST VR で調整します。</li> <li>3. F7 キーを押します。</li> </ol>

\*<sup>1</sup> 1080/23p、1080/24p フォーマット選択時は表示されません。(強制 F1)

\*<sup>2</sup> フォーマットにより異なります。

# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニュー

キー	項目	機能
F8	EXIT	AUTO EDIT メニューに戻ります。
F9	DLY STRT 再生立ち上がり ディレイスタート	再生コマンドを出してから実際の動作までのタイミングをフレーム単位で設定します。(他のサーボリファレンスの異なる VTR との同期を取りやすくするために使用します。) 設定範囲は±30 フレーム*1 まで1 フレーム単位で行えます。 (- は早くなり、LOCAL 時プリロール時間を補正し実現します。+ は遅れを表し、REMOTE 時、LOCAL 時とも動作します。)
F10	TRACKING トラッキング調整	通常時のトラッキング調整は不必要。編集時にトラッキングずれが起こった場合に調整します。 VAR : 手でトラッキングを調整します。 「トラッキングの手動調整」(97 ページ)を参照。 FIX : トラッキングを固定します。 OPT ONCE : カセット挿入後、最初の編集で、IN 点までの PLAY 中に最適化を行います。それ以後は最適化は行いません。再度最適化を行うこともできます。「トラッキングの自動調整」(136 ページ)を参照。また EDIT/PLAY 中に PLAY ボタンと STAND BY ボタンを同時に押すと再度最適化を行い、EDIT/PLAY のたびに最適化します。 OPT AUTO : 編集のたびに毎回 IN 点までの PLAY 中に最適化を行い、他のメニューに移っても保持されます。「トラッキングの自動調整」(96 ページ)を参照。
F11	CAP LOCK キャプスタンサーボ ロックの設定	再生時のキャプスタンサーボロックモードを選択します。 4F AUTO (8F AUTO : 1080/23p、1080/24p、1080/50i 時) : カラーフレームオートロックモードになります。再生中、カラーフレームに不連続が生じた場合、本機は再度新しいカラーフレームにロックします。 4F FORCE (8F FORCE : 1080/23p、1080/24p、1080/50i 時) : カラーフレーム強制ロックモードになります。再生中、カラーフレームに不連続が生じて、本機は最初にロックしたフィールドの順序を保ちます。 2F : フレームロックモードになります。 ・キャプスタンサーボロックは HOME SET UP メニューでも設定できます。両方の設定が異なる場合は、最後に設定したモードを優先します。
F12	FD TIME*2 オーディオフィード 時間の設定	F13 キーが「X FADE」または「V FADE」のとき有効です。 設定できる時間は5、10、15、20、25、50、100ms。 (初期設定は5ms) 設定のしかたは「オーディオフィード時間の設定」(98 ページ)を参照。
F13	MODE*2 オーディオフィード 編集の設定	オーディオの編集を、先行再生音声と入力音声をクロスフェード、または V フェードさせながら編集することができます。 X FADE : オーディオクロスフェード編集が行えます。 CUT : カット編集 (通常の編集) になります。 V FADE : オーディオの V フェード編集になります。

\*1 フォーマットにより異なります。

\*2 EDIT REC STATE が TAPE 時は、CUT のみの選択となります。

ただし、F キーと同時に押すと FADE を選択できますが、この場合 EDIT REC STATE 設定が EE1 に切り替わります。

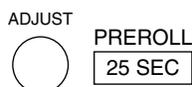
# INSERT/ASSEMBLE AUTO EDIT SET UP メニュー

---

## プリロールタイムの選択

(1) F5 (PREROLL) キーを押します。

(2) ADJUST VR で設定します。  
最大 30 秒まで選択可能。



(3) F5 キーを押します。

- ・ HOME SET UP メニューのプリロールタイム設定と異なる場合は、最後に選択したプリロールタイムを優先します。

## DLY STRT の設定

(1) F9 (DLY STRT) キーを押します。

(2) ADJUST VR で設定します。

(3) F9 キーを押します。

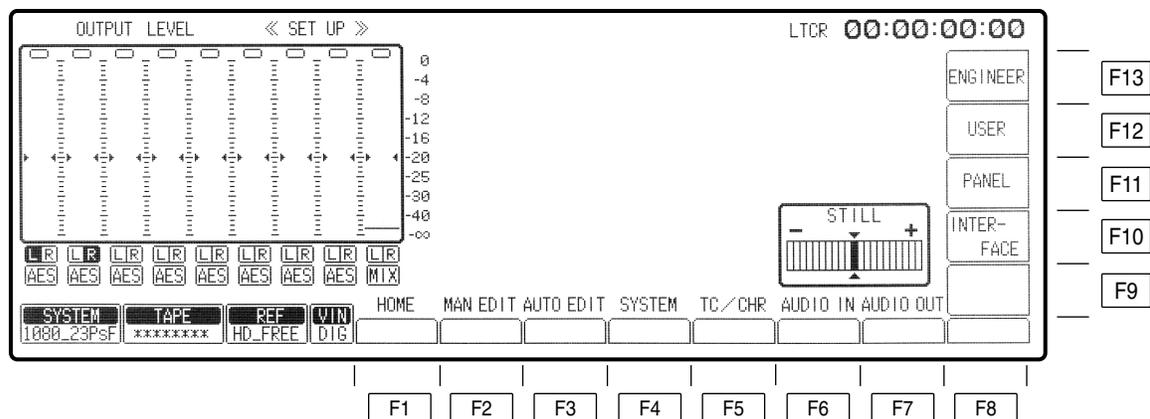
- ・他の VTR との立ち上がりタイミングが異なる場合、同期をとるときに設定します。
- ・本機を VTR 対 VTR のマスター機 (レコーダ) として使用する場合は + または - 方向の調整が可能です。リモートモード (コントローラ接続時または VTR 対 VTR でのプレーヤ側) で使用するときは + 方向 (遅らす方向) のみ可能です。

## EDIT REC INHIBIT の設定

INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー (94 ページ) と同じです。

# SET UP メニュー

SET UP キーを押すとメニューが出ます。



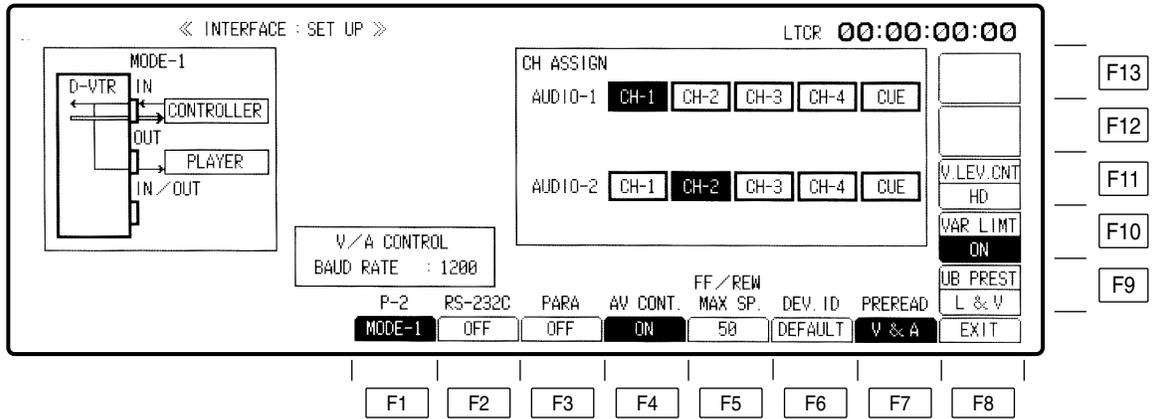
キー	項目	機能
F1	HOME	HOME SET UP メニューへ移行します。
F2	MAN EDIT	ASSEMBLE(またはINSERT)MANUAL EDIT SET UP メニューへ移行します。
F3	AUTO EDIT	ASSEMBLE(またはINSERT)AUTO EDIT SET UP メニューへ移行します。
F4	SYSTEM	SYSTEM SET UP メニューへ移行します。
F5	TC/CHR	TC/CHR SET UP メニューへ移行します。
F6	AUDIO IN	AUDIO IN SET UP メニューへ移行します。
F7	AUDIO OUT	AUDIO OUT SET UP メニューへ移行します。
F8 ~ F9		
F10	INTERFACE	INTERFACE SET UP メニューへ移行します。
F11	PANEL	PANEL SET UP メニューへ移行します。
F12	USER	USER SET UP メニューへ移行します。
F13	ENGINEER*	ENGINEER SET UP メニューへ移行します。

\* F キーと F13 キーを同時に押すと ENGINEER メニューが表示されます。

# INTERFACE SET UP メニュー

SET UP

F10 キーを押すとメニューが出ます。



# INTERFACE SET UP メニュー

キー	項目	機能
F1	P-2 RS-422A コントロールモード の設定	RS-422A REMOTE 端子に接続された機器をリモートコントロールするとき、システムの構成によって 4 種類のモードを選択することができます。各モードの信号の流れはメニューに表示されます。「モードと端子の関係表」(120 ページ) 参照。 MODE-1 : REMOTE OUT、REMOTE IN/OUT 端子の接続 VTR をコントロールします。 MODE-2 : 本機と同じモードで、2 台以上の VTR をコントロールします。 MODE-3 : REMOTE OUT 端子の接続 VTR をコントロールできます。 MODE-4 : 本機と同じモードで 2 台以上の VTR をコントロールできます。 OFF : RS-422A でコントロールしません。
F2	RS-232C	ON : 設定およびコントロールができます。 OFF : 設定およびコントロールができません。  BAUD RATE : ボーレートの設定。300、600、1200、2400、4800、9600 のボーレートの設定ができます。 DATA LENGTH : データ長の設定。7、8 のデータ長の設定ができます。 START BIT : スタートビットの設定。スタートビットは 1 (固定) STOP BIT : ストップビットの設定。ストップビットは 1、2 PARITY : パリティビットの設定。パリティビットは NON、ODD、EVEN
F3	PARA 50P パラレル リモート ON/OFF	ON : コントロールができます。 OFF : コントロールはできません。
F4	AV CONT. V/A コントロール	ON : V/A コントロールからの制御を受けつけます。 OFF : V/A コントロールからの制御を禁止します。
F5	FF/REW MAX SP FF/REW 最高速度 設定	FF、REW のテープ速度を 50、32 倍速に切り替えます。
F6	DEV. ID デバイスタイプ	C、F、F6 の各キーを同時に押すと設定できます。 RS-422A 上でのコントローラに返すデバイス ID を選択できます。 デバイス ID は DEFAULT 値の他に ID-1、ID-2、ID-3、USER の 4 種類あり、使用しているコントローラに合うように選択してください。 USER 設定デバイス ID を変更するときは、サービスマンにご相談ください。

# INTERFACE SET UP メニュー

キー	項目	機能
F7	PREREAD リモートコマンド からのプリリード 設定	Fキーを押しながらF7キーを押すと変更可能です。 VIDEO：ビデオのプリリード設定が可能です。 AUDIO：オーディオのプリリード設定が可能です。 V&A：ビデオとオーディオのプリリード設定が可能です。
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9	UB PREST リモートコマンド からの UB 設定	外部 (RS-422/232C) から、TCG UB プリセットコマンドを設定します。 L&V：ユーザーズビットをLTCとVITCに記録します。 LTC：ユーザーズビットをLTCに記録します。 VITC：ユーザーズビットをVITCに記録します。
F10	VAR LIMT*	外部 (RS-422/232C) から VAR コマンドに対して最大速度を設定します。 FキーとF10キーを同時に押すと設定できます。 ON：-1 ~ +2 倍速で制限します。 OFF：-1.5 ~ +2.5 倍速で制限します。(約2倍速以上また-1倍速以下はAT ON TRACKしないサーチ映像になります。)
F11	V. LEV. CNT	外部 (RS-422、V/A コントローラ) からのビデオコンポーネント調整コマンドに対してVTRのHD/SD出力のどちらを可変するかを選択します。 NORMAL：HD/SDコマンドを識別し、それぞれのレベルを可変します。 HD：強制的にHD出力レベルを可変します。 SD：強制的にSD出力レベルを可変します。 BOTH：HD出力/SD出力レベルを連動して可変します。
F12 ~ F13		

\* <ノート>

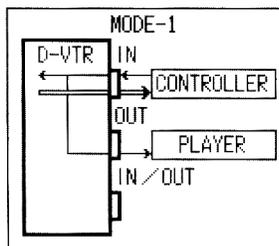
エディティングコントローラ (例えばBVE-9100など) と接続してスロー編集を行う場合は「OFF」に設定してください。-1倍速近辺や+2倍速近辺でのスロー編集では調相できない場合があります。

# INTERFACE SET UP メニュー

## モードと端子の関係表

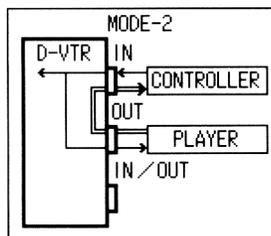
MODE	ソース機として編集機にリモートコントロールされる場合、またはコントローラを用いて編集を行う場合の接続（リモート）			本機のフロントパネル操作で編集を行う場合の接続（ローカル）		
	IN	OUT	IN/OUT	IN	OUT	IN/OUT
MODE-1	コントローラ	プレーヤ 1	不可	不可	プレーヤ 1	不可
MODE-1	コントローラ	プレーヤ 1	不可	不可	不可	プレーヤ 2
MODE-2	コントローラ	プレーヤ 1	不可	不可	不可	不可
MODE-3	不可	プレーヤ 1	コントローラ	不可	プレーヤ 1	不可
MODE-3	不可	プレーヤ 1	コントローラ	不可	不可	プレーヤ 2
MODE-4	不可	プレーヤ 1	コントローラ	不可	不可	不可

MODE-1 の接続図

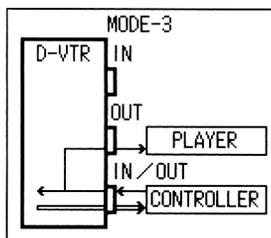


◁ — コマンド  
 ◁ — 返信データ

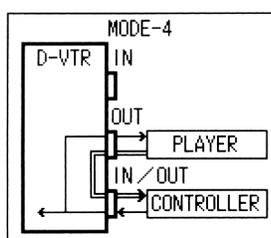
MODE-2 の接続図



MODE-3 の接続図



MODE-4 の接続図



# INTERFACE SET UP メニュー

---

## RS-232C パラメータ設定

- (1) F2 (RS-232C) キーを押して「ON」にします。  
パラメータの表示が出ます。

BAUD RATE : 300、600、1200、2400、4800、9600  
DATA LENGTH : 7、8 ビット  
START BIT : 1 ビットに固定  
STOP BIT : 2、1 ビット  
PARITY : NONE、ODD、EVEN

- (2) カーソルセンターキーを押します。  
入力領域が点滅します。

- (3) カーソルキーを押して、入力領域を選択します。  
Fキーとカーソルキーを同時に押すと、ブロック移動します。

BAUD RATE :

- (4) カーソルセンターキーを押して、パラメータを設定します。

BAUD RATE :

- (5) ENT キーを押して設定を確定させます。

## V/A コントロールパラメータ設定

V/A コントロールパラメータは次のボーレートが選択できます。

- (1) カーソルセンターキーを押します。  
入力領域が点滅します。

- (2) Fキーとカーソルキーを同時に押し、V/A CONTROLのブロックにカーソルを移動させます。

- (3) カーソルセンターキーを押して、パラメータを設定します。

- (4) ENT キーを押して設定を確定させます。

# INTERFACE SET UP メニュー

---

## CH ASSIGN オーディオチャンネルの設定

アナログオーディオのCH1、CH2のプリセットコマンドしか持っていないコントローラからのコマンドを読み替え、デジタルオーディオCH1～CH4（8CHフォーマットの場合はCH1～CH8）CUEチャンネルへの割り付けを行います。

- (1) カーソルセンターキーを押して、カーソルを表示させます。  
入力領域が点滅します。

- (2) Fキーとカーソルキーを同時に押し、カーソルをCH ASSIGNのブロックに移動させます。

AUDIO-1	<input type="text" value="CH-1"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
AUDIO-2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (3) カーソルキーを押して、選択する位置にカーソルを移動させます。

AUDIO-1	<input type="text"/>	<input type="text" value="CH-2"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
AUDIO-2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (4) カーソルセンターキーを押して、表示をON/OFFします。  
ONの場合は反転します。

AUDIO-1	<input type="text"/>	<input type="text" value="CH-2"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
AUDIO-2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

- (5) ENTキーを押して設定を確定させます。

# PANEL SET UP メニュー

SET UP F11 キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the 'PANEL : SET UP' menu. At the top left, it shows 'OUTPUT LEVEL' with a scale from 0 to -40 and a 'VAR' section with 'CLUTCH OFF' and 'MAX SP. -1<=>2'. The top right shows 'LTCR 00:00:00:00'. The bottom section contains various settings: 'SYSTEM 1880\_23Psf', 'TAPE \*\*\*\*\*', 'REF HD\_FREE', 'VIN DIG', 'KEY OFF', 'ALARM OFF', 'JOG MAX SP. -1<=>2', 'SHTL L/C/R X 8.X 4 ON', 'MAX SP. A SCALE 50', and 'TC INPUT STANDARD'. A 'STILL' meter is also visible. On the right side, function keys F9 through F13 are indicated with lines pointing to specific menu items: F13 to CLUTCH, F12 to MAX SP., F11 to OP MAP, F10 to UNITY LD, and F9 to TC INPUT.

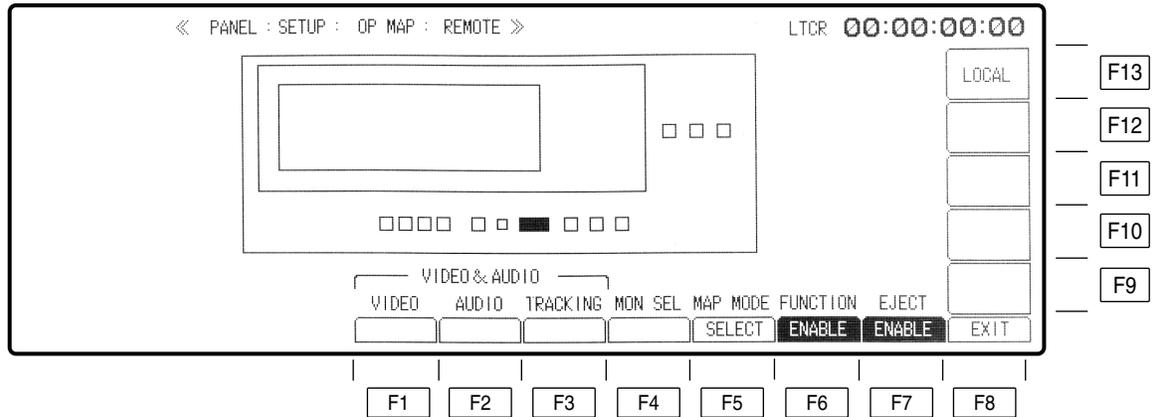
# PANEL SET UPメニュー

キー	項目	機能
F1	SOUND KEY ファンクションキー、 IN/OUTキーの クリック音選択	OFF : クリック音はしません。 HIGH : 大きいクリック音。 LOW : 小さいクリック音。
F2	SOUND ALARM エラー発生時の 警告音選択	OFF : 警告音はしません。 HIGH : 大きい警告音。 LOW : 小さい警告音。
F3	JOG MAX SP ジョグの最高速度	- 2 + 2 : - 2 ~ + 2 の速度範囲。 - 1 + 1 : - 1 ~ + 1 の速度範囲。 - 1 + 2 : - 1 ~ + 2 の速度範囲。
F4	SHTL L/C/R シャトルのダイヤル クラッチ ON/OFF	OFF : クラッチなし。(F5 キーも OFF になります。) ON : 左端、中央、右端の 3 点にクラッチを設定します。
F5	SHTL × 8、× 4 シャトルのダイヤル × 8、× 4 クラッチ選択	OFF : クラッチはありません。 × 8 : ± 8 倍速の位置にクラッチ。 × 8、× 4 : ± 4、± 8 倍速の 4 つの位置にクラッチ。 × 4 : ± 4 倍速の位置にクラッチ。
F6	SHTL MAX SP シャトルの最高速度	50 : シャトルの最高速度を通常再生の 50 倍速にします。 32 : シャトルの最高速度を通常再生の 32 倍速にします。 16 : シャトルの最高速度を通常再生の 16 倍速にします。
F7	A SCALE オーディオレベルメー タスケールの設定	- 20 ( - 18 ) dB : 基準レベルが - 20 ( - 18 ) になります。* 0dB : 基準レベルが 0 になります。 *オーディオ基準レベルを - 18dB に設定している時は - 18 となります。
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9	TC INPUT タイムコード入力 モード	STANDARD : 10 時の桁から入力するモードになります。 REVERSE : フレームの桁から入力するモードになります。 TC をマニュアルで入力する全てのモードで有効となります。
F10	UNITY LD	ALL A&V : デジタルオーディオ記録再生系のレベルとビデオの再生系 ( SYSTEM 系を除く ) が全てユニティ ( UNITY ) の時、 UNITY ランプが点灯します。 AUDIO PB : デジタルオーディオ再生系のレベルが全て UNITY の時、 UNITY ランプが点灯します。
F11	OP MAP	OP MAP REMOTE メニューへ移行します。
F12	VAR MAX SP バリエブルの 最高速度	- 1 + 2 : - 1 ~ + 2 の速度範囲。 - 1 + 1 : - 1 ~ + 1 の速度範囲。 0 + 1 : 0 ~ + 1 の速度範囲。
F13	VAR CLUTCH バリエブルモードの クラッチ ON/OFF	OFF : クラッチはありません。 ON : - 1/0/+ 1/+ 2 の倍速位置にクラッチ。

# PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー

**SET UP** **F11** **F11** キーを押して「OP MAP REMOTE」メニューにします。

このメニューはリモートモード時に、本機のフロントパネル上で操作可能なボタン、キー、つまみなどの設定、表示を行います。



# PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー

キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオのレベル調整	VIDEO OUT メニューのレベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F2	AUDIO オーディオのレベル調整	AUDIO REC、PB レベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F3	TRACKING トラッキング調整	トラッキング調整を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F4	MON SEL モニター選択	オーディオ信号のモニター選択 L/R ボタンを選択します。キーを押すとハイライト表示になります。
F5	MAP MODE キー操作可能	ALL : 全てのキーのリモート操作ができます。 SELECT : 選択したキーのリモート操作ができます。
F6	FUNCTION 機能全体の可能 / 不可能	ENABLE : 可能 DISABLE : 不可能
F7	EJECT リモート時の EJECT ボタンの 有効 / 無効設定	ENABLE : EJECT の操作可能。 DISABLE : EJECT の操作不可能。
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	LOCAL	OP MAP LOCAL メニューに移行します。

# PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) メニュー

## F5 (MAP MODE) と F6 (FUNCTION) キーの関係

F5(MAP MODE)	F6(FUNCTION)	設 定 内 容	
		操作キー (STOP、PLAY など)	ファンクションキー (F1 ~ F13、ボリュームなど)
ALL	ENABLE	このメニューの設定にかかわらず、全て可能。	このメニューの設定にかかわらず、全て可能。
	DISABLE	このメニューの設定にかかわらず、全て禁止。	このメニューの設定にかかわらず、全て禁止。
SELECT	ENABLE	このメニューで選択されたキーのみ可能。	このメニューの F1 ~ F4 で選択された機能および他の特定機能のみ可能。
	DISABLE	このメニューの設定にかかわらず、全て禁止。	同上

### ご注意

- ・このメニューで、F6 キーを「ENABLE」に設定していても、本機がリモートモードで LOCAL DISABLE コマンドを受けると F6 キーは「DISABLE」に変わります。  
(ただし、EJECT ボタンは F7 (EJECT) キーに従います。)
- ・出荷時は、F6 キーは「ENABLE」、F5 キーは「SELECT」に設定されています。

## OP MAP の設定方法

- ・ディスプレイ上に表示されているコントロールパネルのグラフィックに、マークされているボタンやキーは、実際のコントロールパネル上のボタンと対応しています。  
コントロールパネル上で押したキーやボタンに対応した部分がハイライト表示されます。
- ・JOG、VAR、SHTL ボタンを押すと、サーチダイヤルが表示されます。
- ・F1 (VIDEO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F2 (AUDIO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F3 (TRACKING) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F4 (MON SEL) キーを押すと、L/R ボタンが表示されます。

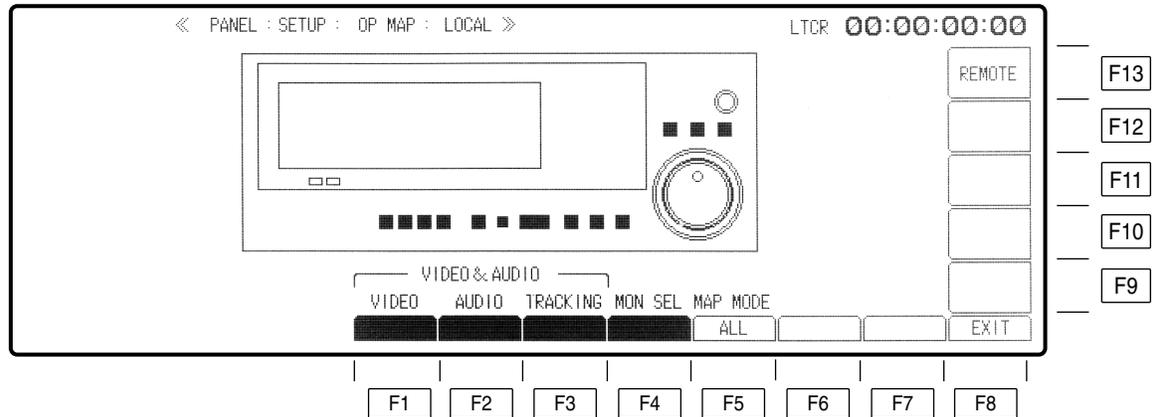
# PANEL SET UP (OP MAP LOCAL) メニュー

**SET UP** **F11** **F11** **F13** キーを押して「OP MAP LOCAL」メニューにします。

ローカルモード時に、本機フロントパネル上で操作を不可能にするボタン、キー、つまみなどの設定、表示を行います。

設定や調整値を不用意に触って、変化させてしまうことを防ぐことができます。

- ・初期設定は全て操作可能です。



# PANEL SET UP (OP MAP LOCAL) メニュー

キー	項目	機能
F1	VIDEO ビデオのレベル調整	VIDEO OUT メニューのレベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F2	AUDIO オーディオのレベル調整	AUDIO REC、PB レベル調整機能を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F3	TRACKING トラッキング調整	トラッキング調整を選択します。キーを押すと、ハイライト表示になります。
F4	MON SEL モニター選択	オーディオ信号のモニター選択 L/R ボタンを選択します。キーを押すとハイライト表示になります。
F5	MAP MODE キー操作可能	ALL : OP MAP の設定にかかわらず、全てのキーの操作ができます。 SELECT : OP MAP で設定した機能のみの操作ができます。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	REMOTE	OP MAP REMOTE メニューに移行します。

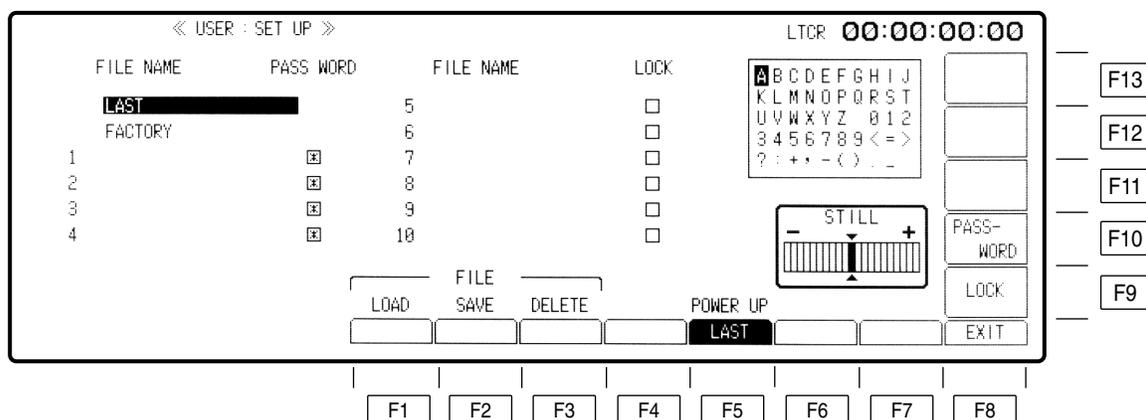
## OP MAP の設定方法

- ・ディスプレイ上に表示されているコントロールパネルのグラフィックに、マークされているボタンやキーは、実際のコントロールパネル上のボタンと対応しています。  
コントロールパネル上で押したキーやボタンに対応した部分がハイライト表示されます。
- ・JOG、VAR、SHTL ボタンを押すと、サーチダイヤルが表示されます。
- ・F1 (VIDEO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F2 (AUDIO) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・F3 (TRACKING) キーを押すと、ADJUST VR が表示されます。
- ・出荷時は F5 (MAP MODE) キーは「ALL」に設定されていますので、全ての操作が可能です。

# USER SET UP メニュー

SET UP

F12 キーを押すとメニューが出ます。



キー	項 目	機 能
F1	LOAD ユーザーファイルの呼び出し	F キーと同時に押すと、カーソルで選んだファイルをロードします。
F2	SAVE ユーザーファイルの保存	F キーと同時に押すと、カーソルで選んだファイルを保存します。
F3	DELETE ユーザーファイルの削除	F キーと同時に押すと、カーソルで選んだファイルを削除します。
F4		
F5	POWER UP 電源投入時のファイルの呼び出し	LAST : ラストファイル呼び出します。 FACTORY : ファクトリーファイル呼び出します。* 1 ~ 10 : ユーザーファイル呼び出します。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9	LOCK ファイルのロック	F キーと同時に押します。 カーソルで選んだファイルがロックされ、更新、削除はできません。 再度押すとロックは解除されます。ユーザーファイル 5 ~ 10 に使用します。
F10	PASSWORD パスワード	パスワードを設定するときに押します。 キーを押した後、4 文字のパスワードを入力します。 ユーザーファイル 1 ~ 4 に使用します。
F11 ~ F13		

\* SYSTEM SET UP メニュー( 136 ~ 137 ページ)の F1 ~ F7 で設定される項目はファクトリーファイルをロードしても書き替わりません。

# USER SET UP メニュー

## ユーザーファイルの保存

本機には 12 のファイルが用意されています。

2 つは最新電源遮断時の状態が保存される LAST ファイルと工場出荷時（初期設定）の状態が保存される FACTORY ファイルで、予め予約されています。これら 2 つのファイルの削除と更新はできません。

10 のファイルはユーザーファイルとして、ユーザーが自由に設定したメニューの内容を保存することができます。呼び出し、削除、更新も自由に行えます。

(1) 各メニューの設定を保存させたい状態にしておきます。

ファイルの保存させる内容は、巻末の一覧表を参照してください。

・ UNITY と VAR の設定がある場合、UNITY に設定されていても、VAR の値も同時に保存されます。

(2) カーソルキーを押して、希望するファイル番号を選択します。

	FACTORY	
1		*
2		*
3		*
4		*

カーソルは前回指定した場所に出ます。

(3) ファイル名を入力します。

最大 20 文字まで入力できます。

1. EDITOR 1

(4) F キーと F2 (SAVE) キーを同時に押してファイルを保存します。

ファイル名の入力

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	
3	4	5	6	7	8	9	<	=	>
?	;	+	,	-	(	)	.	_	

・ 0 ~ 9 : 数字キーを押します。

・ アルファベットは以下の操作をします。

1) カーソルセンターキーを押します。

2) ADJUST VR で桁カーソルを左右に移動させ、希望する文字を選択します。

F とカーソルキーを同時に押すと、カーソルを上下左右に移動させることができます。

3) ENT キーを押すとカーソル上の一文字が入力されます。

4) カーソルセンターキーを押して、文字入力を終了します。

5) F キーと F2 (SAVE) キーを同時に押してファイルを保存します。

・ 一文字の訂正は BS キーを押します。

入力を最初からやり直すとき C キーを押します。

1 ~ 4 のファイルを登録するにはパスワードが必要です。

(1) F10 (PASSWORD) キーを押します。

(2) パスワード 4 文字を入力します。

・ パスワードについては、サービスマンにご相談ください。

# USER SET UP メニュー

---

## ユーザーファイルのロック

ファイルを保護し、削除や更新をできなくするモードです。

(1) カーソルキーを押して、ロックするファイルを選択します。

1. EDITOR 1    

(2) 1 ~ 4 のファイルはパスワードを入力します。

5 ~ 10 のファイルは F と F9 キーを同時に押します。

ファイルがロックされると、反転表示になります。

1. EDITOR 1    

・ファイルのロックを解除するときは、

1 ~ 4 のファイルはパスワードを入力すると、ロックが解除されます。

1. カーソルキーを押してロックを解除するファイルを選びます。

2. F10 (PASSWORD) キーを押します。

3. パスワード 4 文字を入力します。

入力したパスワードが正しい場合、ロックが解除されます。

パスワードが正しくない場合、ロックは解除されません。

5 ~ 10 のファイルは再度 F と F9 キーを同時に押すと、ロックが解除されます。

1. EDITOR 1    

## ユーザーファイルの更新

(1) カーソルキーを押して、更新するファイルを選択します。

・ファイルがロックされているときは、ロックを解除します。

1. EDITOR 1    

↑     ロック解除  
(反転表示のときは  
ロックを解除します。)

(2) ファイルの内容を変更します。

例えば HOME メニューの F4 (TC/CTL) キーを押して TC から CTL1 に変更します。

(3) F と F2 (SAVE) キーを同時に押します。この後、HOME メニューの F4 (TC/CTL) キーを押して TC に再度変更します。

ファイルは変更された内容で保存されます。

F と F1 (LOAD) キーを同時に押し、HOME ボタンを押して HOME メニューに入ると上に述べた変更項目 F4 (TC/CTL) キーは CTL1 に変更されています。

・更新前の内容は消去されます。

# USER SET UP メニュー

---

## ユーザーファイルの削除

不要なファイルを削除します。

(1) カーソルキーを押して、削除するファイルを選択します。

5. EDITOR 2       (ロック状態)

(2) 削除するファイルのロックが解除されていることを確認します。

ロック状態のときは、ユーザーファイルのロックを参照し、ロックを解除します。

5. EDITOR 2       (ロック解除)

(3) FとF3 (DELETE) キーを同時に押します。

ファイルは削除されます。

・ファイルのロックが解除されていないとファイルは削除できません。

## ユーザーファイルの呼び出し

保存したファイルを呼び出します。

(1) カーソルキーを押して、呼び出すファイルを選択します。

1. EDITOR 1     

(2) FとF1 (LOAD) キーを同時に押すと選択したファイルが呼び出されます。

呼び出したファイルを確認します。

## 電源投入時の自動ファイル呼び出し

電源を入れると、自動的にファイルを呼び出します。

(1) F5 (POWER UP) キーを押します。

キーを押すたびに、ファイルが出てきます。

次回に電源を入れた時、自動的にえらんだファイルが出ます。

・初期設定はLAST ファイルです。

# USER SET UP メニュー

---

## ユーザーファイル名の複写

同じファイル名をつけるとき、そのファイル名を複写します。

(1) カーソルキーを押して、複写するファイル名を選択します。

1. EDITOR 1

(2) FROM キーを押します。

1. EDITOR 1

(3) カーソルキーを押して、複写先のファイル番号を選択します。

5.

(4) COPY キーを押します。  
ファイル名が複写されます。

5. EDITOR 1

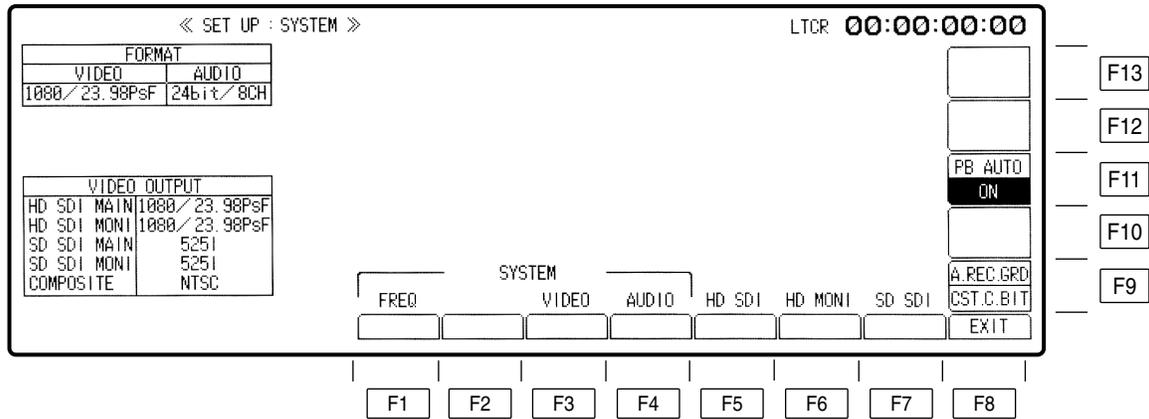
(5) F と F2 (SAVE) キーを同時に押します。

- ・この機能はファイル名だけを複写します。  
ファイルの内容の複写はできませんのでご注意ください。

# SYSTEM SET UP メニュー

**SET UP** **F4** キーを押すとメニューが出ます。

メニュー内に現在設定されているシステムフォーマットおよび映像出力フォーマットが表示されます。



# SYSTEM SET UP メニュー (139 ~ 140 ページの設定フローチャートおよび出力状態表を参照してください。)

別売品 HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P の有無により動作が異なります。

キー	項目	機能
F1	FREQ* SYSTEM の周波数 選択	システムの周波数を選択します。 F キーを押しながら F1 キーを押すと、周波数選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用して周波数を選択します。 59.94 : 59.94Hz システムを選択します。 23.98 : 23.98Hz システムを選択します。 24 : 24Hz システムを選択します。 50 : 50Hz システムを選択します。 BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。 59.94 を選択した場合は、ビデオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 23.98 または 24 を選択した場合は、HD_SDI_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。 50 を選択した場合は、1080/50i としてシステムフォーマットを確定し、ウィンドウを閉じます。
F2		
F3	VIDEO ビデオの記録フォー マット選択	ビデオの記録フォーマットを選択します。 F キーを押しながら F3 キーを押すと、ビデオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。(システム周波数設定が 59.94 のみ選択可能です。) 1080i : 1080/59.94i の記録フォーマットを選択します。 525i : 525/59.94i の記録フォーマットを選択します。 720P : 720/59.94p の記録フォーマットを選択します。 BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。 1080i または 720P を選択した場合は、オーディオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 525i を選択した場合は、525/59i としてシステムフォーマットを確定し、ウィンドウを閉じます。
F4	AUDIO オーディオの記録 フォーマット選択	オーディオの記録フォーマットを選択します。 F キーを押しながら F4 キーを押すと、オーディオの記録フォーマット選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。(1080/59i または 720/59p フォーマット選択時のみ選択可能です。) 24bit/8CH : オーディオ 8ch フォーマットを選択します。 20bit/4CH : オーディオ 4ch フォーマットを選択します。 BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。 システムフォーマットを 720P に選択した場合は、SD_SDI_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。 システムフォーマットを 1080i に選択した場合は、システムフォーマットを確定し、選択ウィンドウを閉じます。

\* FREQ 設定はカセット EJECT 状態でしか受け付けません。

カセット挿入状態で変更しようとした場合は、“EJECT CASSETTE TO CHANGE FORMAT” とワーニングが表示されます。

# SYSTEM SET UP メニュー

キー	項目	機能
F5	HD SDI	<p>HD_SD_I_MAIN 出力フォーマットを選択します。</p> <p>F キーを押しながら F5 キーを押すと、HD_SD_I_MAIN の出力フォーマット選択ウィンドウが開きます。</p> <p>カーソルキーを使用してフォーマットを選択します。(システム周波数設定が 23.98 または 24 設定のみ選択可能です。)</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF): 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を出力します。</p> <p>1080/59.94I(1080/60I): 1080/59.94i(1080/60i) を出力します。</p> <p>720/59.94P(720/60P): 1080/59.94p(720/60p) を出力します。</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF) を選択した場合は、HD_SD_I モニター出力の選択ウィンドウが開きます。</p> <p>1080/59I または 720/59P を選択した場合は、SD_SD_I_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。</p> <p>それ以外を選択した場合は、BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。</p>
F6	HD MONI	<p>HD_SD_I モニターに出力するフォーマットを選択します。</p> <p>F キーを押しながら F6 キーを押すと、HD_SD_I モニター出力の選択ウィンドウが開きます。</p> <p>カーソルキーを使用して出力フォーマットを選択します。(HD_SD_I 周波数設定が 23.98 または 24 のみ選択可能です。)</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF): 1080/23.98PsF(1080/24PsF) を出力します。</p> <p>1080/59.94I(1080/60I): 1080/59.94i(1080/60i) を出力します。</p> <p>1080/23.98PsF(1080/24PsF) を選択した場合は、SD_SD_I_MAIN の出力フォーマット選択ウィンドウが開きます。</p> <p>それ以外を選択した場合は、BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。</p>

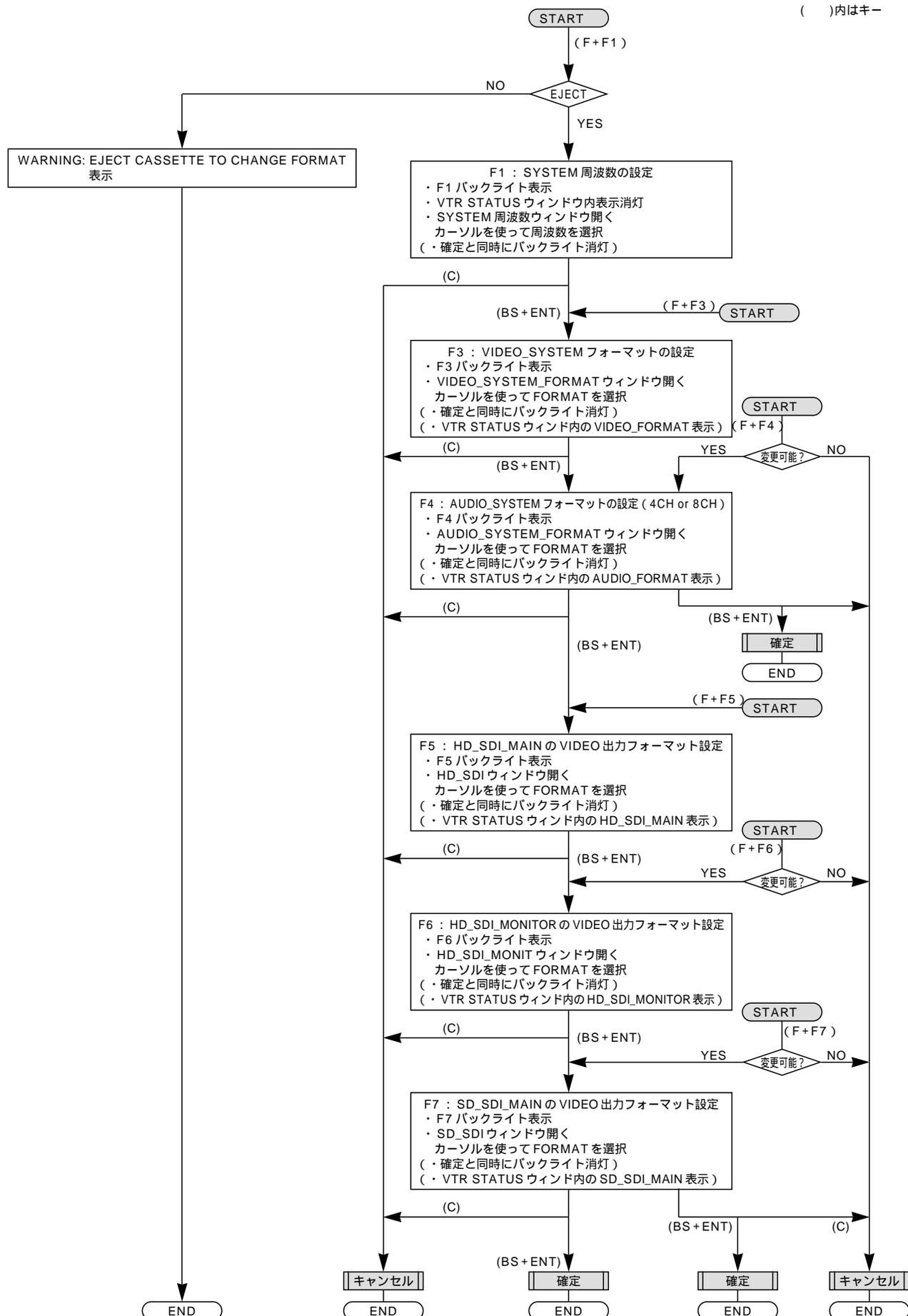
任意の選択ウィンドウが開いた状態で、C キーを押すことにより選択状態を以前設定したデータに戻すことができます。(BS キーを押しながら ENT キーを押して確定した状態でも、関連したウィンドウが開いた状態では上記のような動作になります。)

# SYSTEM SET UP メニュー

キー	項目	機能
F7	SD SDI	SD_SD_I_MAIN に出力するフォーマットを設定します。 F キーを押しながら F7 キーを押すと、SD_SD_I_MAIN 出力の選択ウィンドウが開きます。 カーソルキーを使用して出力フォーマットを選択します。[システムフォーマットが 720/59.94P または 1080/23.98PsF (HD_SD_I_MAIN とモニターが同一フォーマット設定) のみ選択可能です。] 525I : 525i を出力します。 525P : 525p を出力します。 BS キーを押しながら ENT キーを押すことにより確定になります。同時にウィンドウを閉じます。
F8	EXIT	SET UP メニューに戻ります。
F9	A. REC. GRD	記録 / 編集時、カセット側の Cbit 設定で記録 / 編集の禁止動作を選択します。 CST.C.BIT : Cbit 設定と SYSTEM メニュー設定に相違がある場合は、記録 / 編集動作に移行せず、同時にオペレーションエラーを表示します。 FREE : SYSTEM メニュー設定に従い、記録 / 編集動作に移行します。Cbit 設定と SYSTEM メニューに相違があり、記録 / 編集動作を実行しようとした場合は、オペレーションメッセージが表示されます。
F10		
F11	PB AUTO	テープ再生時にカセット側の Cbit 設定で 4CH / 8CH モード切り替えを選択します。 ON : Cbit 設定により再生時の 4CH / 8CH モードを自動的に切り替えます。(Cbit が UP 状態では 4CH、DOWN 状態では 8CH で動作します。) テープフォーマットとカセットの Cbit 設定に相違がある場合は、ワーニングメッセージが表示されます。 OFF : Cbit の状態に関係なく SYSTEM メニューで設定されたモードで再生します。テープフォーマットと SYSTEM メニュー設定に相違がある場合はワーニングメッセージが表示されます。
F12 ~ F13		

# SYSTEM SET UP メニュー

( )内はキー



# SYSTEM SET UP メニュー

## SYSTEM FORMAT&ビデオ出力状態表

[ HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P (別売品) 装着時 ]

SYSTEM フォーマットフロント設定							HD_SDI_OUT	HD_MONI_OUT	SD_SDI_OUT	SD_SDI_MONI	CMPST	
F1: FREQ	F3: VIDEO	F4: AUDIO	F5: HD SDI	F6: HD MONI	F7: SD SDI							
59.94	1080I	4ch	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(525i)	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i	525/59.94i	NTSC		
		8ch										
	720P	4ch	(720/59.94p)	(720/59.94p)	525i	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i				
		525p			525/59.94p							
		8ch			525i			525/59.94i				
525I	(4ch)	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(525i)	1080/59.94i	1080/59.94i	525/59.94i					
23.98	(1080PsF)	(8ch)	1080/23.98psf	1080/23.98psf	525i	1080/23.98psf	1080/23.98psf	525/59.94i	525/59.94i	NTSC		
					525p			525/59.94p	525/59.94i	NTSC		
					1080/59.94i			(1080/59.94i)	(****)	1080/59.94i	1080/59.94i	無信号
			720/59.94p	720/59.94p	720/59.94p	720/59.94p	525i	720/59.94p	720/59.94p	525/59.94i	525/59.94i	NTSC
							525p			525/59.94p	525/59.94i	NTSC
							525i			525/59.94i	525/59.94i	NTSC
24	(1080PsF)	(8ch)	1080/24psf	1080/24psf	(****)	1080/24psf	1080/24psf	無信号	無信号	無信号		
				1080/60i	(1080/60i)		(****)				1080/60i	1080/60i
			720/60p	720/60p	(****)	720/60p	720/60p					
50	(1080I)	(8ch)	(1080/50i)	(1080/50i)	(625i)	1080/50i	1080/50i	625/50i	625/50i	PAL		

## SYSTEM FORMAT&ビデオ出力状態表

[ HD-SD フォーマットコンバータ基板 AJ-UDC3700P (別売品) を装着していない時 ]

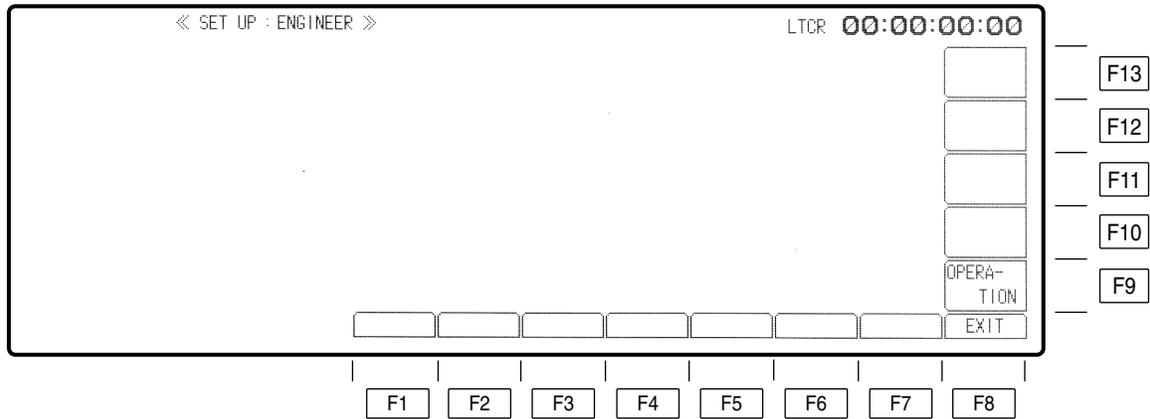
SYSTEM フォーマットフロント設定							HD_SDI_OUT	HD_MONI_OUT	SD_SDI_OUT	SD_SDI_MONI	CMPST
F1: FREQ	F3: VIDEO	F4: AUDIO	F5: HD SDI	F6: HD MONI	F7: SD SDI						
59.94	1080I	4ch	(1080/59.94i)	(1080/59.94i)	(****)	1080/59.94i	1080/59.94i	無信号	無信号	無信号	
		8ch			(****)						
	720P	4ch	(720/59.94p)	(720/59.94p)	(****)	720/59.94p	720/59.94p				
		8ch			(****)						
525I	(4ch)	(****)	(****)	525i	BLACK	BLACK	525/59.94i	525/59.94i	NTSC		
23.98	(1080PsF)	(8ch)	(1080/23.98psf)	(1080/23.98psf)	(****)	1080/23.98psf	1080/23.98psf	無信号	無信号	無信号	
24	(1080PsF)	(8ch)	(1080/24psf)	(1080/24psf)	(****)	1080/24psf	1080/24psf				
50	(1080I)	(8ch)	(1080/50i)	(1080/50i)	(****)	1080/50i	1080/50i				

< ノート >

( ) 内は自動的に設定されますので選択することはできません。

# ENGINEER SET UP メニュー

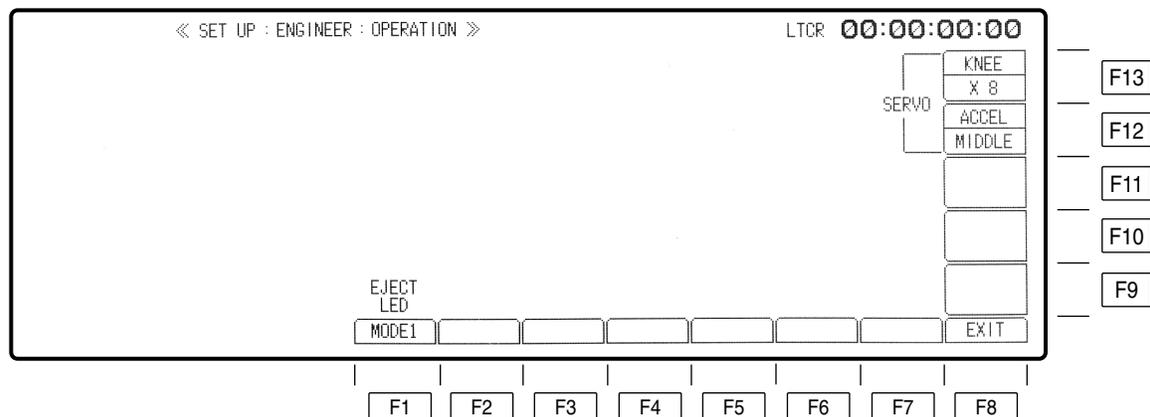
SET UP F13 キーと F キーを同時に押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	SET UPメニュー - に戻ります。
F9	OPERATION	OPERATION ENGINEER SET UPメニューに移行します。
F10 ~ F13		

# OPERATION ENGINEER SET UP メニュー

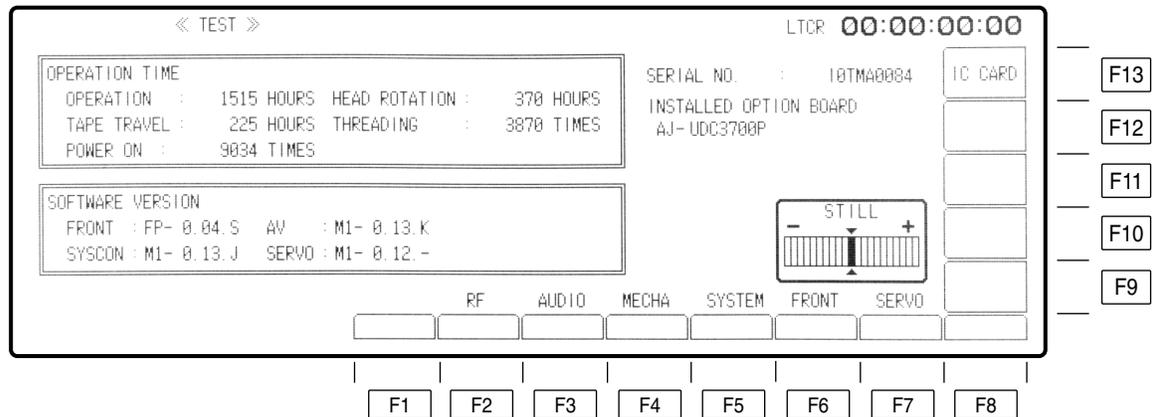
SET UP F13 キーと F キーを同時に押し、F9 キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	EJECT LED	EJECT ボタンの LED の点灯条件を選択できます。 MODE_1 : EJECT モードに移行した時からカセットを排出する期間、またアンローディング完了状態の時に点灯します。(アンローディング期間およびEJECT 状態で点灯。) MODE_2 : EJECT モードに移行した時からカセットを排出されるまでの間に点灯します。(アンローディング期間のみ点灯。)
F2 ~ F7		
F8	EXIT	ENGINEER SET UP メニューに戻ります。
F9 ~ F11		
F12	ACCEL	FF/REW (SHTL モード時) 動作時、F13 (KNEE) で選択した倍速未満でのリール速度の加速の度合いを選択します。 MAX : 常に最大加速します。 MIDDLE : KNEE までの加速度を中程度にします。(DEFAULT 値です。) MIN : KNEE までの加速度を低くします。 ・ MAX 選択時は常に最大加速のため KNEE はありません。 ・ L カセット使用時は KNEE はありません。
F13	KNEE	FF/REW (SHTL モード時) 動作時、F12 (ACCEL) で選択した加速から最大加速に移行する倍速を選択します。 × 8 : 8 倍速 × 15 : 15 倍速 × 20 : 20 倍速 × 30 : 30 倍速

# TEST メニュー

**TEST** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1		
F2	RF	RF TEST メニューに移行します。
F3	AUDIO	AUDIO TEST メニューに移行します。
F4	MECHA	MECHA TEST メニューに移行します。
F5	SYSTEM	SYSTEM TEST メニューに移行します。
F6	FRONT	TEST FRONT メニューに移行します。
F7	SERVO	SERVO TEST メニューに移行します。
F8 ~ F12		
F13	IC CARD	TEST IC CARD メニューに移行します。

# TEST メニュー

---

## OPERATION TIME 表示

VTR の使用頻度を表示します。

OPERATION : 総通電時間  
HEAD ROTATION : ヘッドドラム通算回転時間  
TAPE TRAVEL : テープ通算走行時間  
THREADING : ローディング / アンローディング総繰り返し回数  
POWER ON : 電源投入回数

OPERATION TIME			
OPERATION	: 1515 HOURS	HEAD ROTATION	: 370 HOURS
TAPE TRAVEL	: 225 HOURS	THREADING	: 3870 TIMES
POWER ON	: 9043 TIMES		

## SOFTWARE VERSION

各ソフトウェアのバージョンを表示します。

FRONT : フロントソフトウェア  
SYSCON : シスコンソフトウェア  
AV : AV コントロールソフトウェア  
SERVO : サーボソフトウェア

SOFTWARE VERSION			
FRONT	: FP-0.04.F	AV	: M1-0.13.0
SYSCON	: M1-0.13.M	SERVO	: M1-0.13.-

## シリアル番号表示

本機のシリアル番号を表示します。

SERIAL NO :

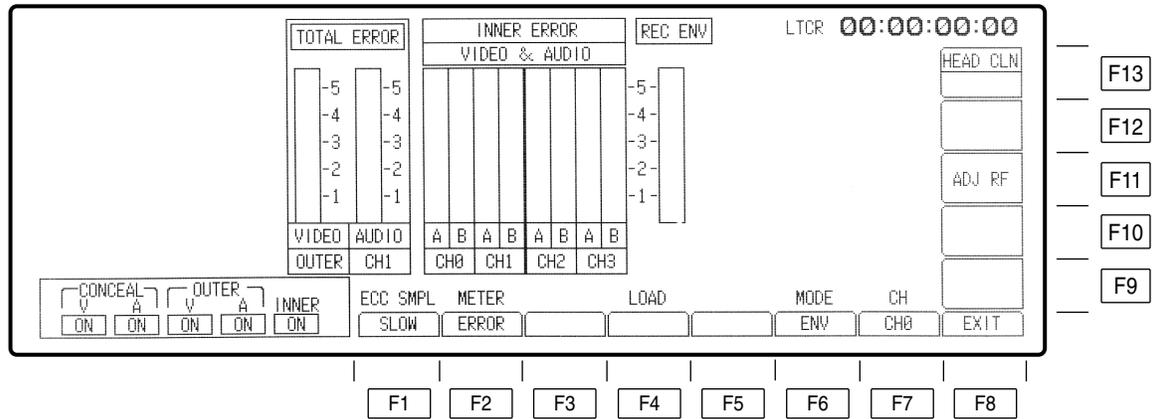
## オプションボード表示

本体に装着されているオプションボードを表示します。

INSTALLED OPTION BOARD  
AJ-UDC3700P

# RF TEST メニュー

TEST F2 キーを押すとメニューが出ます。



# RF TEST メニュー

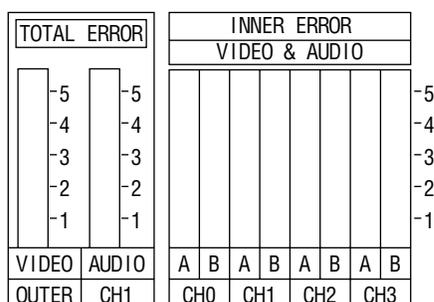
キー	項目	機能
F1	ECC SMPL エラーレート測定 時間の変更	FAST : 測定間隔は 20 フィールド。 SLOW : 測定間隔は 2 秒。
F2	METER エラーレートの レベル表示切替	ERROR : インナーエラーのレベルを表示します。 ENV : エンベロープのレベルを表示します。
F3		
F4	LOAD デフォルト値のロード	全ての RF 調整値を出荷時の設定に戻します。 ( F キーと同時に押すと動作します。)
F5		
F6	MODE	ウェーブフォームモニター ( WFM ) 出力を選択します*。 EYE : アイパターンを出力します。 ENV : エンベロープを出力します。 CONFI : コンフィ CTL を出力します。 R/P : R/P の CTL を出力します。 TC : TC 波形を出力します。
F7	CH	EYE/ENV の CH を選択します*。 CH0 : CH0 の EYE または ENV を選択します。 CH1 : CH1 の EYE または ENV を選択します。 CH2 : CH2 の EYE または ENV を選択します。 CH3 : CH3 の EYE または ENV を選択します。
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F10		
F11	ADJ RF RF 調整値表示	RF の調整値が表示され、F6、F7、F11、F12 の機能が RF 調整値表示 モードに変わります。 「RF 調整値の表示」( 148 ページ ) を参照してください。
F12		
F13	HEAD CLN マニュアルヘッド クリーニング	押している間、ヘッドクリーニングを実行します。 ( 最大 20 秒でしかヘッドクリーニングは動作しません。 ) 操作 1 . VTR を PLAY モードにします。 2 . F13 ( HEAD CLN ) キーを押します。 ヘッドクリーニングは PLAY、JOG、VAR モードの時などに動作します。

\* F11 で RF 調整値表示モードに入った時は、直前の WFM 選択が保持されます。

# RF TEST メニュー

## エラーレート表示

エラーレート（エラー発生率）には 1) TOTAL ERROR と 2) INNER ERROR の表示があります。



### 1) TOTAL ERROR (トータルエラー)

記録時は、同時再生信号のエラーレートを表示します。

再生時は、再生信号のエラーレートを表示します。

オーディオのチャンネル切り替えはカーソルセンターキーを押して切り替えます。

### 2) INNER ERROR (インナーエラー)

8 個のヘッドについて、インナーエラー訂正後のエラーレートを表示します。

「VIDEO & AUDIO」と「AUDIO」の切り替えは以下のようにして行います。

1. カーソルセンターキーを押してカーソルを表示します。

2. Fキーとカーソルキー（◀または▶）を同時に押し、カーソルをINNER ERRORに移動します。

3. カーソルセンターキーを押して「AUDIO & VIDEO」または「AUDIO」を選びます。

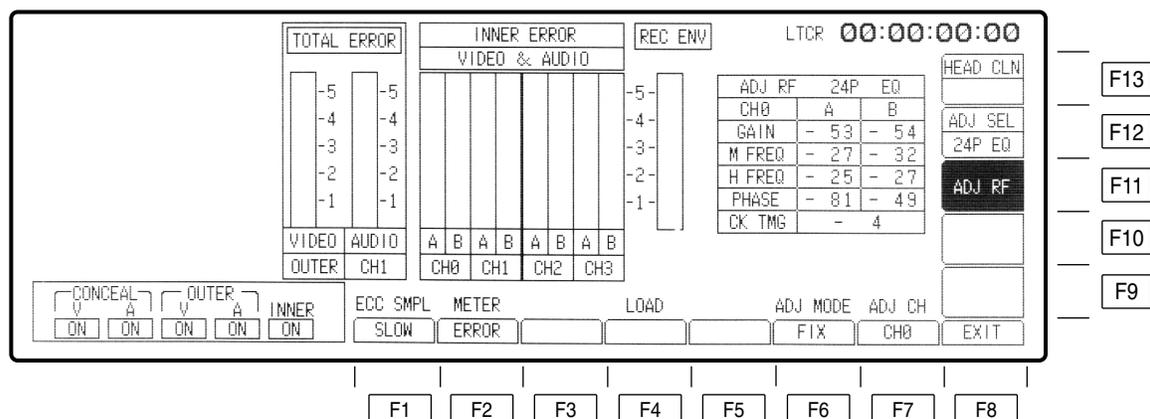
4. ENTキーを押して確定させます。

## 訂正・修正の状態



- ・上記のエラーレート表示からFキーとカーソルキーを同時に押してハイライト表示部分を移動させます。
- ・カーソルで CONCEAL V..A.、OUTER V.A または INNER に合わせ、カーソルセンターキーを押すと ON/OFF の切り替えが可能です。
- ・本設定はテストメニューを抜けると強制的に ON となりますが、再生映像・音声にノイズが入りますので、通常は絶対 OFF にしないでください。

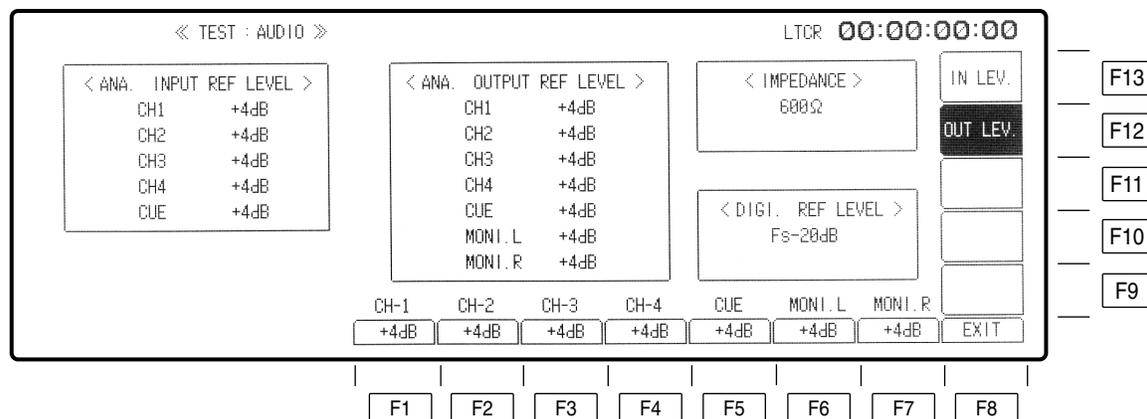
# RF 調整値の表示メニュー



キー	項目	機能
F1 ~ F5		
F6	ADJ MODE アジャストモード	FIX : 現在の調整値を保持します。リモート調整によりパラメータを再調整することはできませんが、本機で値を変更することはできません。
F7	ADJ CH	表示するチャンネルを選択します。 EQ/REC/PLL : CH0、CH1、CH2、CH3
F8 ~ F10		
F11	ADJ RF RF 調整値表示	F11 キーを押すと、F12 キーに ADJ SEL が表示され、選択したパラメータの現調整値が表示されます。F6 キーで調整モードを、F7 キーでチャンネルを選びます。
F12	ADJ SEL	<p>選択した RF の調整値が表示されます。</p> <p>EQ : 再生イコライザの調整値を表示します。</p> <p>REC : 記録調整値を表示します。</p> <p>PLL : PLL の相対速度調整値を表示します。</p> <p>F12 キーを押すと、**** EQ **** PLL **** REC **** EQ ...とトグルに表示が切り替わります。</p> <p>FキーとF12キーを同時に押すと 6014 ** 6018 ** 501 ** 24P ** D3 ** 6014 ** ...とトグルに表示が切り替わります。これらの調整値は各フォーマットの RF 系調整値を表示します。(サービスマン調整用です。)</p>

# AUDIO TEST メニュー

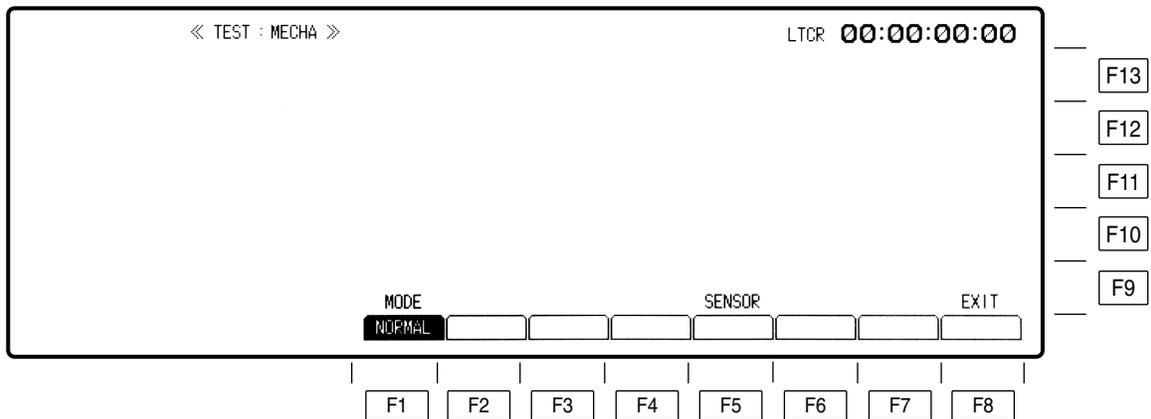
TEST F3 キーを押すとメニューが出ます。



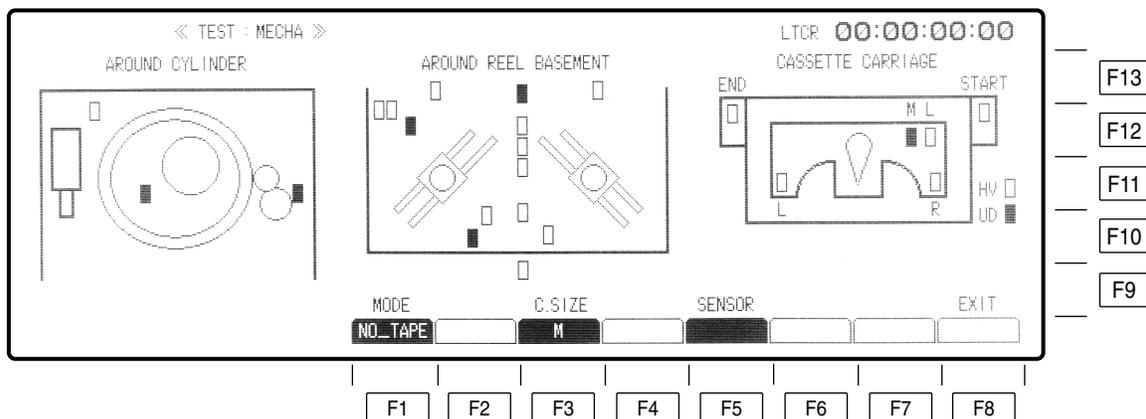
キー	項目	機能
F1	CH-1	CH1 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F2	CH-2	CH2 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F3	CH-3	CH3 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F4	CH-4	CH4 アナログ入出力の基準レベルを設定します。
F5	CUE	CUE 入出力の基準レベルを設定します。
F6	MONI. L	モニター L チャンネルの出力基準レベルを設定します。
F7	MONI. R	モニター R チャンネルの出力基準レベルを設定します。
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9	REF. LEV	PCM オーディオ基準レベルを設定します。(サービスマンモード時のみ可能) ・ F キーと F9 キーを同時に押すと基準レベル (Fs) が -18dB と -20dB でトグル変化します。
F10	IMPED.	入力インピーダンスを設定します。(サービスマンモード*時のみ可能) ・ F キーと F10 キーを同時に押すと入力インピーダンスが 600 と HIGH でトグル変化します。
F11		
F12	OUT LEV.	アナログ出力基準レベル設定モードにします。 ・ F キーと BS キーと F12 キーを同時に押すと F1 ~ F7 のメニュー名称を表示し、切り替えを受け付けます。
F13	IN LEV.	アナログ入力基準レベル設定モードにします。 ・ F キーと BS キーと F12 キーを同時に押すと F1 ~ F5 のメニュー名称を表示し、切り替えを受け付けます。

# MECHA TEST メニュー

TEST F4 キーを押すとメニューが出ます。



F5 キーを押すと下のメニューが出ます。



# MECHA TEST メニュー

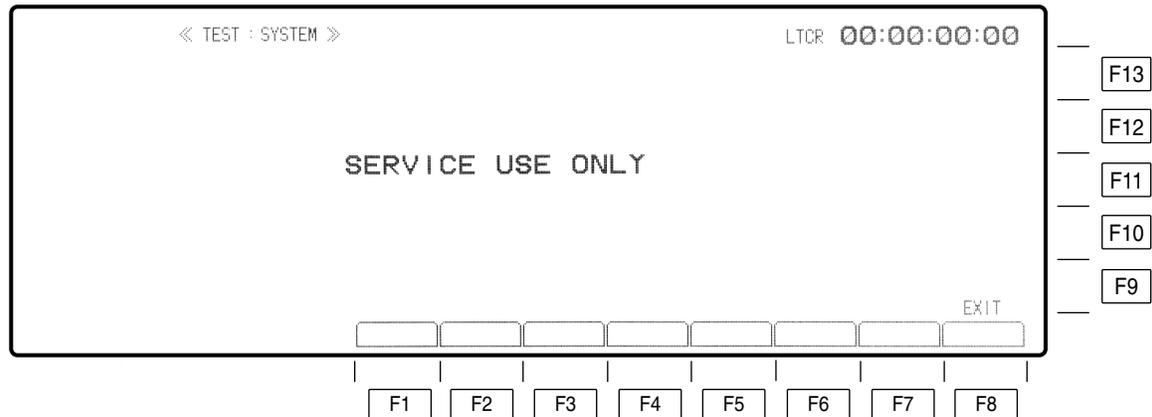
---

キー	項目	機能
F1	MODE テープなしローディング	NORMAL : 通常動作です。 NO-TAPE : カセットテープなしでローディングが可能です。STOP ボタンを押すと、ローディングを開始します。カセットはF3キーで選択します。中止するときはEJECT ボタンを押します。
F2		
F3	C.SIZE カセットサイズを選択	F1 キーで「NO-TAPE」を選んだときの想定カセットのサイズを選択します。L/M/S の各サイズのカセットテープを選びます。
F4		
F5	SENSOR センサーの動作確認	キーを押してハイライトされると、メニューにセンサー画面を表示します。シリンダ、リール台、フロントローディングの各周辺のセンサー動作を確認します。特にサービスマンのチェック用キーです。 F8 (EXIT) キーを押して元の画面に戻ってください。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# SYSTEM TEST メニュー

**TEST** **F5** キーを押すとメニューが出ます。

このメニューはサービスマン用の調整用キーです。一般のユーザーの方が操作することはできません。  
F8 キーを押して TEST メニューに戻ってください。



キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	TESTメニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# SERVO TEST メニュー

TEST F7 キーを押すとメニューが出ます。

The screenshot displays the SERVO TEST menu with the following components:

- REEL TORQUE:**

LOADING	+115
T-REEL FWD	+103
LOOSING	+120
- AT:**

	A CH	B CH
NATURAL POS	+ 30	+ 30
STRN DC OS	+ 5	- 1
STRN GAIN	+ 52	+ 91
RESONANCE	+170	+203
DRIVE GAIN	+139	+137
GROUP DELAY	+ 63	+ 49
- TOTAL ERROR:** A vertical bar chart showing error levels from -5 to -1 for VIDEO and AUDIO channels.
- INNER ERROR VIDEO & AUDIO:** A grid of vertical bar charts for VIDEO (A, B) and AUDIO (CH0, CH1, CH2, CH3) channels.
- REC ENV:** A vertical bar chart showing recording environment levels from -5 to -1.
- LTCR:** 00:00:00:00
- TRACKING:** 0
- MECHA:** HSW: NORMAL LINEAR, TC DELAY: AUTO OFF
- Buttons:**
  - ADJ ENABLE (F13)
  - BIMORPH INIT (F12)
  - TRACKING OPT. ONCE (F11)
  - MECHA (F10)
  - MECHA (F9)
- Bottom Row:** TORQUE, DATA SEND, MEASURE OFF, AT, METER ERROR, PG SHIFT +1950, ADJ RATE FINE, EXIT
- Function Keys:** F1, F2, F3, F4, F5, F6, F7, F8

# SERVO TEST メニュー

キー	項目	機能
F1	TORQUE リールトルク調整	サービスマンの調整用キーです。
F2	DATA SEND トルクデータの転送	サービスマンの調整用キーです。
F3	MEASURE メジャー	サービスマンの調整用キーです。
F4	AT ATヘッドの調整	サービスマンの調整用キーです。
F5	METER	ERROR : インナーエラーのレベルを表示します。 ENV : エンベロープのレベルを表示します。
F6	PG SHIFT PGシフターの調整	サービスマンの調整用キーです。
F7	ADJ RATE アジャストレート	サービスマンの調整用キーです。
F8	EXIT	TESTメニューに戻ります。
F9	MECHA メカ調整	サービスマンの調整用キーです。
F10	TRACKING トラッキング調整	通常時のトラッキング調整は unnecessary です。編集時にトラッキングずれの場合に調整します。 VAR : 手動でトラッキングを調整します。「トラッキングの手動調整」(97ページ)を参照。 FIX : トラッキングを手動調整のセンター位置に固定します。 OPT. ONCE : カセット挿入後、最初の編集で、IN点までのPLAY中に最適化を行います。それ以後は最適化は行いません。再度最適化を行うこともできます。「トラッキングの自動調整」(96ページ)を参照。 OPT. AUTO : 編集のたびに毎回IN点までのPLAY中に最適化を行います。「トラッキングの自動調整」を参照。
F11		
F12	BIMORPH INIT AT圧電素子の ヒステリシス除去	サービスマンの調整用キーです。
F13	ADJ ENABLE	サービスマンの調整用キーです。

# SERVO TEST メニュー

---

## エラーレート表示

エラーレートには 1) TOTAL ERROR と 2) INNER ERROR の表示があります。

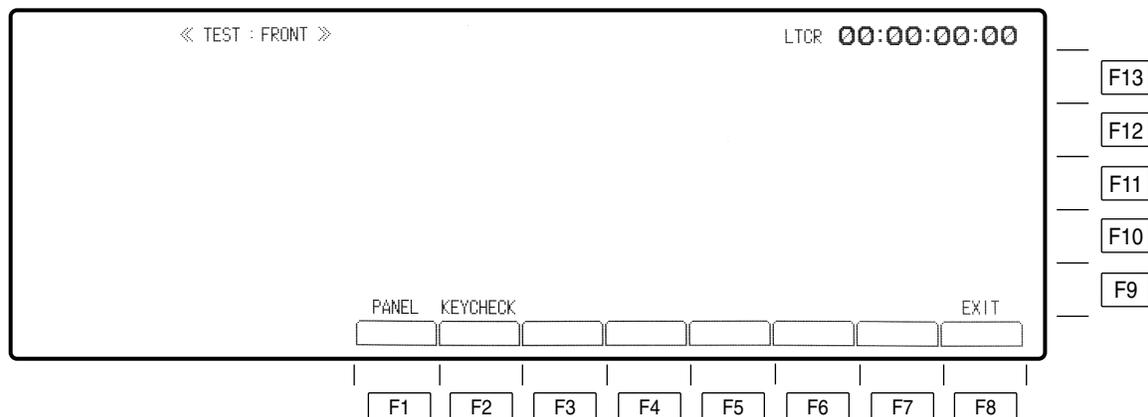
詳しくは RF TEST メニューのエラーレート表示の説明 (147 ページ) を参照してください。

## トラッキング調整

トラッキングの調整は INSERT/ASSEMBLE MANUAL EDIT SET UP メニュー (96 ページ) を参照してください。

# TEST FRONT メニュー

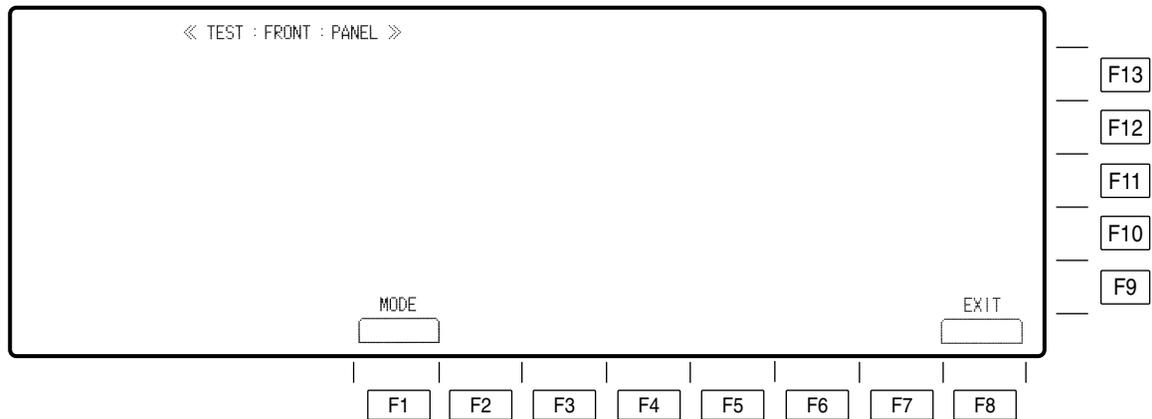
**TEST** **F6** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項 目	機 能
F1	PANEL ディスプレイの表示 チェック	TEST FRONT PANEL メニューに移ります。
F2	KEYCHECK フロントパネルのキー チェック	TEST KEY CHECK メニューに移ります。
F3 ~ F7		
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# TEST FRONT PANELメニュー

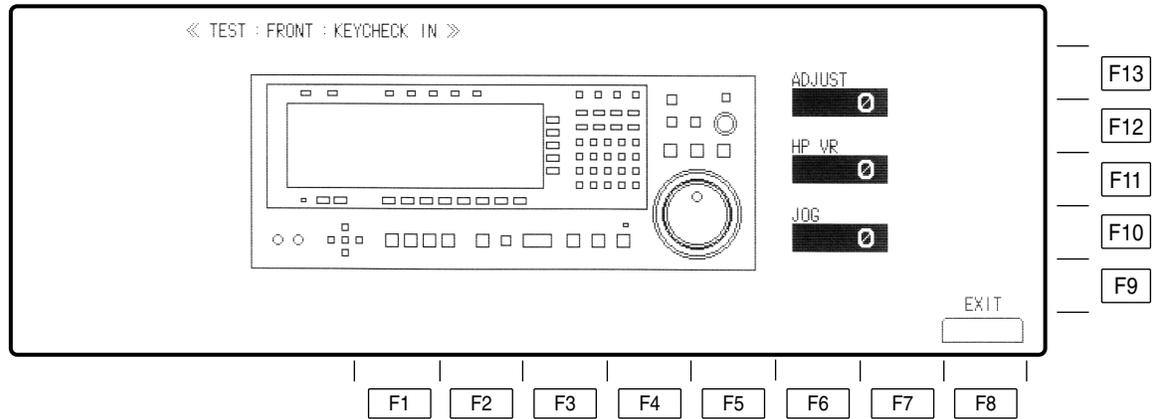
TEST F6 F1 キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	MODE 表示ドットチェック	ディスプレイパネル全体を一定パターンで点灯させ、表示ドットのチェックを行います。キーを押すたびに、12種類のパターンを表示します。
F2 ~ F7		
F8	EXIT	TEST FRONTメニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# TEST FRONT KEY CHECKメニュー

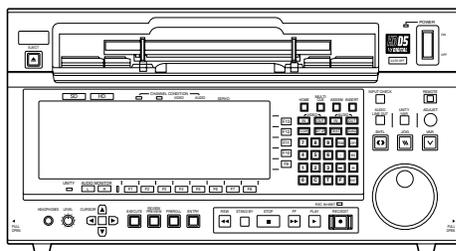
EJECT時、**TEST** **F6** **F2** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	TEST FRONT メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

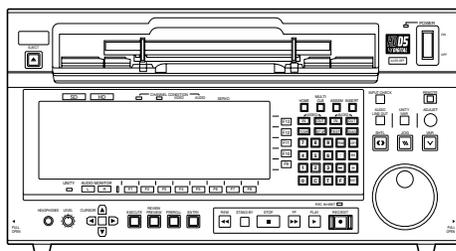
# TEST FRONT KEY CHECKメニュー

## ダイヤル/つまみ



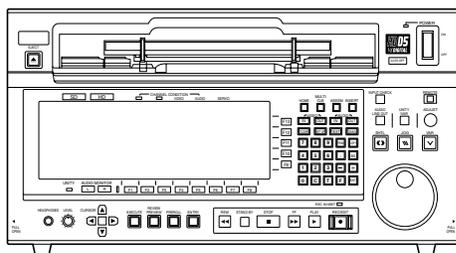
ADJUST VR、ヘッドホンつまみ、サーチダイヤルを回すと、カウントされたパルス数を表示します。

## LED



F1 キーを押すたびにパネル上のLEDを順番に点灯させ、LEDのチェックを行います。

## キー



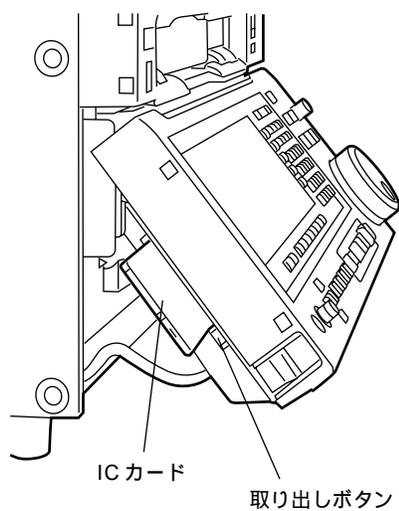
パネル上のキー（ボタン）を押すと、メニュー画面の該当するキーがハイライトされ、同時にブザーが鳴ります。これで、フロントアイコンがキーを認識したことを確認できます。

# IC カードの挿入

---

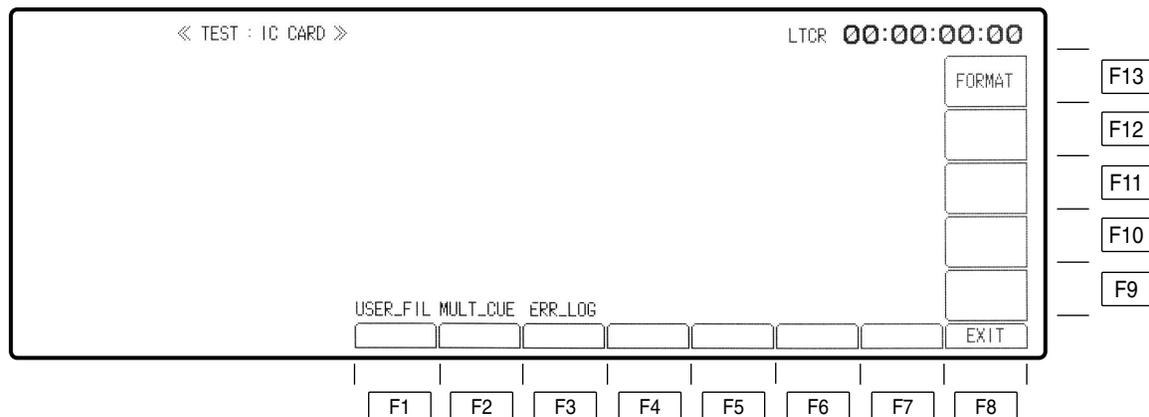
フロントパネルの左側の裏に IC カードの挿入口があります。

TEST IC CARD メニューを使用するときは IC カードを挿入してからご使用ください。



# TEST IC CARD メニュー

**TEST** **F13** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	USER_FIL	IC カードを使ったユーザーファイルの管理を行います。 F1 キーを押すと、TEST IC CARD USER FILE メニューに移行します。 ・カレント（現在のデッキの状態）のロード/セーブ、及び全登録ファイルのロード/セーブ機能があります。 ・デッキにユーザーファイルを転送するとき、SYS_H、SYS_SC を一緒に送るかどうかを選択することができます。
F2	MULT_CUE	100 個の CUE_POINT (MULTI_CUE) を IC カードにロード/セーブします。 F2 キーを押すと、TEST IC CARD MULTI CUE メニューに移行します。 ・全てのページを一度に転送または転送するページを選択することができます。
F3	ERR_LOG	ワーニング発生時、デッキモード、タイムコード時間、種類をメモリーする機能があります。 F3 キーを押すと、TEST IC CARD ERROR_LOG メニューに移行します。 ・50 ステップのデータをメモリーする機能があります。 ・メモリーバッファ一杯になったとき、新規ワーニングを、古いものを消して更新するかどうかの切り替え機能があります。 ・このデータを IC カードにメモリーする機能があります。 ・IC カードのデータをモニターする機能があります。
F4 ~ F7		
F8	EXIT	TEST メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	FORMAT	IC カードのフォーマットを行います。IC カードのデータは全て消えますので注意してください。 F キーと C キーと F13 (FORMAT) キーの同時押しで IC カードのフォーマットを行います。

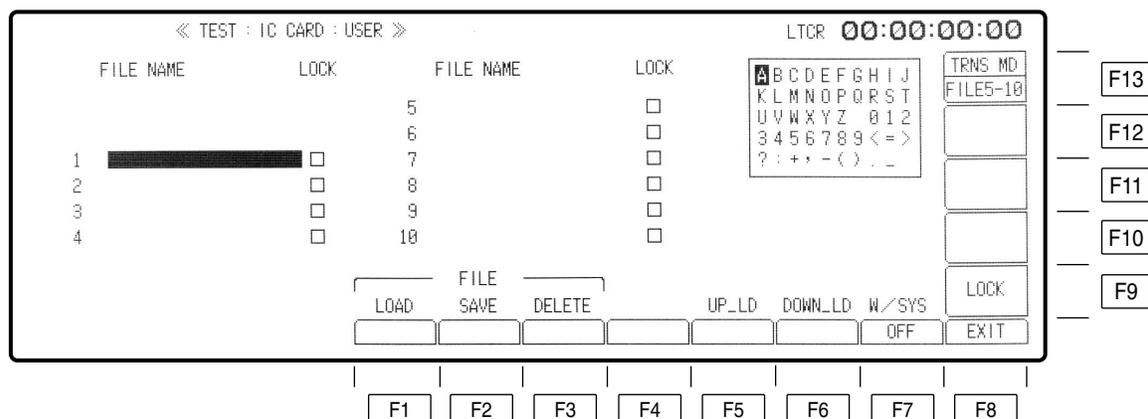
## <ノート>

本機でフォーマットした IC カードを、AJ-HD2000/2700 等の他機種へ装備することは避けてください。逆に、他機種でフォーマットされた IC カードを本機へ装備することも避けてください。

ファイル構造が異なり VTR の動作異常を引き起こす可能性があります。

# TEST IC CARD USER メニュー

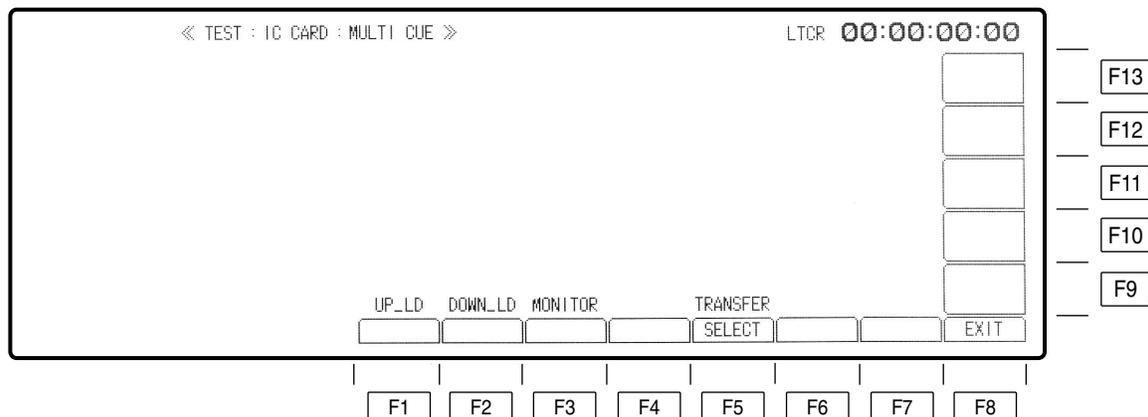
**TEST** **F13** **F1** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	LOAD	ICカードのユーザーファイル呼び出します。(Fキーと同時押しで実行)
F2	SAVE	ICカードのユーザーファイルを登録します。(Fキーと同時押しで実行)
F3	DELETE	ICカードのユーザーファイルを削除します。(Fキーと同時押しで実行)
F4		
F5	UP_LD	ICカードからVTRへ登録されているファイルをロードします。 (Fキーと同時押しで実行)
F6	DOWN_LD	VTRからカード登録されているファイルをロードします。 (Fキーと同時押しで実行)
F7	W/SYS	ICカードからVTRへユーザーファイル転送時、SYS H, SYS SCを、カードのデータを送るかVTRのオリジナルデータを使うかの選択をします。 ON : カードデータを送ります。 OFF : VTRデータのオリジナルデータを使います。 この機能はLOAD (F1)、UP_LD (F5) 時のみ有効です。
F8	EXIT	TEST IC CARDメニューに戻ります。
F9	LOCK	ユーザーファイルのロック解除、設定を行います。 (Fキーと同時押しで実行)
F10 ~ F12		
F13	TRNS MD	ICカードからVTRへ登録されているファイルをロードする場合に、FILE5から10をロードするかFILE1から10の全てをロードするか選択します。 FILE5-10 : ICカードからVTRへFILE5から10をロードします。 ALL : ICカードからVTRへFILE1から10の全てをロードします。 ALLにするとときはF13キーと、FキーとCキーの同時押しです。 ・この機能はUP_LD (F5) 時のみ有効です。

# TEST IC CARD MULT CUE メニュー

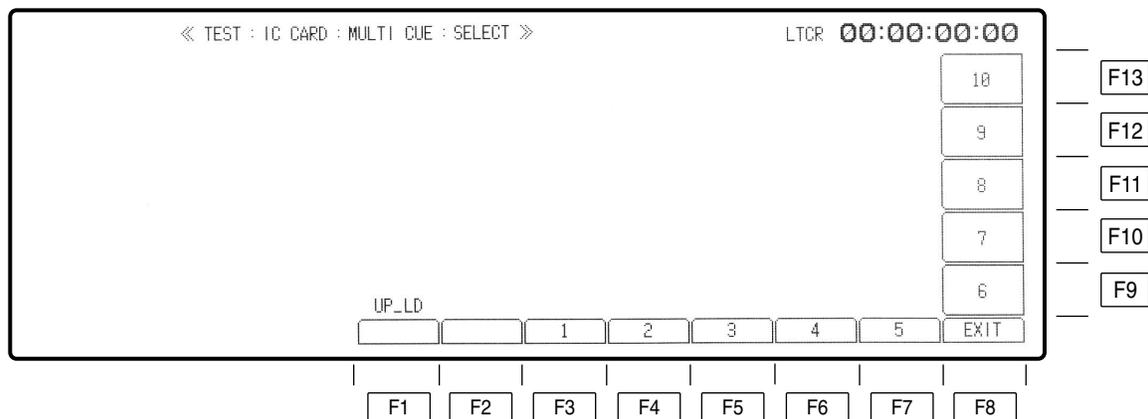
TEST F13 F2 キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	UP_LD	IC カードから VTR へ登録されているファイルをロードします。 ・ F キーと同時押しで実行します。 もし書き込み禁止のページがあるときは、“PROTECTED PAGE” のメッセージを表示し実行しません。もしどうしても実行したいときは禁止ページを解除するか、禁止ページに転送するのを中止してください。 実行後は自動的にデッキの MULTI CUE メニューへ移行します。
F2	DOWN_LD	VTR から IC カードへ登録されているファイルをロードします。実行後は自動的に MONITOR メニューへ移行します。(“F” キーと同時押しで実行します。)
F3	MONITOR	IC カードにセーブされている MULTI_CUE データを表示します。
F4		
F5	TRANSFER	IC カードからデッキへ UP_LD するとき、全て転送するか、ページ毎に選択するかを切り替えます。 ALL : 全て転送します。 SELECT : UP_LD を実行したとき、ページ選択メニューへ移行します。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	TEST IC CARD メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

# TEST IC CARD MULTI CUE SELECT メニュー

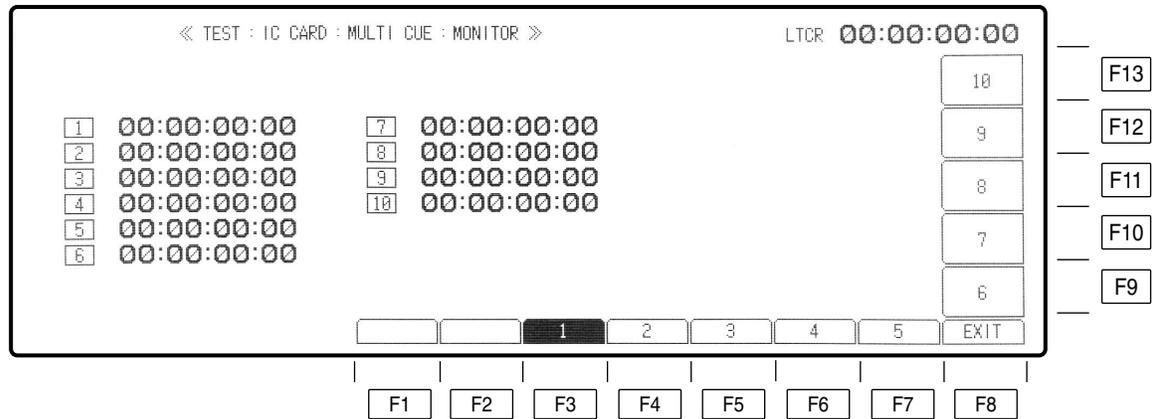
TEST F13 F2 F と F1 キーを同時に押すとメニューが出ます。



キー	項 目	機 能
F1	UP_LD	転送するページを選択した後に“UP_LD”キーを押してICカードからVTRへ選択されているファイルをロードします。
F2		
F3 ~ F7		転送するページを選択します。
F8	EXIT	TEST IC CARD MULTI CUE メニューに戻ります。
F9 ~ F13		転送するページを選択します。

# TEST IC CARD MULTI CUE MONITOR メニュー

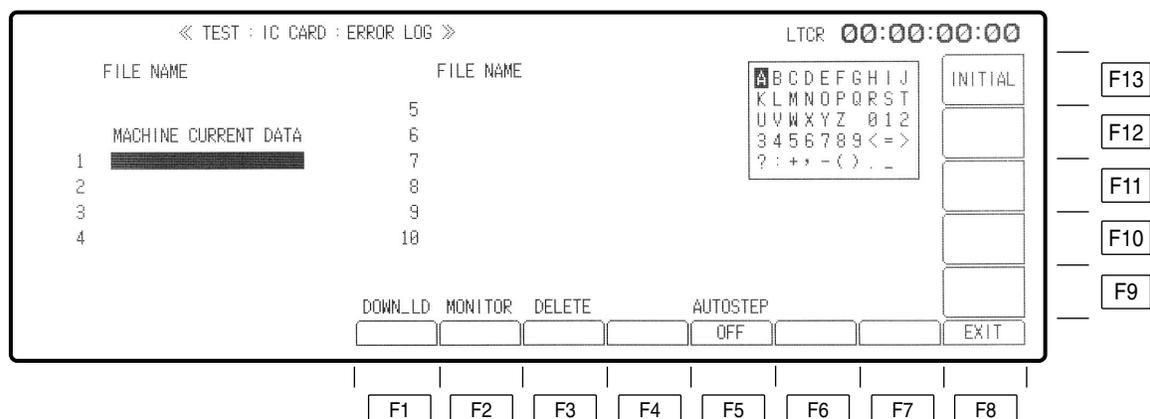
**TEST** **F13** **F2** **F3** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項 目	機 能
F1 ~ F2		
F3 ~ F7	1 ~ 5 キュー番号の指定	
F8	EXIT	TEST IC CARD MULTI CUE メニューに戻ります。
F9 ~ F13	6 ~ 10 キュー番号の指定	

# TEST IC CARD ERR LOG メニュー

**TEST** **F13** **F3** キーを押すとメニューが出ます。



キー	項目	機能
F1	DOWN_LD	VTR から IC カードへ現在メモリーしているデータをロードします。 このとき合わせて SERIAL No、ソフトバージョンとオペレーション時間もセーブします。MACHINE CURRENT DATA (IC CARD にセーブされているファイルまたは VTR の現在のデータ) 以外のファイルでは ERROR LOG データが無いときは、“ERROR” 表示を行いダウンロードできません。 ・ F キーと同時押しで実行します。
F2	MONITOR	IC カードにセーブされている ERROR LOG データを表示します。 MACHINE CURRENT DATA (IC CARD にセーブされているファイルまたは VTR の現在のデータ) をダウンロード後、現在の VTR にメモリーされている ERROR LOG データを表示します。 ・ F キーと同時押しで実行します。
F3	DELETE	IC カードにセーブされている ERROR LOG データを消去します。 ・ F キーと同時押しで実行します。
F4		
F5	AUTOSTEP	ワーニングがバッファ容量を超えたとき、古いものから順に消して更新するかどうか選択をします。 ON : 常に、更新します。(50 番目のステップが最新のデータです。) OFF : 容量が一杯になった場合は、更新しません。
F6 ~ F7		
F8	EXIT	TEST IC CARD メニューに戻ります。
F9 ~ F12		
F13	INITIAL	現在、VTR にメモリーしている過去の ERROR LOG データと現在表示中の ERROR LOG データを全て消去します。 INITIAL 実行後、ERROR LOG データが無い状態でダウンロードすると ERROR LOG データが無いため、“ERROR” を表示し、IC カードへのダウンロードはできません。ただし MACHINE CURRENT DATA へのダウンロードは可能です。

# TEST IC CARD ERR LOG MONITOR メニュー

**TEST** **F13** **F3** **F2** キーを押すとメニューが出ます。

VTRの現在のLOGデータを確認する場合は、“MACHINE CURRENT DATA”をダウンロードした後にモニターします。

<< TEST : IC CARD : ERROR LOG : MONITOR >>  
 LTCR 00:00:00:00  
 SERIAL NO. : 10TMA0004  
 MODE OFF\_TAPE TIME CODE  
 SOFTWARE VERSION  
 NO WARNING  
 EJECT 00:00:00:00  
 FRONT : FP- 0.04.S  
 SYSCON : M1- 0.13.J  
 AV : M1- 0.13.K  
 SERVO : M1- 0.12.-  
 OPERATION TIME  
 OPERATION : 1515 HOURS  
 HD ROTATION : 370 HOURS  
 TAPE TRAVEL : 225 HOURS  
 THREADING : 3870 TIMES  
 POWER ON : 9035 TIMES  
 TOTAL 1 / 1  
 [EXIT]

F13  
 F12  
 F11  
 F10  
 F9  
 F1 F2 F3 F4 F5 F6 F7 F8

キー	項目	機能
F1 ~ F7		
F8	EXIT	TEST IC CARD ERROR LOG メニューに戻ります。
F9 ~ F13		

- ・フロントパネルの表示可能個数より多くエラーが発生している場合は、スクロールキーによりエラー表示を動かします。

# エラーメッセージについて

---

本機は 4 種類のエラーメッセージを表示します。

## ( 1 ) DIAG メニュー

設定ミス、条件不確認、警告など本機の使用に差し障りのある場合、メニュー画面左上に警告マーク ( W ) が点滅します。

DIAG キーを押すと画面にエラーを表示します。

## ( 2 ) オートオフモード

本機に異常が発生し、このまま継続して使用することが不可能な場合、本機前面部の AUTO OFF ランプと SYSTEM ランプが点灯し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

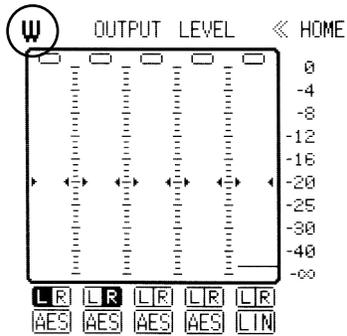
## ( 3 ) システムエラー

本機に異常が発生し、動作の保証ができない場合、本機前面部の SYSTEM ランプが点灯し、ディスプレイにエラーメッセージを表示します。

## ( 4 ) 操作エラー

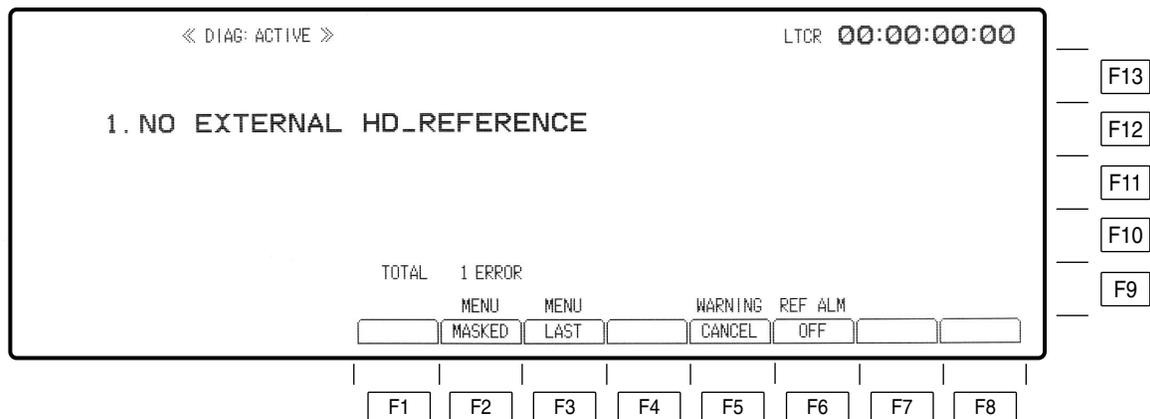
操作中のボタンやキーの操作ミスや入力ミスをした場合、操作ガイドとしてのメッセージを画面右下に表示します。

# DIAG メニューのエラーメッセージ



設定ミス、条件不確認、警告など本機の使用に差し障りがある場合、画面左上に警告マーク（W）が点滅表示します。

警告されているときに DIAG キーを押すと、ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。



DIAG メニューには以下の 3 種類があります。

**DIAG ACTIVE メニュー** DIAG キーを押すと最初に表示されるメニューです。  
現在発生しているマスク（キャンセル）されていないワーニング項目に該当するエラーメッセージを表示します。

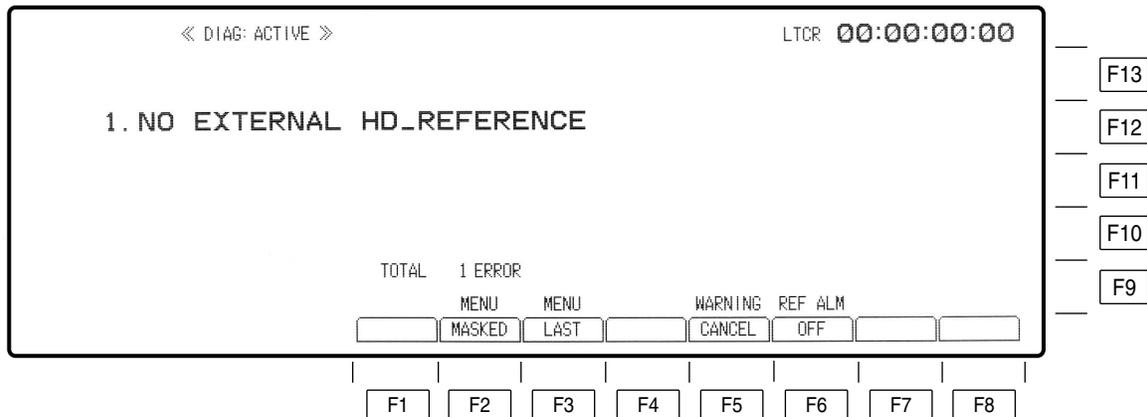
**DIAG MASKED メニュー** F2（MENU MASKED）キーを押すと表示されるメニューです。  
マスク（キャンセル）されているワーニング項目に該当するエラーメッセージを表示します。

**DIAG LAST メニュー** F3（MENU LAST）キーを押すと表示されるメニューです。  
最新の過去 3 回返に発生したワーニングのエラーメッセージを表示します。

・エラーメッセージは、エラーが解消されれば消えます。

# DIAG ACTIVE メニュー

警告マークが表示されているときに DIAG キーを押すと、以下の DIAG ACTIVE メニューが表示されます。



キー	項目	機能
F1		
F2	MENU MASKED	DIAG MASKED メニューに移行します。
F3	MENU LAST	DIAG LAST メニューに移行します。
F4		
F5	WARNING CANCEL	DIAG ACTIVE メニューに現在表示されているワーニング項目をマスク (キャンセル) します。 マスクされたワーニング項目に該当するエラーメッセージは、DIAG MASKED メニューに表示されるようになります。
F6	REF ALM	ON : REF 入力なしの場合に STOP ランプを点滅させます。 OFF : REF 入力なしの場合に STOP ランプを点滅させません。
F7 ~ F13		

## ワーニングが複数発生している場合

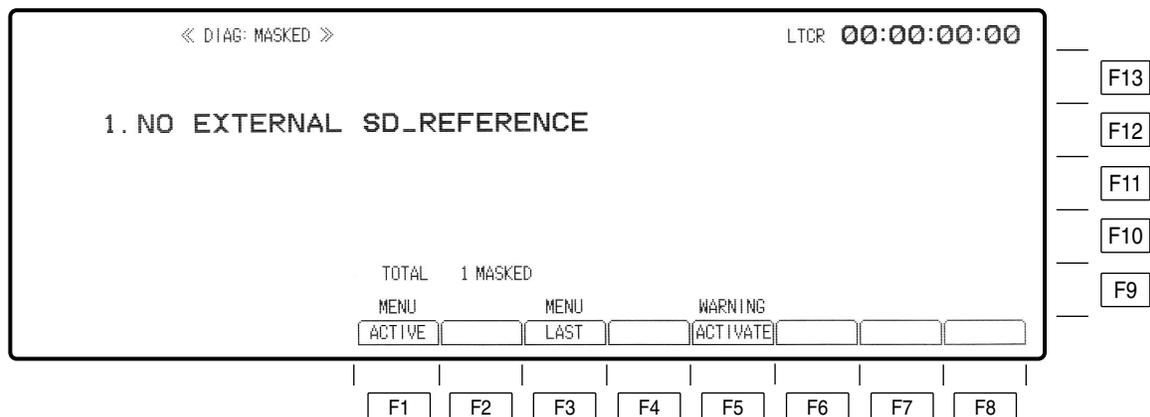
- ・エラーメッセージは優先度の高いものから表示されます。
- ・カーソル ▲▼ キーで、全てのメッセージを順次見ることができます。
- ・ワーニングのトータル件数が表示されます。

F6 ( REF ALM ) キーを ON に設定した場合、次の表を参考にしてください。

OUT_REF	SD_REF の有無	HD_REF の有無	STOP の点滅 / 点灯
AUTO/INPUT	有り		点灯
	無し	有り	点灯
		無し	点滅
HD		有り	点灯
		無し	点滅
SD	有り		点灯
	無し		点滅

# DIAG MASKED メニュー

DIAG ACTIVE メニューまたはDIAG LAST メニューで F2 ( MENU MASKED ) キーを押すと、以下の DIAG MASKED メニューが表示されます。



キー	項目	機能
F1	MENU ACTIVE	DIAG ACTIVE メニューに移行します。
F2		
F3	MENU LAST	DIAG LAST メニューに移行します。
F4		
F5	WARNING ACTIVATE	現在表示されているワーニング項目のマスク ( キャンセル ) を解除します。 DIAG MASKED メニューに現在表示されているワーニング項目のマスクを解除します。 マスクが解除されたワーニング項目に該当するエラーメッセージは、DIAG ACTIVE メニューに表示されるようになります。
F6 ~ F13		

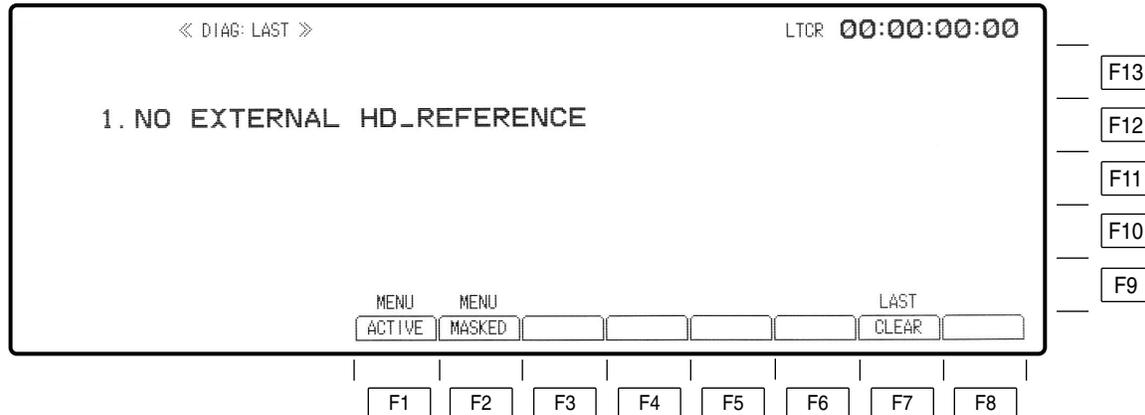
## キャンセル ( マスク ) しているワーニングが複数の場合

- ・エラーメッセージは優先度の高いものから表示されます。
- ・カーソル ▲ ▼ キーで、全てのメッセージを順次見ることができます。
- ・ワーニングのトータル件数が表示されます。

# DIAG LAST メニュー

DIAG ACTIVE メニューまたはDIAG MASKED メニューでF3 (MENU LAST) キーを押すと、以下のDIAG LAST メニューが表示されます。

- ・最新の過去3回に発生したワーニングのエラーメッセージが表示されます。



キー	項目	機能
F1	MENU ACTIVE	DIAG ACTIVE メニューに移行します。
F2	MENU MASKED	DIAG MASKED メニューに移行します。
F3 ~ F6		
F7	LAST CLEAR	現在のDIAG LASTメニューに表示されてる全てのワーニングをクリアします。 FキーとF7 (LAST CLEAR) キーを同時に押すと、現在のDIAG LASTメニューに表示されている全てのワーニングをクリアします。 新しくワーニングが発生すると、その内容が表示されます。
F8 ~ F13		

## ワーニングが複数発生していた場合

- ・エラーメッセージは新しいものから表示されます。
- ・カーソル▲▼キーで、全てのメッセージを順次見ることができます。

# DIAGのエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
FAN STOP1	FAN-1 が停止しました。一時動作は継続しますが、内部温度が上昇すると電源が切れます。	FAN STOP
FAN STOP2	FAN-2 が停止しました。一時動作は継続しますが、内部温度が上昇すると電源が切れます。	FAN STOP
NO CUE ERASE CURRENT	CUE イレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
NO TC ERASE CURRENT	TC イレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
NO FULL ERASE CURRENT	フルイレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
NO CTL ERASE CURRENT	CTL イレースヘッドに消去電流が流れていません。	ERASE ERROR
COMP. CPU NOT RESPONDING	圧縮 CPU 動作が異常です。	COMP. CPU ERROR
VIDEO CONCEAL SW OFF	TEST RF メニューで、VIDEO CONCEAL SW が OFF になりました。	CONCEAL SW OFF
INNER ECC SW OFF	TEST RF メニューで、INNER ECC SW が OFF になりました。	ECC SW OFF
OUTER VIDEO ECC SW OFF	TEST RF メニューで、OUTER VIDEO ECC SW が OFF になりました。	ECC SW OFF
OUTER AUDIO ECC SW OFF	TEST RF メニューで、OUTER AUDIO ECC SW が OFF になりました。	ECC SW OFF
AUDIO CONCEAL SW OFF	TEST RF メニューで、AUDIO CONCEAL SW が OFF になりました。	CONCEAL SW OFF
SERVO UNLOCK	サーボはずれが起きました。	SERVO UNLOCK
CTL NOT DETECTED	CTL 信号が再生できません。	CTL NOT DET.
LOW RF	RF 再生レベルが低下しています。ビデオヘッドの清掃を実施してください。	LOW RF
AUDIO MUTE	音声出力にミュートが発生しました。テープ再生状態をチェックしてください。	AUDIO MUTE
CONCEAL A	PCM オーディオにエラー修正がかかりました。テープ再生状態をチェックしてください。	CONCEAL A
CONCEAL V	VIDEO データにエラー修正がかかりました。テープ再生状態をチェックしてください。	CONCEAL V
HIGH ERROR RATE	エラーレートが悪化しました。	HIGH ERROR
CTL HEAD CLOGGING	CTL ヘッドが目詰まりしました。ビデオヘッドの清掃を実施してください。	CTL HEAD CLOG
LTC HEAD CLOGGING	LTC ヘッドが目詰まりしました。ビデオヘッドの清掃を実施してください。	LTC HEAD CLOG
LOW RF (REC HEAD)	回転記録ヘッドから再生される RF エンベレベルが低下しています。	LOW RF
MISTRACK IN OPTIMIZED TRACKING DATA	トラッキング最適化が正常に完了しませんでした。	OPT ERROR

# DIAG のエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
WRONG OPTIMIZED TRACKING VALUE	トラッキング最適化動作において、エンベレベルの最大値が 25 %以上低下した結果になっています。テープの再生状態をチェックしてください。	OPT ERROR
SERVO UNLOCKED BEFORE IN POINT	編集 IN 点の手前で、サーボはずれが発生しました。	OPT ERROR
NO EXTERNAL HD REF	HD REF 入力端子に REF 信号が入力されていません。	HD REF ERROR
NO EXTERNAL SD REF	SD REF 入力端子に REF 信号が入力されていません。	SD REF ERROR
NO COLOR BURST IN SD REF	SD REF 信号のバーストがありません。	SD REF ERROR
NO STANDARD SCH-RANGE IN REF	SD Ref 信号の SCH 異常です。	SD REF ERROR
NO HD SDI INPUT	HD SDI 入力がありません。	HD SDI ERROR
CRC ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号から CRC エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED AUDIO (CH1/2/3/4) INPUT	HD SDI 入力信号にオーディオ信号が検出されません。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED AUDIO (CH5/6/7/8) INPUT	HD SDI 入力信号にオーディオ信号が検出されません。	HD SDI ERROR
AUDIO (CH1/2/3/4) DATA ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号のオーディオ信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
AUDIO (CH5/6/7/8) DATA ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号のオーディオ信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED LTC	HD SDI 入力信号に LTC 信号が検出されません。	HD SDI ERROR
LTC ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号の LTC 信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO EMBEDDED VITC	HD SDI 入力信号に VITC 信号が検出されません。	HD SDI ERROR
VITC ERROR IN HD SDI INPUT	HD SDI 入力信号の VITC 信号に伝送エラーが検出されました。	HD SDI ERROR
NO SD SDI INPUT	SD SDI 入力がありません。	SD SDI ERROR
NO EMBEDDED AUDIO INPUT	SD SDI 入力信号にオーディオ信号が検出されません。	SD SDI ERROR
UNMATCH AUDIO RECORDED FORMAT CHECK CASSETTE C BIT	カセットの C ホール ( 4ch/8ch 判別 ) をチェックしてください。設定したシステムフォーマットと不一致です。	FRMT UNMATCH
UNMATCH AUDIO RECORDED FORMAT CHECK SYSTEM FORMAT	VTR のシステムフォーマットをチェックしてください。カセットの C ホール ( 4ch/8ch 判別 ) 情報と不一致です。	FRMT UNMATCH
INPUT DIGITAL AUDIO CH1/2 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH1/2.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH3/4 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH3/4.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH5/6 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH5/6.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH7/8 SYNC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH7/8.入力信号に SYNC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT AUDIO CH1/2 CRCC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH1/2.入力信号に CRCC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT AUDIO CH3/4 CRCC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH3/4.入力信号に CRCC エラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR

# DIAGのエラーメッセージ

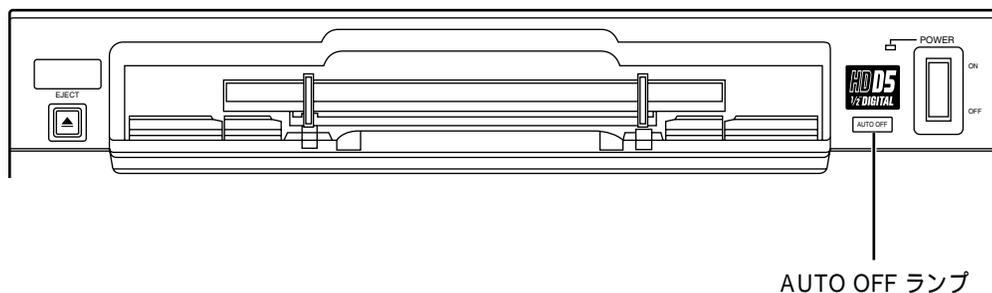
メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
INPUT AUDIO CH5/6 CRCC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH5/6.入力信号にCRCCエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT AUDIO CH7/8 CRCC ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH7/8.入力信号にCRCCエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH1/2 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH1/2. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH3/4 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH3/4. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH5/6 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH5/6. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
INPUT DIGITAL AUDIO CH7/8 PARITY ERROR CONFIRM INPUT DIGITAL AUDIO	AES/EBU CH7/8. 入力信号にパリティエラーが発生しました。入力信号をチェックしてください。	PCM ERROR
RECEIVED INVALID COMMAND FROM RS-422 PORT	未定義コマンドを受信しました。	RS-422 ERROR
SUM-CHECK ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにサムチェックエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
PARITY ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにパリティエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
FRAMING ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにフレーミングエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
OVER-RUN ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-422 PORT	受信コマンドにオーバーランエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
RS-422 COMMUNICATION STOP BY TIME OUT	タイムアウトエラーが発生しました。	RS-422 ERROR
RECEIVED INVALID COMMAND FROM RS-232C PORT	未定義コマンドを受信しました。	RS-232C ERROR
SUM-CHECK ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにサムチェックエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
PARITY ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにパリティエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
FRAMING ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにフレーミングエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
OVER-RUN ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM RS-232C PORT	受信コマンドにオーバーランエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
RS-232C COMMUNICATION STOP BY TIME OUT	タイムアウトエラーが発生しました。	RS-232C ERROR
RECEIVED INVALID COMMAND FROM VA_CONT PORT	未定義コマンドを受信しました。	VA-CONT ERROR
SUM-CHECK ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにサムチェックエラーが発生しました。	VA-CONT ERROR
PARITY ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにパリティエラーが発生しました。	VA-CONT ERROR

# DIAG のエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
FRAMING ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにフレーミングエラーが発生 しました。	VA-CONT ERROR
OVER-RUN ERROR IN RECEIVED COMMAND FROM VA_CONT PORT	受信コマンドにオーバーランエラーが発生 しました。	VA-CONT ERROR
EXT LTC NOT READ	EXT TC 入力異常です。	TC ERROR
EXT VITC NOT READ	EXT VITC 入力異常です。	TC ERROR
LTC IN TAPE NOT READ	LTC 信号が再生されません。	TC ERROR
IC CARD LOW BATTERY	IC カードの電池容量がありません。 カードを交換してください。	CARD LOW BATT

# AUTO OFF のエラーメッセージ

異常が発生し、本機の使用が不可能または、このままでの使用ではメカニズムやテープに支障をきたす恐れがある場合、本機前面部の AUTO OFF ランプが点灯し、ブザーが鳴り、画面にエラーメッセージを表示します。この場合、操作を止め、記載の内容に従ってください。



AUTO OFF  
CASSETTE UNLOAD FAIL  
POWER OFF

- ・ DEW のエラーメッセージを除いては、一度電源を OFF にしないと、元の画面は復帰しません。

一度電源を OFF にし、再度電源を入れても、エラーが解消されないときは、異常が重大な場合、また修理や部品交換などが必要です。直ちに、電源を切り、電源プラグを持ってコンセントから抜いた後、お求めの販売店にご連絡ください。そのままご使用になりますと故障の範囲を大きくしたり、思わぬ事故の原因になる恐れがありますのでご注意ください。

AUTO OFF は主にテープ走行系のエラー時に発生します。  
AUTO OFF が発生した場合は、本機の上蓋を開け、使用テープが走行系に正しくセットされていることを確認した上で、電源を投入してください。使用テープが脱落している場合は、お求めの販売店にご連絡ください。

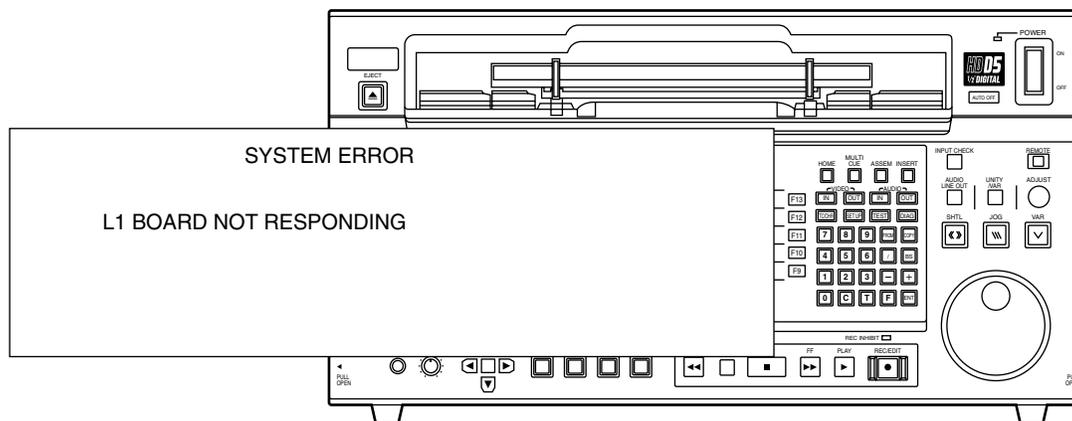
# AUTO OFFのエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
CPU TAPE HANDLE TROUBLE	異常な割り込み処理等でCPUが正常動作していません。	SYSCON ERROR
CPU (SERVO SYS) COMM. TROUBLE	サーボマイコンとシスコンマイコン間の通信が異常です。	SERVO ERROR
CASSETTE PHOTO SENSOR TROUBLE	LEDの異常を検出しました。	MECHA ERROR
DETECTION SWITCH FAIL (A)	カセット3連SW-(A)(シリンダ側)が異常です。	MECHA ERROR
DETECTION SWITCH FAIL (B)	カセット3連SW-(B)(真ん中側)が異常です。	MECHA ERROR
DETECTION SWITCH FAIL (C)	カセット3連SW-(C)(カセット挿入口側)が異常です。	MECHA ERROR
ROTATE-RANGE OVER	シリンダの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
CAPSTAN NOT ROTATE	キャプスタンの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
TAPE TENSION ERROR	テープテンションの異常が検出されました。(ピンチON状態)テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
TAPE TENSION OVER-RANGE IN SHTL	テープテンションの異常が検出されました。(ピンチOFFのリール駆動状態)テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
REEL DIRECTION UNMUTCH	供給リールと巻取リールの回転方向不一致の異常が検出されました。テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
WIND-UP REEL NOT ROTATE	巻取側リールの回転不良が検出されました。(キャプスタン駆動時)テープ走行系をチェックしてください。	SERVO ERROR
NO S-REEL FG PULSE	供給側リールの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
NO T-REEL FG PULSE	巻取側リールの回転異常が検出されました。	SERVO ERROR
CASSETTE UNLOAD FAIL	カセットアップ動作で異常が発生しました。テープ走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
SUB UNLACING FAIL	サブアンロード動作で異常が発生しました。テープ走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
MAIN UNLACING FAIL	メインアンロード動作で異常が発生しました。テープ走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
DEW	霜付き異常を検出しました。テープ貼り付き等のダメージの可能性がありますので、カセット挿入は控えてください。	MECHA ERROR

# SYSTEM のエラーメッセージ

異常が発生し、本機の動作が保証できない状態のときブザーが鳴り、画面にエラーメッセージが表示されます。

このような場合、ただちに操作を止め、記載内容に従って対処してください。



- ・システムエラーはVTRの電源を切り、エラーの原因を取り除くと元の画面に復帰できます。

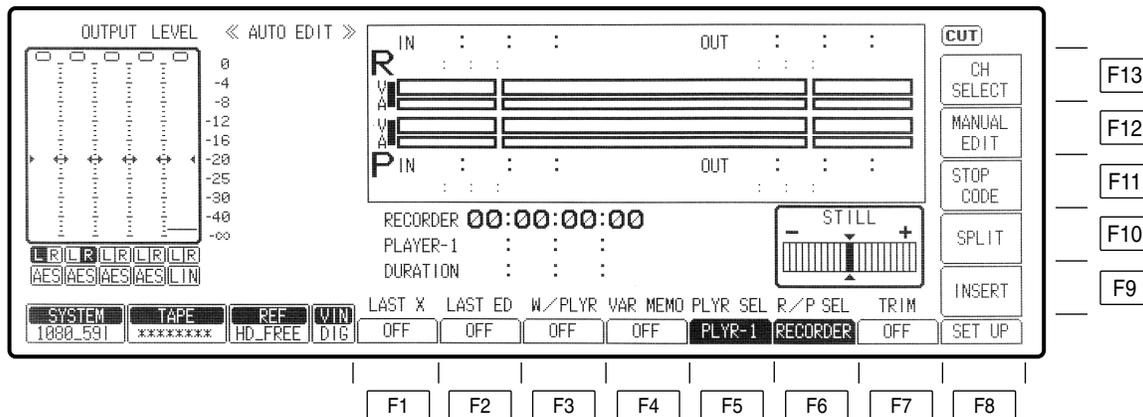
# SYSTEMのエラーメッセージ

メッセージ	エラー内容	オンスクリーン表示
AV NOT RESPONDING	AVマイコンが正常に動作していません。 S5基板からの基準信号が不正規になっている等の可能性があります。	SYSTEM ERROR
SYSCON NOT RESPONDING	シスコンマイコンとフロントマイコン間通信が異常です。	SYSTEM ERROR
S2 BOARD NOT RESPONDING	S2回路基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
S3 BOARD NOT RESPONDING	S3回路基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
S4 BOARD NOT RESPONDING	S4回路基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
S5 BOARD NOT RESPONDING	S5回路基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
L1 BOARD NOT RESPONDING	L1回路基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
L2 BOARD NOT RESPONDING	L2回路基板が抜けています。	SYSTEM ERROR
CASSETTE LOAD FAIL	カセットダウン動作で異常が発生しました。	MECHA ERROR
SUB LACING FAIL	サブロード動作で異常が検出され、カセットがイジェクトされました。走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
MAIN LACING FAIL	メインロード動作で異常が検出され、カセットがイジェクトされました。走行系をチェックしてください。	MECHA ERROR
HUB POSITION	リール台位置がカセットサイズと合っていない ません。カセットがイジェクトされました。	MECHA ERROR

# 操作メッセージ

主に、自動編集でボタンやキーの操作ミスをした場合、操作ガイドとしてのメッセージを画面右下（テープ速度表示部の上）に表示します。

- ・メッセージは数秒表示された後、自動的に消えます。



# 操作メッセージ (AUTO EDIT モード時)

	メッセージ	エラー内容
350	NO CASSETTE	カセットテープが挿入されていません。
351	NO PRESET	編集モードまたは、インサート編集時の編集チャンネルが選択されていません。
352	NO IN POINT	編集に必要な編集点データが登録されていません。
353	NO PLY 'R MODE	プレーヤをコントロールするモードになっていません。 INSERT (または ASSEMBLE) AUTO EDIT メニューで正しく設定してください。
354	NOT REC 'R MODE	レコーダをコントロールするモードになっていません。 INSERT (または ASSEMBLE) AUTO EDIT メニューで正しく設定してください。
355	NEGATIVE DURATION	編集 OUT 点のタイムデータが、編集 IN 点のタイムデータより前にあります。
356	INVALID DATA	不合理なデータや、無効データを入力しています。
357	PLAYER LOCAL	接続プレーヤが「LOCAL」モードになっています。
359	REC INHIBITED	記録禁止モードが設定されているとき、自動編集を実行しようとしています。HOME メニューとカセットテープ上の記録禁止ピンを操作して、REC INHIBIT モードを解除してください。
360	W/PLAYER NOT SET	プレーヤが使用できるモードになっていません。 INSERT (または ASSEMBLE) AUTO EDIT SET UP メニューで F1 (MODE) キーの設定を確認してください。
361	BOT	テープ始端です。
362	EOT	テープ終端です。
363	SHIFT TC FOR CF EDIT	CF ロックモードでの TC 値が不適切です。

# スクリーンセーバー機能

---

本機の大型ディスプレイスクリーンの寿命を延ばすための機能です。

動きのないメニュー画面が連続して表示され続けると、ディスプレイスクリーンの寿命を縮める恐れがあります。そこでディスプレイスクリーンに連続して動きのない同じメニュー画面が5分以上表示されると、自動的に以下のスクリーンセーバー画面に変わります。



ロゴがスクリーン内を移動しながら表示されます。

## ご注意

- ・スクリーンセーバー機能が働くのは、全く動きのないメニュー画面が連続して5分間以上表示されたときのみです。途中でファンクションキーなどが押されると、押した時点から5分間経過しないとスクリーンセーバー機能は働きません。
- ・録画・再生時などで、メニュー画面上のタイムコード値だけが変化している場合でも、スクリーンセーバー機能は働きません。

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	HOME		HOME SET UP		VIDEO IN		VIDEO OUT HD		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	OUTPUT	TAPE <u>EE</u>	SYNC PLY	ON <u>OFF</u>	INPUT	<u>DIGITAL</u> INT SG	Y	<u>UNITY</u> VAR	F1
F2	FREEZE	ON <u>OFF</u>	AT PLY	<u>FIELD</u> FRAME1 FRAME2	INT SG	75 % CB <u>100 % CB</u> RAMP MULT-BST BLACK SIF PLL SIF EQ SMPTE CB	P <sub>B</sub>	(ADJUST つまみで可変)	F2
F3	EJT CTL	<u>RESET</u> HOLD	PRG PLAY	<u>FINE</u> COARSE			P <sub>R</sub>		F3
F4	TC/CTL	<u>TC</u> CTL1 CTL2	PRG PLAY	F3キーのステップで±5%まで可変0.0%			BLACK.L	<u>UNITY</u> VAR	F4
F5	TC/UB	<u>TC</u> UB	CAP LOCK	8F AUTO(24/50) (4F) 8F FORCE(24/50) (4F) <u>2F</u>					F5
F6	(CTL) CLR (TC) (UB)	RESET	TAPE MODE	<u>HD.STOP</u> HLF LOAD					F6
F7	TC HOLD								F7
F8	SET UP	メニュー画面に移行。	EXIT				SET UP	メニュー画面に移行。	F8
F9							SD	メニュー画面に移行。	F9
F10							CONVERT	メニュー画面に移行。	F10
F11			PREROLL	nSEC 1 n 30 <u>n=5</u>					F11
F12			STILL	1/3/30SEC <u>1/3/5MIN</u>	INT SG	75 % CB <u>100 % CB</u> RAMP MULT-BST BLACK SIF PLL SIF EQ SMPTE CB			F12
F13	REC INH	FREE NRML.REC ALL PRE CTL	STBY OFF	1/3/30SEC <u>1/3/16MIN</u>	INPUT	<u>DIGITAL</u> INT SG			F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	VIDEO OUT HD SET UP		VIDEO OUT HD SET UP STATE		VIDEO OUT SD		VIDEO OUT SD SET UP COMPSITE		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	LIN CONV	ON <u>OFF</u>			Y	<u>UNITY</u> VAR	COMB FIL	ON <u>OFF</u>	F1
F2			EE_MODE	<u>NORMAL</u> THROUGH	P <sub>B</sub>	(- ~ + 3dB)			F2
F3					P <sub>R</sub>				F3
F4					BLACK.L				F4
F5							SYS SC	<u>UNITY</u> VAR	F5
F6	SERIAL SYS PHASE	±1375 SAMPLE ±1320 SAMPLE ±1100 SAMPLE ±825 SAMPLE					SYS H	- 858 ~ + 858 - 864 ~ + 864	F6
F7	INTERP.	<u>AUTO</u> OFF			HD	メニュー画面に移行。	INTERP.	<u>AUTO</u> OFF	F7
F8	EXIT	メニュー画面に移行。	EXIT	メニュー画面に移行。			EXIT	メニュー画面に移行。	F8
F9									F9
F10					CONVERT	メニュー画面に移行。	7.5% SET UP	ON <u>OFF</u>	F10
F11					CMPT	メニュー画面に移行。	LINE BLK	メニュー画面に移行。	F11
F12	STATE	メニュー画面に移行。	STATE	メニュー画面に移行。	SDI	メニュー画面に移行。	STATE	メニュー画面に移行。	F12
F13									F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	VIDEO OUT SD SET UP CMPST STATE		VIDEO OUT SD SET UP SDI		VIDEO OUT SET UP LINE BLK		VIDEO OUT SD SET UP SDI STATE		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1									F1
F2	EE_MODE	<u>NORMAL</u> THROUGH					EE_MODE	<u>NORMAL</u> THROUGH	F2
F3									F3
F4									F4
F5			SERIAL SYS PHASE	<u>FINE</u> COARSE					F5
F6			SYS PHASE	<u>± 2H</u>					F6
F7			INTERP.	<u>AUTO</u> OFF					F7
F8	EXIT		EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9					ALL ON				F9
F10					ALL OFF				F10
F11			LINE BLK	メニュー画面 に移行。	LINE BLK	メニュー画面 に移行。			F11
F12	STATE	メニュー画面 に移行。	STATE	メニュー画面 に移行。			STATE	メニュー画面 に移行。	F12
F13									F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	VIDEO OUT CONVERT		VIDEO OUT CONVERT HD_TO_SD		VIDEO OUT CONVERT SD_TO_HD		VIDEO OUT CONVERT HD_TO_HD		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	HD_TO_SD	メニュー画面に移行。	MODE	<u>LT_BOX</u> S_CROP SQUEESE 14:9 13:9	MODE	<u>STRETCH</u> <u>S_PANEL</u> TB_CROP			F1
F2	SD_TO_HD	メニュー画面に移行。	RESPONSE	<u>STANDARD</u> WIDE NARROW	RESPONSE	<u>STANDARD</u> WIDE NARROW	RESPONSE	<u>STANDARD</u> WIDE NARROW	F2
F3	HD_TO_HD	メニュー画面に移行。	ENHANCE	6 dB 3 dB 1.5 dB <u>0 dB</u>	ENHANCE	6 dB 3 dB 1.5 dB <u>0 dB</u>	ENHANCE	6 dB 3 dB 1.5 dB <u>0 dB</u>	F3
F4									F4
F5									F5
F6									F6
F7	HD	メニュー画面に移行。							F7
F8			EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9	SD	メニュー画面に移行。							F9
F10									F10
F11									F11
F12									F12
F13									F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	AUDIO IN		AUDIO IN PCM INPUT SELECT		AUDIO IN CUE INPUT SELECT		AUDIO IN SET UP		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	CH-1	<u>UNITY</u> VAR	CH-1	ANALOG <u>DIGITAL</u> INT SG	CH-1 (D. MIX 時)	SOURCE TAPE OFF	INT SG MD	<u>STONE</u> SILENCE	F1
F2	CH-2		CH-2	ANALOG <u>DIGITAL</u> INT SG	CH-2 (D. MIX 時)				F2
F3	CH-3		DIGITAL	<u>AES</u> SERIAL	CH-3 (D. MIX 時)				F3
F4	CH-4		CH-3	ANALOG <u>DIGITAL</u> INT SG	CH-4 (D. MIX 時)				F4
F5	CUE		CH-4	ANALOG <u>DIGITAL</u> INT SG					F5
F6	PCM	メニュー画面 に移行。	DIGITAL	<u>AES</u> SERIAL			PEAK HOLD	<u>ON</u> OFF	F6
F7	CUE	メニュー画面 に移行。	(DIGITAL)*	( <u>AES</u> )* (SERIAL)*			SCALE	FINE <u>FULL</u>	F7
F8	SET UP	メニュー画面 に移行。	EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9	CH-MIX	メニュー画面 に移行。	(CH-5)*	(ANA_CH1)* ( <u>DIGITAL</u> )* (INT SG)*	CUE	D-MIX <u>LINE</u> AUTO	DATA ADV	0 ~ 1Fr	F9
F10	(CH-5)*	( <u>UNITY</u> )* (VAR)*	(CH-6)*	(ANA_CH2)* ( <u>DIGITAL</u> )* (INT SG)*	(CH-5)*	SOURCE TAPE <u>OFF</u>	STYLE	<u>PCM</u> DATA	F10
F11	(CH-6)*		(DIGITAL)*	( <u>AES</u> )* (SERIAL)*	(CH-6)*				F11
F12	(CH-7)*		(CH-7)*	(ANA_CH3)* ( <u>DIGITAL</u> )* (INT SG)*	(CH-7)*				F12
F13	(CH-8)*		(CH-8)*	(ANA_CH4)* ( <u>DIGITAL</u> )* (INT SG)*	(CH-8)*				F13

( ) \* は 8ch フォーマット時

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	AUDIO IN CH-MIX		AUDIO OUT		AUDIO OUT MONITOR		AUDIO OUT SET UP		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	SELECT	CH1 ~ CH4 CH5 ~ CH8	CH-1	<u>UNITY</u> VAR	MODE	<u>SHTL</u> VAR/SHTL	A/V PHASE	<u>UNITY</u> VAR	F1
F2			CH-2		L CH	OFF <u>ON</u>	JOG PROC	<u>ON</u> OFF	F2
F3			CH-3		R CH	OFF <u>ON</u>	VAR PROC	<u>ON</u> OFF	F3
F4			CH-4				PB FADE	<u>ON</u> OFF	F4
F5			CUE				PB OUT	<u>INSTANT</u> DELAYED	F5
F6	CH-MIX (ON)	ON OFF					PEAK HOLD	<u>ON</u> OFF	F6
F7	CH-MIX (OFF)	ON OFF	MONITOR	メニュー画面 に移行。	A MONI	<u>UNITY</u> VAR	SCALE	FINE <u>FULL</u>	F7
F8	EXIT		EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9			SDI ASIGN	メニュー画面 に移行。			DATA_ ADV	0 ~ 1Fr	F9
F10			(CH-5)*	( <u>UNITY</u> )* (VAR)*			STYLE	<u>PCM</u> DATA	F10
F11			(CH-6)*		R CH	ON <u>OFF</u>			F11
F12			(CH-7)*		L CH		STATE	メニュー画面 に移行。	F12
F13			(CH-8)*		MODE	ADD <u>AVERAGE</u>			F13

( ) \* は 8ch フォーマット時

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	AUDIO OUT SET UP STATE		AUDIO OUT SDI ASIGN		TC/CHR		TC/CHR SET UP		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1			HD_TO_HD CH1 ~ 4	<u>CH1 ~ 4</u> CH5 ~ 8 OFF	SOURCE	<u>INT</u> EXT LTC S LTC S VITC	LTC ADV	<u>EDIT_REC</u> REC EDIT OFF	F1
F2	EE_MODE	<u>NORMAL</u> THROUGH	(HD_TO_HD) (CH5 ~ 8)	(CH1 ~ 4) ( <u>CH5 ~ 8</u> ) (OFF)	TC SLAVE	<u>AUTO</u> PRESET SLAVE DIRECT			F2
F3					UB SLAVE	<u>ON</u> OFF			F3
F4			HD_TO_SD CH1 ~ 4	<u>CH1 ~ 4</u> CH5 ~ 8 OFF	RUN MD	<u>REC RUN</u> FREE RUN			F4
F5					DF MD	<u>ON</u> OFF			F5
F6					(CF BIT)	( <u>ON</u> ) (OFF)	COUNTER	<u>FREE HOLD</u>	F6
F7							TCG OUT	<u>MOMNT LATCH</u>	F7
F8	EXIT		EXIT		SET UP	メニュー画面に移行。	EXIT		F8
F9			SD_TO_HD CH5 ~ 8	CH1 ~ 4 CH5 ~ 8 <u>OFF</u>	CONVERT	メニュー画面に移行。	VITC.L	メニュー画面に移行。	F9
F10			SD_TO_HD CH1 ~ 4	<u>CH1 ~ 4</u> CH5 ~ 8 OFF	TCR	LTC <u>AUTO</u> VITC	VITC	<u>ON</u> OFF	F10
F11					SUPER	TC <u>TC. ST.</u> TC. UB TC. ST. RT OFF			F11
F12					SUPER ER	<u>ON</u> OFF	VITC	<u>ON</u> OFF	F12
F13			SD_TO_HD CH1 ~ 4	<u>CH1 ~ 4</u> CH5 ~ 8 OFF	CHAR TYPE	<u>REVERSE</u> INTENSE	LTC	<u>ON</u> OFF	F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキ-	メニュー								FUNCキ-
	TC/CHR SET UP VITC. L		TC/CHR CONVERT		MULTI CUE		MULTI CUE SET UP		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1			TC SYNC		1		AUTO STEP	ON <u>OFF</u>	F1
F2					2		PAG MODE	ON <u>OFF</u>	F2
F3					3		PAG CLR		F3
F4					4				F4
F5			DF MODE	DF <u>NDF</u>	5		ALL CLR		F5
F6					PROTECT	ON OFF			F6
F7									F7
F8	EXIT		EXIT		SET UP	メニュー画面 に移行。	EXIT		F8
F9	VTIC.L				6		CLUTCH	ON <u>OFF</u>	F9
F10					7		MAX SP	- 1    + 2 - 1    + 1 0    + 1	F10
F11			SD SUPER	CONVERT <u>ORIGINAL</u>	8		AUTO FRZ	ON <u>OFF</u>	F11
F12			HD SUPER	CONVERT <u>ORIGINAL</u>	9				F12
F13			LTC OUT	CONVERT <u>ORIGINAL</u>	10		CUE_ ROLL	nSEC 1   n   30 <u>n = 5</u>	F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	MANUAL EDIT		MANUAL EDIT SET UP		AUTO EDIT		AUTO EDIT SET UP		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1			TIMING	<u>F1</u> F2 F1/F2	LAST X	LOAD <u>OFF</u>	TIMING	<u>F1</u> F2 F1/F2	F1
F2					LAST ED	LOAD <u>OFF</u>	V PREV	<u>VVV</u> VBV	F2
F3					W/PLYR	ON <u>OFF</u>	A PREV	<u>SSS</u> SMS	F3
F4					VAR MEMO	ON <u>OFF</u>	PLYR-SYNC	ON <u>OFF</u>	F4
F5					PLYR SEL	PLYR-1 PLYR-2	PREROLL	nSEC 1 n 30 <u>n = 5</u>	F5
F6					R/P SEL	PLAYER <u>RECORDER</u>	POSTROLL	nSEC 1 n 30 <u>n = 2</u>	F6
F7					TRIM	ON <u>OFF</u>	REACTION	nFR 0 n 25 <u>n = 0</u>	F7
F8	SET UP	メニュー画面 に移行。	EXIT		SET UP	メニュー画面 に移行。	EXIT		F8
F9	INSERT/ ASSEMBLE	ON <u>OFF</u>	ERR. STP	<u>ON</u> OFF	INSERT/ ASSEMBLE	ON <u>OFF</u>	DLY STRT	± nフレーム 1 n 30 <u>n = 0</u>	F9
F10			TRACKING	VAR FIX <u>OPT. ONCE</u> OPT. AUTO	SPLIT	ON <u>OFF</u>	TRACKING	VAR FIX <u>OPT. ONCE</u> OPT. AUTO	F10
F11			CAP LOCK	4F AUTO 4F FORCE <u>2F(1080/59i)</u> <u>8F AUTO</u> 8F FORCE	STOP CODE (INSERT 編集のみ表示)	メニュー画面 に移行。	CAP LOCK	4F AUTO 4F FORCE <u>2F(1080/59i)</u> <u>8F AUTO</u> 8F FORCE	F11
F12	AUTO EDIT	メニュー画面 に移行。	FD TIME	<u>5/10/15/</u> 20/25/50 100ms	MANUAL EDIT	メニュー画面 に移行。	FD TIME	<u>5/10/15/</u> 20/25/50/ 100ms	F12
F13	CH SELECT (INSERT 編集のみ表示)	メニュー画面 に移行。	MODE	X FADE <u>CUT</u> V FADE	CH SELECT (INSERT 編集のみ表示)	メニュー画面 に移行。	MODE	X FADE <u>CUT</u> V FADE	F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	INSERT MANUAL/AUTO EDIT CH SELECT		INSERT AUTO EDIT STOP CODE		SET UP		INTERFACE SET UP		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	VIDEO	ON <u>OFF</u>	DET BEEP	ON <u>OFF</u>	HOME	メニュー画面 に移行。	P-2	<u>MODE-1</u> MODE-2 MODE-3 MODE-4 OFF	F1
F2	CH-1	ON <u>OFF</u>	DET STOP	ON <u>OFF</u>	MAN EDIT	メニュー画面 に移行。	RS-232C	ON <u>OFF</u>	F2
F3	CH-2	ON <u>OFF</u>	REC ADJ	1SEC 2SEC <u>3SEC</u> 4SEC 5SEC	AUTO EDIT	メニュー画面 に移行。	PARA	ON <u>OFF</u>	F3
F4	CH-3	ON <u>OFF</u>	DET ADJ	nSEC <u>0</u> n 30	SYSTEM	メニュー画面 に移行。	AV CONT	ON <u>OFF</u>	F4
F5	CH-4	ON <u>OFF</u>			TC/CHR	メニュー画面 に移行。	FF/REW MAX SP.	32/ <u>50</u>	F5
F6	CUE	ON <u>OFF</u>			AUDIO IN	メニュー画面 に移行。	DEV ID	ID-1 ID-2 ID-3 USER	F6
F7	TC	ON <u>OFF</u>			AUDIO OUT	メニュー画面 に移行。	(PREREAD) (480/59i)	(VIDEO) (AUDIO) (A&V)	F7
F8	SET UP	メニュー画面 に移行。	EXIT				EXIT		F8
F9	CH-5	ON <u>OFF</u>					UB PRESET	<u>L&amp;V</u> LTC VITC	F9
F10	CH-6	ON <u>OFF</u>			INTERFACE	メニュー画面 に移行。	VAR LIM	ON <u>OFF</u>	F10
F11	CH-7	ON <u>OFF</u>			PANEL	メニュー画面 に移行。	V LEV CNT	NORMAL HD SD BOTH	F11
F12	CH-8	ON <u>OFF</u>	CODE ERASE	ON <u>OFF</u>	USER	メニュー画面 に移行。	(R. PANEL)	(ENABLE) (DISABLE)	F12
F13	CH SELECT	メニュー画面 に移行。	CODE REC	ON <u>OFF</u>	ENGINEER	メニュー画面 に移行。	(F. PANEL)	(ENABLE) (DISABLE)	F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	PANEL SET UP		OP MAP REMOTE/LOCAL		USER SET UP		SYSTEM SET UP		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	SOUND KEY	<u>OFF</u> HIGH LOW	VIDEO	ON <u>OFF</u>	LOAD		FREQ	59.94 23.98 24 50	F1
F2	SOUND ALARM	<u>OFF</u> HIGH LOW	AUDIO	ON <u>OFF</u>	SAVE				F2
F3	JOG MAX SP	- 2 + 2 - 1 + 1 <u>- 1 + 2</u>	TRACKING	ON <u>OFF</u>	DELETE		VIDEO	1080I 525I 720I	F3
F4	SHTL L/C/R	<u>ON</u> OFF	MON SEL	ON <u>OFF</u>			AUDIO	24 bit/8CH 20 bit/4CH	F4
F5	SHTL x 8, x 4	<u>OFF</u> x 8 x 8, x 4 x 4	MAP MODE	ALL <u>SELECT</u>	POWER UP	<u>LAST</u> FACTORY 1 ~ 10	HD SDI	1080/23.98 PsF (1080/24 PsF) 1080/59.94I (1080/60I) 720/59.94P (720/60P)	F5
F6	SHTL MAX SP	16/32/ <u>50</u>	FUNCTION (INSERT 編集のみ表示)	<u>ENABLE</u> DISABLE			HD MONI	1080/23.98 PsF (1080/24 PsF) 1080/59.94I (1080/60I)	F6
F7	A. SCALE	- 20 (18) dB 0dB	EJECT (INSERT 編集のみ表示)	<u>ENABLE</u> DISABLE			SD_SDI	525I 525P	F7
F8	EXIT		EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9	TC INPUT	STANDARD REVERSE			LOCK		A. REC. GDR	<u>CST. C. BIT</u> FREE	F9
F10	UNITY	<u>ALL A&amp;V</u> AUDIO PB			PASS WORD				F10
F11	OP MAP	メニュー画面 に移行。					PB AUTO	<u>ON</u> OFF	F11
F12	VAR MAX SP	- 1 + 2 - 1 + 1 0 + 1							F12
F13	VAR CLUTCH	<u>ON</u> OFF	REMOTE/ LOCAL	メニュー画面 に移行。					F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	ENGINEER SET UP		OPERATION ENGINEER SET UP		TEST		RF TEST		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1			EJECT LED	MODE-1 MODE-2			ECC SMPL	<u>SLOW</u> FAST	F1
F2					RF	メニュー画面に移行。	METER	<u>ERROR</u> ENV	F2
F3					AUDIO	メニュー画面に移行。			F3
F4					MECHA	メニュー画面に移行。	LOAD		F4
F5					SYSTEM	メニュー画面に移行。			F5
F6					FRONT	メニュー画面に移行。	MODE	<u>ENV</u> R/P CONFI TC EYE	F6
F7					SERVO	メニュー画面に移行。	CH	<u>CH0</u> CH1 CH2 CH3	F7
F8	EXIT		EXIT				EXIT		F8
F9	OPERATION	メニュー画面に移行。							F9
F10							AT HEIGHT	(F6表示変化) (F7)	F10
F11							ADJ RF	<u>D5 EQ</u> D5 REC D5 PLL	F11
F12			ACCEL	MAX MIDDLE MIN			ADJ SEL		F12
F13			KNEE	8 15 20 30	IC CARD	メニュー画面に移行。	HEAD CLN		F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	AUDIO TEST		MECHA TEST		SYSTEM TEST		SERVO TEST		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	CH-1		MODE	<u>NORMAL</u> NO-TAPE			TORQUE		F1
F2	CH-2						DATA SEND		F2
F3	CH-3		C.SIZE				MEASURE	<u>OFF</u> LOADING	F3
F4	CH-4						AT		F4
F5	CUE		SENSOR				METER	<u>ERROR</u> ENV	F5
F6	MONI. L						PG SHIFT		F6
F7	MONI. R						ADJ RATE	<u>FINE</u> COARSE	F7
F8	EXIT		EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9	REF. LEV						MECHA		F9
F10	IMPED.						TRACKING	VAR FIX <u>OPT. ONCE</u> OPT. AUTO	F10
F11									F11
F12	OUT LEV.						BIMORPH INIT		F12
F13	IN LEV.						ADJ ENABLE		F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキー	メニュー								FUNCキー
	TEST FRONT		TEST FRONT KEY CHECK		TEST FRONT PANEL		TEST IC CARD		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	PANEL	メニュー画面 に移行。			MODE		USER_FIL	メニュー画面 に移行。	F1
F2	KEY CHECK	メニュー画面 に移行。					MULT_CUE	メニュー画面 に移行。	F2
F3							ERR_LOG	メニュー画面 に移行。	F3
F4									F4
F5									F5
F6									F6
F7									F7
F8	EXIT		EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9									F9
F10									F10
F11									F11
F12									F12
F13							FORMAT		F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキ-	メニュー								FUNCキ-
	TEST IC CARD USER		TEST IC CARD MULTI CUE		TEST IC CARD MULTI CUE SELECT		MULTI CUE MONITOR TEST IC CARD		
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	
F1	LOAD		UP_LD		UP_LD				F1
F2	SAVE		DOWN_LD						F2
F3	DELETE		MONITOR				1		F3
F4							2		F4
F5	UP_LD		TRANSFER				3		F5
F6	DOWN_LD						4		F6
F7	W/SYS						5		F7
F8	EXIT		EXIT		EXIT		EXIT		F8
F9	LOCK						6		F9
F10							7		F10
F11							8		F11
F12							9		F12
F13	TRNS MD						10		F13

# メニュー画面一覧表

選択項目の下線は初期設定モードです。

FUNCキ-	メニュー								FUNCキ-	
	TEST IC CARD ERR LOG		TEST IC CARD ERR LOG MONITOR							
	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目	設定項目	選択項目		
F1	DOWN_LD									F1
F2	MONITOR									F2
F3	DELETE									F3
F4										F4
F5	AUTO STOP									F5
F6										F6
F7										F7
F8	EXIT		EXIT							F8
F9										F9
F10										F10
F11										F11
F12										F12
F13	INITIAL									F13

# 索引

## ア

- IC カード
- AT 再生切り替え
- AT ヘッドヒステリシス除去
- アラーム音の設定
- アセンブル編集：自動編集
  - 手動編集
- RF 調整値の表示
- インサート編集：自動編集
  - 手動編集
  - 編集チャンネルの選択（自動編集時）
  - 編集チャンネルの選択（手動編集時）
- A/V フェーズの調整
- AUDIO：アナログ入出力信号の基準レベル設定
  - アナログ出力基準レベル設定モード
  - アナログ入力基準レベル設定モード
  - スプリット編集
  - チャンネルの入力選択
  - チャンネル ON/OFF
  - チャンネルミックス
  - DATA ADV 量
  - 入力信号の記録レベル調整
  - 出力信号のレベル調整
  - 出力 SDI チャンネルアサイン
  - ステート
  - ピークホールド
  - ビデオに対するオーディオ出力調整
  - モニター端子から出力されるミックス信号の切り替え
  - モニターの音量調整
  - レベルメータのスケール切り替え
  - レベルメータのスケール設定
- AUDIO FADE：フェード再生
  - フェード編集（手動編集時）
  - フェード編集（自動編集時）
- メニュー / ファンクションキー / ページ
- TEST / F13 / 143、160 ~ 167
- HOME SET UP / F2 / 18
- SERVO TEST / F12 / 154
- PANEL SET UP / F2 / 124
- AUTO EDIT / F12 / 100
- MANUAL EDIT / F12 / 88
- RF TEST / F11 ~ F12 / 146、148
- AUTO EDIT / F9、F12 / 100
- MANUAL EDIT / F9、F12 / 88
- INSERT AUTO EDIT CH SELECT / F1 ~ F7、F9 ~ F12 / 107
- INSERT MANUAL EDIT CH SELECT / F1 ~ F7、F9 ~ F12 / 90
- AUDIO OUT SET UP / F1 / 63、65
- AUDIO TEST / F1 ~ F5 / 149
- AUDIO TEST / F12 / 149
- AUDIO TEST / F13 / 149
- AUTO EDIT / F10 / 52、53、112
- AUDIO IN PCM INPUT SELECT / F1 ~ F7、F9 ~ F13 / 49、50
- MANUAL EDIT CH SELECT / F2 ~ F5、F9 ~ F12 / 90
- AUDIO IN CH-MIX SELECT / F6 ~ F7 / 55 ~ 57
- AUDIO IN SET UP / F9 / 54
- AUDIO OUT SET UP / F9 / 63
- AUDIO IN / F1 ~ F5、F10 ~ F13 / 47
- AUDIO OUT / F1 ~ F5、F10 ~ F13 / 59
- AUDIO OUT SDI ASIGN / F1、F2、F4、F9、F10、F13 / 69
- AUDIO OUT SET UP STATE / - / 66、67
- AUDIO IN SET UP / F6 / 54
- AUDIO OUT SET UP / F6 / 62
- AUDIO OUT SET UP / - / 65
- AUDIO OUT MONITOR / F11 ~ F12 / 61
- AUDIO OUT MONITOR / F7 / 61
- AUDIO IN SET UP / F7 / 54
- AUDIO OUT SET UP / F7 / 63
- PANEL SET UP / F7 / 124
- AUDIO OUT SET UP / F4 / 63
- MANUAL EDIT SET UP / F12 ~ F13 / 93、98
- AUTO EDIT SET UP / F12 ~ F13 / 114

# 索引

メニュー / ファンクションキー / ページ

AUDIO MONITOR : ミックスされるモニターチャンネルの選択 モニターの音量調整	AUDIO OUT MONITOR / F11 ~ F12 / 61 AUDIO OUT MONITOR / F7 / 61
AUDIO OUT SDI ASIGN	AUDIO OUT SDI ASIGN / F1、F2 / 69 AUDIO OUT SDI ASIGN / F4 / 69 AUDIO OUT SDI ASIGN / F9、F10 / 69 AUDIO OUT SDI ASIGN / F13 / 69
AUDIO/VIDEO 遅延調整	AUDIO OUT SET UP / F1 / 63、65
AUTO OFF エラーメッセージ	AUTO OFF / - / 181、182
EJECT ボタン LED の点灯条件選択	OPERATION ENGINEER SET UP / F1 / 142
エラーレート : 測定時間の選択 レベル表示切り替え	RF TEST / F1 / 146 RF TEST / F2 / 146 SERVO TEST / F5 / 154
FF/REW 最高速度設定	INTERFACE SET UP / F5 / 118
OP MAP の設定方法 : リモート ローカル	PANEL SET UP (REMOTE) / - / 126、127 PANEL SET UP (LOCAL) / - / 129
オペレーションタイム表示	TEST / - / 144

## カ

キータッチ音の選択	PANEL SET UP / F1 / 124
キャプスタンサーボロックの設定	MANUAL EDIT SET UP / F11 / 93 AUTO EDIT SET UP / F11 / 114 MULTI CUE / - / 84、85 MULTI CUE / - / 85 MULTI CUE / F1 ~ F5、F9 ~ F13 / 83 MULTI CUE SET UP / F5 / 87 MULTI CUE SET UP / F3 / 87 MULTI CUE SET UP / F13 / 87 MULTI CUE SET UP / F2 / 87 MULTI CUE SET UP / F1 / 87 MULTI CUE / F6 / 83、84
登録	AUDIO IN CUE INPUT SELECT / F9 / 52
変更とクリア	AUDIO IN CUE INPUT SELECT / F1 ~ F4、F10 ~ F13 / 52
番号の指定	MANUAL EDIT / F9 / 88
全キューデータのクリア	HOME / F13 / 15
ページ内キューデータのクリア	HOME / F6 / 14
プリロール時間の選択	
カーソルの移動 ON/OFF	
自動カーソルの移動	
プロテクト	
キューオーディオ : D MIX 信号の選択 チャンネルの ON/OFF	
編集の ON/OFF	
記録禁止モードの選択	
コントロール信号のリセット	

# 索引

## サ

サーチダイヤル：シャトルのクラッチ点の設定	メニュー / ファンクションキー / ページ
シャトルの最高速度の選択	PANEL SET UP / F4 ~ F5 / 124
バリエブルのクラッチ点の設定	PANEL SET UP / F6 / 124
バリエブルの最高速度の選択	MULTI CUE SET UP / F9 / 87
ジョグの最高速度の選択	PANEL SET UP / F13 / 124
システムエラーメッセージ	MULTI CUE SET UP / F10 / 87
JOG/VAR 時のオーディオデジタル処理	PANEL SET UP / F12 / 124
ジョグ / バリエブルのフィールド再生 / フレーム再生	PANEL SET UP / F3 / 124
自動編集	- / - / 179、180
手動編集	AUDIO OUT SET UP / F3 / 63
シンクプレイの ON/OFF	HOME SET UP / F2 / 18
出力信号 (TAPE/EE) の切り替え	AUTO EDIT / F12 / 100
スタンバイ OFF 時：出力信号の切り替え	MANUAL EDIT / F12 / 88
テープ状態の設定	HOME SET UP / F1 / 18
スタンバイ状態の持続時間の選択	HOME / F1 / 14
スチル状態の持続時間の選択	AUDIO OUT SET UP STATE / 66、67
ストップコード	VIDEO OUT SET UP STATE / 28、29
スーパーインポーズ：エラーメッセージ ON/OFF	HOME SET UP / F6 / 18
文字の選択	HOME SET UP / F13 / 19
位置の変更	HOME SET UP / F12 / 19
スプリット編集	AUTO EDIT STOP CODE / F1 ~ F4、F12 ~ F13 / 108 ~ 112
センサーの動作確認	TC/CHR / F12 / 72、74
操作メッセージ	TC/CHR / F13 / 72
ソフトウェア バージョン表示	TC/CHR / - / 73
	AUTO EDIT / F10 / 100
	MECHA TEST / F5 / 151
	- / - / 181、182
	TEST / - / 144

# 索引

## 夕

タイムコード：LTCの選択	メニュー / ファンクションキー / ページ
VITCの選択	TC/CHR SET UP / F13 / 78
TCチャンネルのON/OFF	TC/CHR SET UP / F10、F12 / 78
スーパーインポーズのON/OFF	INSERT MANUAL EDIT CH SELECT / F7 / 90
スレーブロックモードのON/OFF	TC/CHR / F11 / 72
初期値の設定	TC/CHR / F2 / 71
内部 / 外部入力の選択	HOME / - / 11
ドロップ / ノンドロップフレームの選択	TC/CHR / F1 / 71
REC RUN/FREE RUNの選択	TC/CHR / F5 / 71
タイムコード値のホールド	TC/CHR / F4 / 71
読み取りモードの選択	HOME / F7 / 14
TC/UBの切り替え	TC/CHR / F10 / 72
カラーフレームビットの付加	HOME / F5 / 14
タイムデータ：TC/CTLの切り替え	TC/CHR / F6 / 72
リセット	HOME / F4 / 14
ダイアグ (DIAG) エラーメッセージ	HOME / F6 / 14
チャンネル アサイン	DIAG / - / 168 ~ 176
	INTERFACE SET UP / - / 122
	AUDIO OUT SDI ASIGN / F1 ~ F2、F4 ~ F5、 F9 ~ F10、F12 ~ F13 / 69
テープ位置インジケータ	AUTO EDIT / - / 101
デバイスIDの設定をコントローラに合わせる	INTERFACE SET UP / F6 / 118
テストフロント：キーチェック	TEST FRONT / F2 / 156、158、159
パネル	TEST FRONT / F1 / 156、157
電源投入時のファイル自動呼び出しの設定	USER SET UP / F5 / 130
トラッキング調整	MANUAL EDIT SET UP / F10 / 92、96、97
	AUTO EDIT SET UP / F10 / 114
	SERVO TEST / F10 / 154

## ナ

入力信号の選択	VIDEO IN / F1、F13 / 23
内部信号発生器の信号選択	VIDEO IN / F2、F12 / 23

# 索引

## 八

メニュー / ファンクションキー / ページ	
バリアブルメモリー	AUTO EDIT / F4 / 100、104、105
ピークホールド：オーディオ入力値	AUDIO IN SET UP / F6 / 54
オーディオ出力値	AUDIO OUT SET UP / F6 / 63
ビデオ出力：TAPE/EE 切り替えの各モードごとに行う	AUDIO OUT SET UP STATE / 66、67
ブラックレベルの調整	VIDEO OUT HD SET UP STATE / - / 28、29
	VIDEO OUT HD / F4 / 25
	VIDEO OUT SD / F4 / 31
ビデオチャンネルの ON/OFF	INSERT MANUAL ( AUTO ) EDIT CH SELECT / F1 / 90、107
	VIDEO IN / F1、F13 / 23
ビデオ入力：信号の選択	AUDIO OUT SET UP / F4 / 63、65
PB フェードの ON/OFF	AUDIO OUT SET UP / F5 / 63
PB OUT (再生スタート時の出力音声特性)	VIDEO OUT HD / F2 / 25
P <sub>B</sub> レベルの調整	VIDEO OUT SD / F2 / 31
	VIDEO OUT HD / F3 / 25
P <sub>R</sub> レベルの調整	VIDEO OUT SD / F3 / 31
	USER SET UP / F1 / 130、133
ファイル：呼び出し	USER SET UP / F2 / 130、131
保存	USER SET UP / - / 132
更新	USER SET UP / F3 / 130、133
削除	USER SET UP / - / 134
複写	USER SET UP / F5 / 130、133
電源投入時のファイル呼び出し	USER SET UP / F9 / 130、132
ロック	USER SET UP / F10 / 130、131
パスワード	HOME SET UP / F2 / 18
フィールド再生 / フレーム再生の切り替え	AUDIO OUT SET UP / F4 / 63、65
フェード：再生時	MANUAL EDIT SET UP / F12、F13 / 93、98
手動編集時	AUTO EDIT SET UP / F12、F13 / 114
自動編集時	HOME / F2 / 14
フラッシュフリーズ画面の出画	VIDEO OUT HD / F4 / 25
ブラックレベルの調整	VIDEO OUT SD / F4 / 31
	HOME SET UP / F11 / 19
プリロール時間の選択	AUTO EDIT SET UP / F5 / 113、115
	MULTI CUE SET UP / F13 / 87
プレーヤシンク	AUTO EDIT SET UP / F4 / 113
プレーヤ 1 / プレーヤ 2 の選択	AUTO EDIT / F5 / 100
プレーヤ / レコーダの選択	AUTO EDIT / F6 / 100
プレビューオーディオ信号の選択	AUTO EDIT SET UP / F3 / 113
プレビュービデオ信号の選択	AUTO EDIT SET UP / F2 / 113

# 索引

プログラムプレイ機能の設定

編集：手動編集時の編集チャンネルの選択

自動編集時の編集チャンネルの選択

手動編集時の編集モードの選択

自動編集時の編集モードの選択

手動編集時の編集禁止(EDIT REC INHIBIT)の  
設定

タイミングの選択

データ(最後に入力した編集データ)の呼び出し

データ(最後に入力した全データ)の呼び出し

デュレーション

プリロール時間の選択

プレビューオーディオ信号の選択

プレビュービデオ信号の選択

ポストロールタイムの設定

リアクトタイム(操作遅延の補正時間)の設定

操作するVTR(プレーヤ/レコーダ)の選択

操作するVTR(プレーヤ)の選択

ディレイ(再生コマンドからの立ち上がり)の設定

編集点の登録

編集点の記録フィールド選択(自動編集時)の設定

編集点の記録フィールド選択(手動編集時)の設定

編集点の修正(トリム)操作

ヘッドクリーニング

V/Aコントロールパラメータ

メニュー/ファンクションキー/ページ

HOME SET UP / F3 ~ F4 / 18、21

INSERT MANUAL EDIT CH SELECT /  
F1 ~ F7、F9 ~ F12 / 90

INSERT AUTO EDIT CH SELECT /  
F1 ~ F7、F9 ~ F12 / 107

MANUAL EDIT / F9 / 88

AUTO EDIT / F9 / 100

MANUAL EDIT SET UP / - / 94、95

MANUAL EDIT SET UP / F1 / 92

AUTO EDIT SET UP / F1 / 113

AUTO EDIT / F1 / 100、103

AUTO EDIT / F2 / 100、103

AUTO EDIT / - / 101

HOME SET UP / F11 / 19

AUTO EDIT SET UP / F5 / 113、115

AUTO EDIT SET UP / F3 / 113

AUTO EDIT SET UP / F2 / 113

AUTO EDIT SET UP / F6 / 113

AUTO EDIT SET UP / F7 / 113

AUTO EDIT / F6 / 100

AUTO EDIT / F5 / 100

AUTO EDIT SET UP / F9 / 114、115

AUTO EDIT / - / 101 ~ 103

AUTO EDIT SET UP / F1 / 113

MANUAL EDIT SET UP / F1 / 92

AUTO EDIT / F7 / 100、102

RF TEST / F13 / 146

INTERFACE SET UP / F4 / 118、121



メニュー画面の移行一覧表

モード端子の関係表

モニター端子から出力されるミックス信号の切り替え

モニター端子から出力されるオーディオ信号の音量調整

- / - / 4 ~ 6

INTERFACE SET UP / - / 120

AUDIO OUT MONITOR / F11 ~ F12 / 61

AUDIO OUT MONITOR / F7 / 61

# 索引

## ヤ

メニュー / ファンクションキー / ページ	
ユーザーファイル：呼び出し	USER SET UP / F1 / 130、133
保存	USER SET UP / F2 / 130、131
更新	USER SET UP / - / 132
削除	USER SET UP / F3 / 130、133
複写	USER SET UP / - / 134
電源 ON 時自動呼び出しの設定	USER SET UP / F5 / 130、133
ロック	USER SET UP / F9 / 130、132
パスワード	USER SET UP / F10 / 130、131
ユーザービット：スレーブロックモードの設定	TC/CHR / F2 / 71
ユーザービット値の表示	HOME / F5 / 14
設定一覧表	TC/CHR / - / 75

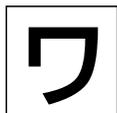
## ラ

ラストエックス(最後に入力した編集データ)の呼び出し	AUTO EDIT / F1 / 100、103
ラストエディット(最後に入力した全データ)の呼び出し	AUTO EDIT / F2 / 100、103
リアクトタイム(操作遅延の補正時間)の設定	AUTO EDIT SET UP / F7 / 113
リファレンスの選択	- / - / 20
リモート：50P 平行の ON/OFF	INTERFACE SET UP / F3 / 118
RS-232C のパラメータの設定	INTERFACE SET UP / F2 / 118、121
RS-422A 接続 VTR ON/OFF	AUTO EDIT / F3 / 100
RS-422A の P2 バス選択	INTERFACE SET UP / F1 / 118、120
REC INHIBIT の選択：記録時	HOME / F13 / 15
編集時	MANUAL EDIT SET UP / - / 94、95
ENV / 記録エンベの表示	MANUAL EDIT SET UP / - / 95
レベルメータのピークホールド：オーディオ入力	AUDIO IN SET UP / F6 / 54
オーディオ出力	AUDIO OUT SET UP / F6 / 63
レベルメータのスケール切り替え：オーディオ入力	AUDIO IN SET UP / F6 / 54
オーディオ出力	AUDIO OUT SET UP / F6 / 63
リモートモード時：ビデオレベルの調整	PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) / F1 / 126
オーディオレベルの調整	PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) / F2 / 126
トラッキング調整	PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) / F3 / 126
モニター調整	PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) / F4 / 126
キー操作の選択	PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) / F5 / 126
機能全体の操作可 / 不可	PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) / F6 / 126
イジェクトキーの操作可能	PANEL SET UP (OP MAP REMOTE) / F7 / 126

# 索引

---

	メニュー / ファンクションキー / ページ
ローカルモード時 : ビデオレベルの調整	PANEL SET UP ( OP MAP LOCAL ) / F1 / 129
オーディオレベルの調整	PANEL SET UP ( OP MAP LOCAL ) / F2 / 129
トラッキング調整	PANEL SET UP ( OP MAP LOCAL ) / F3 / 129
モニター調整	PANEL SET UP ( OP MAP LOCAL ) / F4 / 129
キー操作の選択	PANEL SET UP ( OP MAP LOCAL ) / F5 / 129
ローディング : テープなしローディング動作のテスト	MECHA TEST / F1 / 151
カセットサイズ選択	MECHA TEST / F3 / 151



Yレベルの調整	VIDEO OUT HD / F1 / 25
	VIDEO OUT SD / F1 / 31

---

松下電器産業株式会社 AVC 社 システム事業グループ

☎ 571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号 ☎ (06) 6901 - 1161